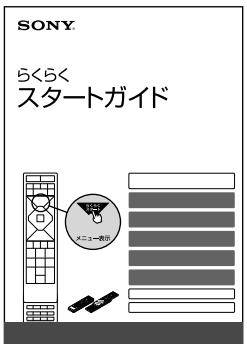
SONY

4-470-770-**02**(1)

デジタルハイビジョンチューナー内蔵
ハードディスク搭載

ブルーレイディスク™/ DVDレコーダー

取扱説明書



使い始めの操作については、別冊の
「らくらくスタートガイド」をお読みください。

目次
録画する
再生する
ネットワークで楽しむ
削除／編集する
コピー／ダビングする
モバイル機器などに持ち出す
他機器から取り込む
接続する
設定を変更する
困ったときは
その他

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書と別冊の「らくらくスタートガイド」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Blu-ray Disc™

BDZ-ET2100 / BDZ-ET1100 / BDZ-EW1100 / BDZ-EW510 / BDZ-E510

目次

安全のために…… 4
はじめにお読みください…… 6
番組を探してみよう…… 10
録画リストを使ってみよう…… 11

録画する

録画できるディスク／ハードディスクの種類…… 12
録画の前に知っておきたいこと …… 13
録画モードとは…… 15
番組表から録画予約したい…… 16
毎週／毎日ある番組を全部録画したい…… 18
二か国語放送／字幕付きの番組を録画したい…… 19
複数の番組を同時に録画したい…… 19
録画先の空き容量を確認したい…… 20
録画予約状況を確認／修正／取り消したい…… 20
スカパー！やCATVの番組を録画したい …… 22
番組を検索して録画予約したい…… 22
好みの番組を自動で探して録画してほしい
（x-おまかせ･まる録） …… 24
自分好みの番組表を作って録画予約したい
（My ！番組表） …… 25
いろいろな方法で録画予約したい…… 26
ブラビアの番組表から録画予約したい
（ネットワーク録画予約）…… 27
外から予約したい(スマートフォンなど)…… 27

再生する

ハードディスクに録画した番組や映像を
再生したい…… 28
ディスクに録画した番組や映像を再生したい…… 30
録画した番組を検索して再生したい…… 31
録画した番組を分類／整理したい…… 32
再生中の操作一覧…… 32
映像の区切りで頭出ししたい…… 33
見たい場面をすばやく探したい(シーンサーチ)… 34
好みの画音質で再生したい…… 34
番組を別の部屋で見たい
（ルームリンク／家じゅうどこでも視聴）…… 36
コーナー情報ですぐに見たい
（もくじでジャンプ）…… 36
インターネットで映画やドラマを見たい
（アクトビラ／TSUTAYA TV／T's TV） …… 36
BDの特典映像を楽しみたい …… 36

ネットワークで楽しむ

準備1:ネットワークにつなぐ …… 37
準備2:かんたんネットワーク設定をする …… 39
「スカパー！プレミアムサービス」やCATVを
録画したい(LAN録画) …… 41
番組を別の部屋で見たい
（ルームリンク／家じゅうどこでも視聴）…… 42
ブラビアの番組表から録画予約したい
（ネットワーク録画予約）…… 44
コーナー情報ですぐに見たい
（もくじでジャンプ）…… 44
インターネットで映画やドラマを見たい
（アクトビラ／TSUTAYA TV／T's TV） …… 46
外から予約したい(スマートフォンなど)…… 47
外出先で番組を見たい(外出先視聴)…… 48
BDの特典映像を楽しみたい …… 48

削除／編集する

見終わった番組や映像を削除したい
（タイトル削除）…… 49
削除できないように保護をかけたい
（プロテクト）…… 50
NEW マークを付けたい …… 50
映像が編集できるか確認したい…… 51
チャプターを分割／削除／結合したい…… 51
映像の一部分をカットしたい(部分削除)…… 52
映像のプレイリストを作成したい…… 53
ひとつの映像を分割したい(タイトル分割)…… 54
複数の映像をひとつにしたい(タイトル結合)…… 54
録画した映像にグループを設定したい…… 55
タイトル名を変更したい…… 55
サムネイル画像を変更したい…… 55

コピー／ダビングする

コピーできるディスク／映像の種類…… 56
コピー／ダビングの前に知っておきたいこと…… 57
ディスクにコピーしたい(タイトルダビング)…… 58
ディスクに保存した映像を本機にコピーしたい… 61
本機と外付けハードディスクの間で
コピーしたい…… 62
高画質／高速でディスクにコピーしたい…… 63
ディスクにおさまるようにコピーしたい…… 64

二か国語放送／字幕付きの番組をディスクに
コピーしたい…… 65
ダビングモードを変更したい…… 66
コピーを途中で止めたい…… 66
ディスクをファイナライズしたい…… 66
本機で作成したDVDを他機器で再生したい …… 67
ディスクに名前を付けたい…… 67
ディスクを買ってきた状態に戻したい（初期化）… 67
BDに暗証番号をかけて
再生できないようにしたい…… 67

モバイル機器などに持ち出す

ワイヤレスおでかけ転送したい…… 68
USB接続しておでかけ転送したい …… 69
3番組同時録画後、すぐにおでかけ転送したい … 70

他機器から取り込む

動画を取り込みたい…… 71
ビデオテープから取り込みたい
（VHSダビング） …… 74
写真を取り込みたい…… 75
取り込んだ動画や写真を見たい…… 76
動画を切り取って写真にしたい…… 78
いろいろな方法でディスクに残したい…… 78

接続する

アンテナやテレビとの接続…… 82
AVアンプやホームシアターシステムとの接続 … 83
外付けハードディスクとの接続／登録…… 84
ネットワークへの接続…… 85
おでかけ転送機器との接続…… 85
ビデオデッキとの接続…… 85
デジタルカメラとの接続…… 86

設定を変更する

本機の設定を変更したい…… 87
ブラビアリンクを設定したい…… 99
本機のリモコンの設定を変更したい…… 100

困ったときは

1. まず、確認してください …… 102
2. 本機のメッセージを確かめる …… 103
3. よくあるトラブルと解決方法 …… 104
4. それでも困ったときは …… 112
ソフトウェアアップデートについて…… 113
保証書とアフターサービス…… 114

その他

各部のなまえ…… 115
文字入力のしかた…… 119
主な仕様…… 120
ソフトウェア等に関する重要なお知らせ…… 128
画面別アイコン一覧…… 129
オプション項目一覧…… 134
用語集…… 139
索引…… 141

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4〜5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。「はじめにお読みください」(6ページ)もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店または修理相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源コードをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店または修理相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工しない。
- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源コードを抜く。
- 電源コードは必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店または修理相談窓口に交換をご依頼ください。

禁止

本機の上に水が入ったものや、重たいものや不安定なものを置かない

感電や故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または修理相談窓口にご相談ください。

禁止

本機は室内専用です

乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。

指示

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店または修理相談窓口にご依頼ください。

分解禁止

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。

指示

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかける、毛足の長いじゅうたんの上や、壁や家具に密接して置く、通風孔をふさぐなど、放熱の妨げになるようなことはしないでください。

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。
➡呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も充分に確認してください。

本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

コード類は正しく配置する

信号ケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

長期間使わないときは安全のために電源コードを抜く

絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

移動させるとき、すべての信号ケーブルや電源コードを抜く

信号ケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

お手入れの際、電源コードを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
➡万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
➡マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンの電池フタを開けて使用しない

リモコンの電池フタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。
➡マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

はじめにお読みください

本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれる「ソフトウェア等に関する重要なお知らせ」(128ページ)をお読みください。お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。
本機のホームメニュー＞[設定]＞[本体設定]の「ソフトウェアライセンス情報」もあわせてご確認ください。

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクでは長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しめますが、大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。また、不安定な場所では使用しない。
- 結露(露つき)の原因となるため、急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)を与えない。
- 本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く。
- 電源プラグをコンセントから抜く前に、以下を確認してください。
  - [設定]＞[本体設定]＞[スタンバイモード](94ページ)で[標準]か[低消費待機]に設定されていること。
  - 本機の電源を切ってから、1分以上待つこと。
  - 表示窓が消灯していること。
  - 録画、ダビング、データ取得、通信中など動作中でないこと(「電源を「切」にしているときのご注意」(6ページ)もご覧ください)。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。
- 何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。
- ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適していないため、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理･点検の際、不具合症状の発生･改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製･保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

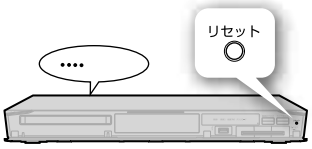
本機は、コンセントの近くでお使いください。本機を使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。通常、本体の電源ボタンで電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の起動と終了について

電源ボタンを押しても、実際に起動するまでや電源が切れるまでには、しばらく時間がかかります。
本体表示窓に、起動中は「PLEASE WAIT」が、電源が切れるときには「POWER OFF」が、点滅表示されます。
電源が切れる前やハードディスクが動作しているときにコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

操作を受け付けないときは

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機前面の扉を開き《リセット》ボタンを押してください(102ページ)。



電源を「切」にしているときのご注意

ソフトウェアのアップデートは電源「切」のときに行います。また、電源を切った状態でも本機のシステムの一部は動作しているため、本機が温かくなったり、ファンやハードディスクが動作したりすることがありますが、故障ではありません。

- 番組表データの取得時
- 録画中(予約、x-おまかせ･まる録など)、ダビング中
- ワイヤレスおでかけ転送中(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510)
- ルームリンク、LAN録画／LANムーブなどLAN機能利用時
- [設定]＞[本体設定]＞[スタンバイモード]＞[瞬間起動]に設定時で、起動待機状態のとき(94ページ)
- コーナー情報の自動取得時
- [設定]＞[HDMI機器制御設定]＞[高速連動]＞[入]に設定時
- リモート録画予約機能の利用時
- スカパー！の無料視聴期間サービスの利用時
- 録画モード変換中(自動／手動)(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

ソフトウェアアップデートについて

本機には、内部ソフトウェアを更新する機能があります。(113ページ)

個人情報などのお取り扱いについて

- 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内に記録されている個人情報などのデータを[設定初期化](98ページ)で削除することを強くおすすめします。
  削除をしないまま廃棄、譲渡等を行うと、記録されている個人情報が第三者に知られてしまう可能性があります。
- 本機に記録されている個人情報などのデータは次の内容です。
  – 各種機能の設定時のIPアドレスなど
  – お知らせ、番組購入履歴など
  – 放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなど
  – インターネットサービスに機器を登録した際に発行される機器登録(識別)情報
  – リモート録画予約で登録した機器などに設定されている「ニックネーム」および「機器名」
- 本機を譲渡または廃棄するときは、提供元の規約に従い、必ずネットワーク機能の登録情報を削除してください。
  – アクトビラやTSUTAYA TV、T's TVなど
  – リモート録画予約を提供するサービス
- 本製品内に記録された情報は、サービス利用時に合意の上で各サービス事業者や提供元へ送信されますが、個人を特定する情報は含まれません。
  – リモート録画予約サービス利用時、録画予約およびタイトルなどに関する情報
  – コーナー情報を取得したタイトルに関する情報

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア·記録機器などに記録ができなかった場合、不具合·修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア·記録機器などの記録内容が破損·消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

内蔵無線LANについて(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4GHz/5GHz帯です。2.4GHz帯では電子レンジなどの産業·科学·医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(以下他の無線局と略す)が運用されており、本製品と電波干渉を起こす場合があります。

1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、機器の運用を停止してください。
3 その他、わからないときや困ったときは、お買い上げのお店または使い方相談窓口にお問い合わせください(裏表紙)。

2.4DS/0F4 この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解/改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

法令により5GHz帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。

⚠警告

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、本製品を近くで使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは利用を控える

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

著作権に関するご注意

- あなたが本機で録画·録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- コピー制御信号が含まれている映像·音声は、本機で録画·録音できない場合があります。また、同様の信号が、本機の出力端子からの映像·音声に含まれる場合、他機で録画·録音できなかったり、録画したものを正常な映像で再生できない場合があります。

- 本機は、無許諾のBD/DVD(海賊版等)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機は、つなぐテレビの画面に合わせて映像の横縦比や表示範囲を選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード設定等を利用してオリジナルと異なる見えかたで再生などを行いますと、著作権法で保護されている著作者などの権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
- 著作権の対象になっている画像やデータの記録された"メモリースティック"は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。
- Cinaviaの通告
  この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
  Cinavia技術に関する詳細情報は、
  http://www.cinavia.com
  のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

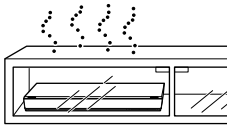
  この製品はVerance Corporation (ベランス･コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2012 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース･エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

3D映像の視聴について

3D映像の視聴中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器や本機で再生するブルーレイディスクの取扱説明書、ご注意文などもあわせてご覧ください。最新情報については、ホームページ(http://www.sony.jp/support/)をご覧ください。なお、お子さま(特に6歳未満の子)の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D映像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- 熱のこもりやすい所、熱に弱い所
  (本機は放熱のため、底面が熱くなりますが故障ではありません。)



- 振動の多い所
- 直射日光が当たる所、湿度や温度が高い所
- 極端に寒い所

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

- ディスクを取り出してから行ってください。
  入れたままで移動するとディスクを傷めることがあります。
- 本機は放熱のため底面が熱くなります。底面に触れないようにご注意ください。

結露(露つき)について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

再生を開始するときは

音量を必ず下げておきましょう。初めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

映画や音楽などを楽しむときは

映画や音楽などをお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

クリーニングディスクについて

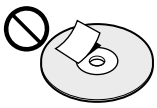
レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

BDやDVD、CDの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当たる所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  - 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
  - 紙やシールの貼られたディスク
  - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

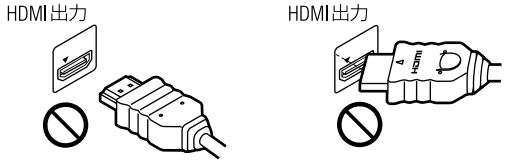


- ディスクにラベル印刷した場合は、印刷が乾いてから再生してください。
- ディスク読み取り面の傷を取るために磨いたり削ったりしないでください。

HDMI出力端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI出力端子やコネクターを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

- ケーブルを差し込むときは、本体後面のHDMI出力端子とコネクターの形や向きに注意してください。



コネクターが逆さになっている　　**曲がっている**

- 本機を移動させるときは、必ずHDMIケーブルを抜いてください。

- HDMIケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐ持ってください。コネクターをねじ曲げたり、HDMI出力端子に強く押しこんだりしないでください。

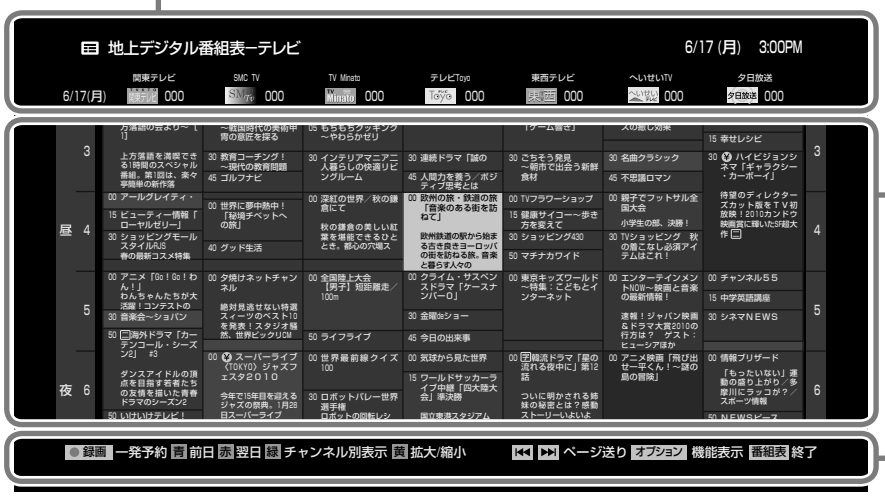
本書の記載について

- 本書では、BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510 / E510の5機種について説明しています。
- 本書では、「ハードディスク」のことを「ハードディスク」または「HDD」、「ブルーレイディスク」のことを「BD」と記載しています。
- 本書中の《　》内の項目はボタン名、[　]内の項目は画面上に表示される項目です。
- 本書記載のサービスや問い合わせ先、別売アクセサリー、接続機器については、2013年8月現在のものです。
- 全機種共通の機能を説明する場合、本書では、BDZ-EW510のイラストを使っています。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本書で使われている画面イラスト内の番組名は一例であり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などと関係ありません。
- 放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス内容は、変更･中止される場合がありますが、ソニーは一切の責任を負わないものとします。

番組を探してみよう

リモコンの《番組表》ボタンを押すと表示される番組表では、1週間先までの番組もらくらく探せます。

全体情報エリア
（放送サービス、放送局、放送日、現在時刻など）



⏲:録画予約した番組
⏲:日時指定予約した番組
▌(赤):予約のある時間帯
▌(ピンク):これ以上予約できない時間帯*

アイコンについて詳しくは、129ページをご覧ください。

* 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。

操作ガイドエリア

番組表でできること

録画予約する(16ページ)

↑↓←→ボタンで録画したい番組を選び、●《録画》ボタンを押すだけで、録画や予約ができます。
番組を選んで《決定》ボタンを押すと、毎回予約が設定できます。

探す

- 《地デジ》/《BS》/《CS》ボタンで、地デジ/BS/CSを切り換えます(《オプション》ボタンを押して[放送切換]を選んでもできます)。
- 《前》/《次》ボタンで、ページ送りができます。
- 《青》/《赤》ボタンで前日/翌日を表示、《オプション》ボタンを押して[日時指定]も選べます。
- 《黄》ボタンで、3段階に表示の大きさを変えられます。

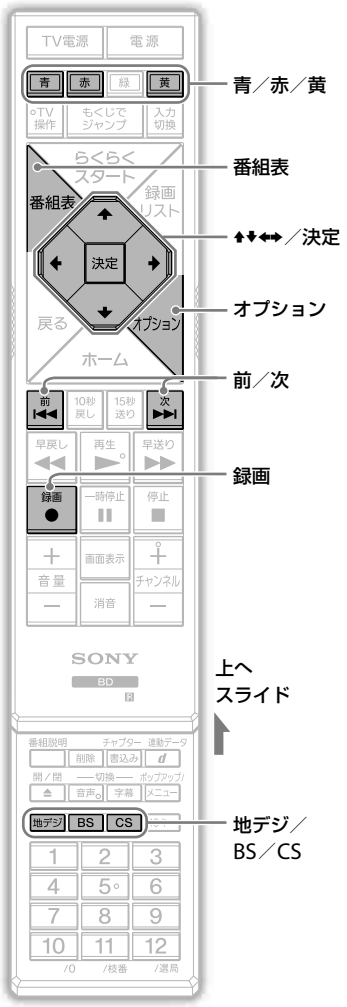
もっと探す

《オプション》ボタンを押すと、[番組検索]もできます(23ページ)。

見る

《決定》ボタンで選んでから、[選局する]ことで見られます。

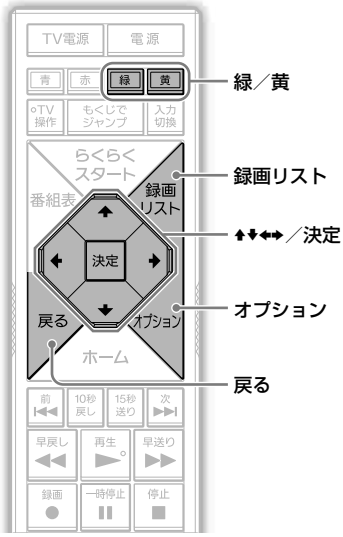
画面下の操作ガイドエリアもご確認ください。



録画リストを使ってみよう

リモコンの《録画リスト》ボタンを押すと、録画リストが表示され、見たい番組をすぐに探せます。

フォルダ表示ですぐに見つかる！
リモコンの《黄》ボタンを押すと、年月やジャンルなど、
さまざまな切り口でフォルダ表示できます。



録画リストでできること

録画した番組を見る

↑↓ボタンで画像付きのタイトルを選び、《決定》ボタンを押すだけで再生できます(28ページ)。

タイトルやコーナーの検索

[タイトル／コーナー検索]を選ぶと、見たいタイトルやコーナーをジャンルやキーワードで検索できます(31ページ)。

オートグルーピング

《黄》ボタンを押すと、年月やジャンルなどの切り口でフォルダ表示できます(32ページ)。

並べ替え

《緑》ボタンを押すと、日付順、タイトル名順などでタイトルを並べ替えられます(32ページ)。

ほかにもビデオ列では、↑↓ボタンで便利な機能を選べます。

- 番組を録画予約する(16ページ)。
- 録画予約の確認や修正をする(20ページ)。
- 外付けハードディスクの映像を見る(28ページ)。
- ディスクの映像を見る(30ページ)。
- 映像を持ち出して楽しむ(68ページ)*1。
- 映像を取り込んで楽しむ(71ページ)。
- ビデオテープの映像を取り込んで楽しむ(74ページ)。
- 本機と外付けハードディスク間で映像をコピーする(62ページ)。
- 映像をディスクに残す(58ページ)。
- おまかせ録画の設定をする(24ページ)。
- 録画モードをすぐに変換する(14ページ)*2。

*1 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。
*2 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100。

よく使うボタン

《戻る》ボタン:前の画面に戻ります。

《オプション》ボタン:そのときできることをメニュー表示します。

録画できるディスク／ハードディスクの種類

本機のハードディスクに録画したい

☞次のページも参考にしてください。
• 本機のハードディスクの空き容量を確認したい（20ページ）。

通常は、本機のハードディスクに録画します。

ちょっと一言
• 保存できるタイトル数は、最大999です。

外付けハードディスクに直接録画したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
• 外付けハードディスクを本機につなぎ、［USB HDD登録］で外付けハードディスクを登録する（84ページ）。

☞次のページも参考にしてください。
• 外付けハードディスクの空き容量を確認したい（20ページ）。

録画予約設定画面（17、26ページ）で［録画先］＞［USB］に設定してください。
録画予約のたびに選ばずに、外付けハードディスクに録画するには、ホームメニュー＞［設定］＞［ビデオ設定］＞［予約録画「録画先」初期値］＞［USB HDD］に設定します（92ページ）。

ちょっと一言
• 外付けハードディスク1台に保存できるタイトル数は、最大999です。

以下のことはできません
• 外付けハードディスクへの、LAN録画／LANムーブ、複数番組の同時録画。
• 外付けハードディスクに録画中の、HDD⇔USB HDDダビング。

BDに直接録画したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
• BDを用意する。

☞次のページも参考にしてください。
• ディスクの空き容量を確認したい（20ページ）。
• 利用できるディスクを確認したい（122ページ）。

1 ディスクを入れ、録画先を設定する。
録画予約設定画面（17、26ページ）で［録画先］＞［BD］に設定してください。

ちょっと一言
• 1枚に保存できるタイトル数は、最大200です。

ご注意
• コピー制限付きの番組をBDに録画／記録した場合は、ダビング可能回数は必ず1回（1➡）になります。本機のハードディスクに1回移動（ムーブバック）できます（61ページ）。

以下のことはできません
• BDへの、おまかせ録画、LAN録画／LANムーブ、複数番組の同時録画。
• BDに録画中の
  – BDやDVDの再生、編集、ダビング。
  – ディスクのフォト再生／取り込み。
  – ワイヤレスおでかけ転送（対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510）。

DVDに直接録画したい

DVDには直接録画できません。本機／外付けのハードディスクに録画してからダビングしてください（16、59ページ）。DVDへのダビングには、録画時間と同じくらいの時間がかかります。ダビング中は他の操作はできません。

録画の前に知っておきたいこと

録画を始めるとき／録画を途中で止めるとき

録画を始めるとき

電源「入」／「切」にかかわらず、録画開始時刻になると録画を開始します。録画ランプ（115ページ）が点灯します。
終了時刻になると、自動で録画が終了します。

録画を途中で止めるとき

画面から録画中（●）のタイトルを選び、リモコンの■《停止》ボタンを押します。

録画中の操作制限

録画中は次の操作はできません。

- DVDダビングや、BDなどで記録モードを変更したダビング。
- 録画中の番組の編集。
- おでかけ転送（高速以外）／転送用動画ファイルの作成*1。
- 思い出ディスクダビング。
- x-Pict Story HD（Pict Storyコンテンツ情報以外）。
- まるごとDVDコピー。
- 録画モード変換*2
- インターネットサービスの利用。

録画の種類	できないこと
録画中（BDZ-E510）／複数番組同時録画中*3	• 他のチャンネルを視聴すること。 • ブラビアリンクの「見て録」。 • おでかけ転送／おかえり転送*1。 • VHSダビング／外部入力録画*4。 • スマートフォンやタブレットPCで録画した番組を見ること*5。
LAN録画／LANムーブ中	• BD-ROMの再生。 • ルームリンクから見ること。 • ワイヤレスおでかけ転送*1。
外部入力録画中	• VHSダビング。

*1 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。
*2 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100。
*3 BDZ-EW1100 / EW510では2番組同時録画中、BDZ-ET2100 / ET1100では3番組同時録画中。
*4 BDZ-ET2100 / ET1100では、2番組録画中のVHSダビング／外部入力録画はできないことがあります。詳しくは、「3番組同時録画について」（13ページ）をご覧ください。
*5 BDZ-ET2100 / ET1100では、2番組録画中はできないことがあります。詳しくは「番組を別の部屋で見たい（ルームリンク／家じゅうどこでも視聴）」（42ページ）をご覧ください。

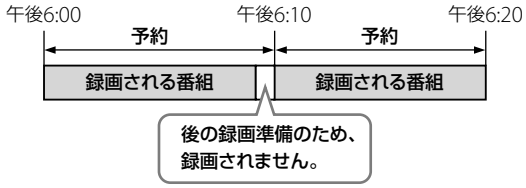
ちょっと一言

- 録画を優先するため、リモコン操作などが一時的に遅くなることがあります。
- 複数番組同時録画中（BDZ-E510のときは録画中）に、他のチャンネルを見たい場合は、テレビ側で視聴してください。
- 番組の特定の場面を選んで録画することはできません。録画したあとに、不要な場面を削除したり（51ページ）、映像の区切りで頭出ししたり（33ページ）できます。

連続した番組を録画するときの制限

前の録画予約の終了時刻と後の録画予約の開始時刻が同じ場合、後の録画予約番組を最初から録画するため、前の録画予約は終了予定時刻より早く録画停止します。

- BDZ-E510をお使いの場合。
- BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510をお使いで、後の録画予約の開始時刻に他の番組が録画されている場合。



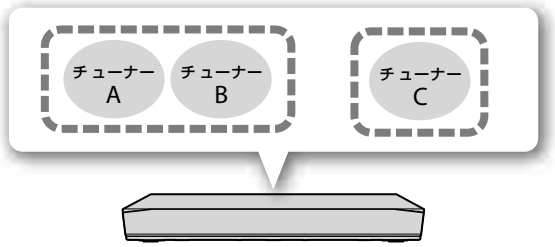
録画予約が連続しているかを確認するには

「録画予約状況を確認／修正／取り消したい」（20ページ）の手順で確認できます。

3番組同時録画について

対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100

BDZ-ET2100 / ET1100は、3つのチューナーを搭載しており、チューナーA/B側とチューナーC側でできることなどが異なります。



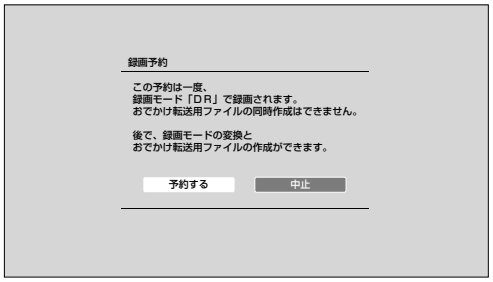
A/B側とC側のどちらのチューナーを使うかは、録画予約時に本機が自動で決めます。録画予約はA/B側を優先し、視聴中の放送の録画はC側を優先します。録画予約のA/B側とC側はあとから切り換えできます（21ページ）。

録画予約の状況によっては、放送時間の変更や拡大などにより、A/B側で3番組以上の録画予約が、C側で2番組以上の録画予約が重複することがあります。必要に応じて予約リストを確認してください（20ページ）。

チューナーCに録画予約が入ったときは

次のような確認画面が表示されます。
[予約する]を選ぶと録画予約を行います。

例:本機のハードディスクに録画予約した場合



チューナーA/BとCの違いは以下のとおりです。

	チューナーA/B	チューナーC
録画モードアイコン	DR、SR など(▶▶マークなし)	▶▶DR、▶▶SR など(▶▶マークあり)
録画モード	設定した録画モードで録画されます。	いったんDRモードで録画し、録画後に、予約時に設定した録画モードに自動で変換されます。
おでかけ転送	録画後、すぐにできます*1。	録画後、すぐにはできません*1。(70ページ)
外部入力録画	できます*2。	できません*3。
x-おまかせ·まる録	できます。	できません*3。
他機器からの予約／録画(リモート録画予約など)	できます。	できません*3。

*1 おでかけ転送ファイルは、チューナーA/B側では録画と同時に作成します。チューナーC側では録画モード変換後に作成します。

*2 外部入力録画は、SRなど(DR以外)の録画モードで録画するため、チューナーA/B側でのみ録画できます。

*3 放送時間が重なるチューナーA/B側を使う録画予約の1つを、チューナーC側に切り換え、チューナーA/B側を空けることでできるようになります。
詳しくは「録画予約を入れたチューナーを切り換えたい」(21ページ)をご覧ください。

録画モードの自動変換について

▶▶SR(▶▶マークあり)などのアイコンがついた番組(タイトル)については、録画後、本機の電源が「切」のときに録画モードの変換とおでかけ転送用ファイルの作成を行います。
変換が終わると ▶▶SR(▶▶マークあり)などのアイコンが SR (▶▶マークなし)などのアイコンに変わります。

ご注意

- 電源「切」の間の空き時間に行います。
- 変換には放送と同じぐらいの時間が必要です。変換可能な空き時間があると本機が判断したタイトルから順に行います。
- 録画予約やx-おまかせ·まる録の時間帯は変換を行いません。
- 電源「入」になると変換は中止されます。また、ネットワークからのアクセスがあると変換が中止されることがあります。
- 変換が中止されたタイトルは、次回、最初から変換されます。
- 本機／外付けのハードディスクの残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- プロテクトされたタイトルやプレイリストから参照されているタイトル、録画中のタイトルは変換されません。
- ホームメニュー>[設定]>[ビデオ設定]>[録画モード自動変換]>[入]の場合に、自動変換を行います(91ページ)。

録画モードをすぐに変換するには(手動変換)

▶▶SR(▶▶マークあり)などのアイコンがついたタイトルは、自動変換を待たずに、手動でタイトルを選んで変換できます。

《録画リスト》ボタンを押し、リストの上にある[録画モード変換]から[録画モード変換(HDD)]または[録画モード変換(USB HDD)]を選び、《決定》ボタンを押します。録画モード変換画面で、変換したいタイトルを選んで[実行]を選びます。

ご注意

- 録画中、ダビング中、おでかけ転送中は変換できません。変換中は録画、ダビング、おでかけ転送は行われません。

次のタイトルは、変換対象ではなくなります。
- 編集したタイトル(チャプター編集、部分削除、タイトル分割、タイトル結合)。
- BDやDVDにコピーしたタイトル(コピー先)。
- 本機と外付けハードディスクの間でコピーしたタイトル(ムーブの場合は移動先で変換対象となります)。

録画モードをDRに設定しても、変換が必要とのメッセージが表示されたときは

録画モードはDRのまま変換しませんが、おでかけ転送用ファイルを作成するため変換が必要です。

3番組同時録画後、すぐにおでかけ転送するには

あらかじめ予約時に録画予約を調整してください。詳しくは、70ページをご覧ください。

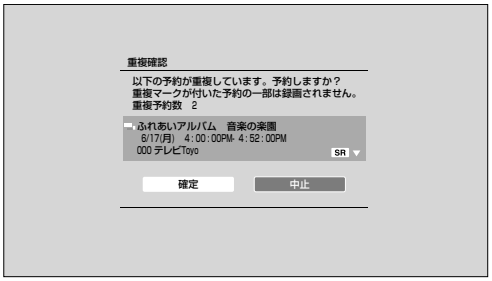
外部入力の番組を録画予約しようとして、[重複確認]の画面が表示されたときは

外部入力録画(22ページ)の手順4で[重複確認]の画面が表示された場合は、チューナーA/B側に、同じ時間帯の外部入力の録画予約または2番組以上の録画予約があります。2番組以上の録画予約に重複がある場合、どちらかをチューナーCに切り換えることで、重複した予約も録画できることがあります。重複確認画面から、次の手順を行います。

録画モードとは

1 重複した予約を確認し、外部入力の録画予約を確定する。

重複した予約と時間をメモしておきます。複数ある場合は↑↓で確認します。[確定]を選び《決定》ボタンを押します。予約の重複は、《オプション》ボタンを押して[重複確認]を選び再確認できます。



2 重複した録画予約をチューナーC側に切り換える。

予約リストから切り換えたい録画予約を選びます(番組名録画や、毎週／毎日録画の場合、予約リスト上には直近の日時が表示されます)。

《オプション》ボタンを押して[予約切換]を選びます。録画モードのアイコンが SR (▶▶マークなし)などから ▶▶SR (▶▶マークあり)などに変わります。

3 録画予約の重複がないか確認する。

チューナーCで他の予約と重複していないか確認します。

《オプション》ボタンを押して[重複確認]を選びます(表示されていなければ、重複はありません)。

重複している場合、他の予約のチューナーを変更したり、優先順位を変更して調整してください(21ページ)。

外部入力で視聴中の番組を録画しようとして、「2番組同時録画中はできません」と表示されたときは

外部入力録画はチューナーA/B側でしかできないため、チューナーA/B側で2番組録画中に外部入力録画はできません。チューナーAまたはチューナーBの録画を停止してから行ってください。

外部入力の番組を視聴中に録画することが多い場合は、他の録画予約をチューナーCに入れておくことをおすすめします。詳しくは「録画予約を入れたチューナーを切り換えたい」(21ページ)をご覧ください。

録画後に、タイトルがなかなか変換されないときは

▶▶SR (▶▶マークあり)などのアイコンがついたタイトルは、電源「切」の間の空き時間に自動変換されます。自動変換を待たずに手動でタイトルを選んで変換できます(14ページ)。

録画モードによる違い

録画後の楽しみ方に合わせて、録画モードを選べます。

	DRモード	XR～ERモード
録画画質	放送そのまま	画質を抑える
二か国語放送	すべての音声(再生時に切り換え可)	
字幕	再生時に入／切可	記録しない
外部入力録画時	選択不可	選択可

ちょっと一言

- お買い上げ時の設定はSRモードです。

録画モードとBDへのコピー

録画した番組(タイトル)をBDにコピーする場合は、お使いのBDの容量にあわせてあらかじめ録画モードを設定しておくと、高速ダビング(63ページ)ができます。

例:1時間ドラマ24話分をBDにコピーする場合の目安 *

録画モード	画質／容量	必要なBD枚数
DR		約8枚
XR	高画質／大容量	約8枚
XSR		約6枚
SR		約4枚
LSR		約2枚
LR		約2枚
ER	低画質／小容量	約1枚

詳しくは、「録画モードと録画／ダビング可能時間について」(124ページ)をご覧ください。

* 地上デジタル(HD)放送の番組を録画して、BD(1層、25GB)にコピーする場合。

ご注意

- 映像や音声の情報量は番組や放送局などにより異なります。そのため、録画時間が同じでも、録画後の容量は異なることがあります。DRモードでの録画は、タイトルによってはDR以外のモードで録画したタイトルよりも、容量が少なくなることがあります。

以下のことはできません

- データ放送や、BS/110度CSデジタル放送のラジオ放送を録画すること。

録画モードを設定／変更したい

録画予約するときは

「番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい(詳細設定)」(17ページ)の手順3の[モード]で設定します。

いま見ている番組を録画するときは

番組視聴中に、《オプション》ボタンを押して[録画モード]＞変更したい録画モードを選びます。●《録画》ボタンを押して録画します(26ページ)。

録画予約した番組の録画モードを変更するには

「録画予約状況を確認／修正／取り消したい」(20ページ)の手順2で、[モード]＞変更したい録画モードを選んでください。

ご注意

- LAN録画／LANムーブでは、録画モードはDRのみとなり、変更できません。

番組表から録画予約したい

番組表から録画予約したい(一発予約)

1 《番組表》ボタンを押して、番組表を表示する。

番組表の操作については、「番組表でできること」(10ページ)をご覧ください。

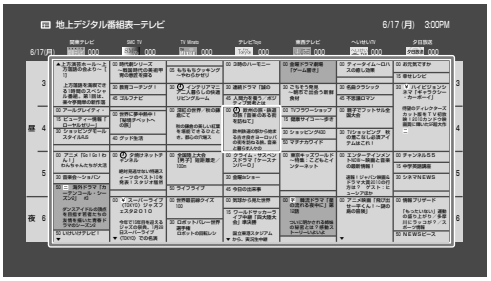
2 番組を録画予約する。

録画したい番組を選び、●《録画》ボタンを押します。

もう一度ボタンを押すと、予約を解除できます。

録画モード(15ページ)は前回の録画予約と同じ設定になります。

番組表に ⏲ が表示されます。



現在放送中の番組の場合は、すぐ録画が始まります。番組表には●が表示されます。

ご注意

- 番組表の一部が表示されない場合は、表示したい放送局をしばらく視聴するか、《オプション》ボタンを押して[番組表取得]を選びます。これは、初めてお使いになるときや、数日間本機の電源コードを抜いていた場合に起こります。

毎回または同じ番組名で予約したい

1 録画したい番組を選ぶ。

《番組表》ボタンを押します。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

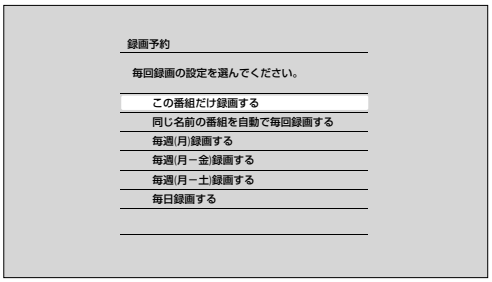
2 録画予約方法を選ぶ。

[予約する]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 毎回録画の条件を設定し、録画予約する。

条件を選び、《決定》ボタンを押します。

番組表に ⏲ が表示されます。



毎回録画の条件

[毎週(月-金)録画する]などの毎回録画の条件を選ぶと

毎日／毎週同じ曜日の同じ時間に録画します。

[同じ名前の番組を自動で毎回録画する]を選ぶと

同一チャンネル内を番組名で検索して自動録画します。

「番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい(詳細設定)」(17ページ)の手順3で、[毎回録画]を選び、[番組名]で設定もできます。

番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい(詳細設定)

1 録画したい番組を選ぶ。

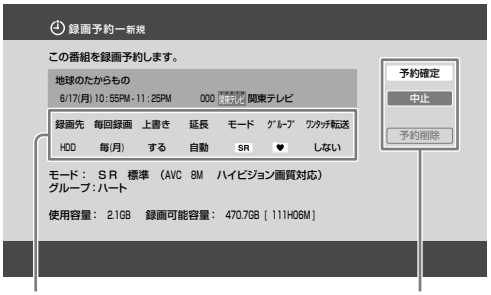
《番組表》ボタンを押します。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

2 録画予約方法を選ぶ。

[予約設定へ]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 ↑↓←→で、録画の条件を設定する。



設定エリア **操作ボタンエリア**

録画の条件を変更するには

設定エリアで各項目を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
録画先	[HDD]本機のハードディスク／[USB]外付けハードディスク／[BD]ブルーレイディスクを選べます。
毎回録画	定期的に録画する条件を設定できます。[番組名]を設定すると、番組名を検索して自動で録画予約します。
上書き	[録画先]を[HDD]に設定時、前回録画した番組(タイトル)を、次の録画を開始する前に削除します。
延長	[自動]を選ぶと、放送局からの延長情報に合わせて録画します。延長時間を指定すると、放送終了後、指定した時間分を含めて録画します。
モード	録画モードについては、15ページをご覧ください。
グループ	[録画先]を[HDD]/[USB]に設定時、タイトルの分類に使えます。(32、55ページ)
ワンタッチ転送／自動転送*1*2	[録画先]を[HDD]に設定時、簡単におでかけ転送できます。(69ページ)

*1 [おでかけ転送機器](92ページ)を[スマートフォン／タブレットPC]に設定した場合は、[自動転送]になります。

*2 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。

4 録画予約する。

操作ボタンエリアで[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

番組表に ⏲ が表示されます。

12時間以上の番組を録画したい

12時間を超える番組は連続して録画できません。

1 番組を12時間以内に区切って録画する。

「日時を指定して録画予約したい(日時指定予約)」(26ページ)の手順1～3を行い、12時間以内になるように[開始時刻]と[終了時刻]を設定してください。

毎週／毎日ある番組を全部録画したい

毎週／毎日ある番組を全部録画したい

「毎回または同じ番組名で予約したい」(16ページ)で、毎回録画の条件を選びます。

番組を自動で録画したい

次の録画予約方法は、異なる曜日や時間で放送される場合でも、本機が条件に合った番組を録画します。

- 毎回録画(16ページ)の条件で、[同じ名前の番組を自動で毎回録画する]、または[番組名]を選ぶ。
- x-おまかせ·まる録(24ページ)。

自動で録画するときの二度録り回避について

連続ドラマやアニメなど話数がある番組では、一度録画した話は再放送があっても録画を回避します。同じタイトル名で、「第2話」や「＃2」など、話数が付いている番組が対象です。

ちょっと一言

- 本機から削除された番組でも、再放送は録画しません。
- 番組名での毎回録画で再放送も録画したいときは、予約リストで《オプション》ボタンを押して[二度録り回避]＞[いいえ]を選びます。x-おまかせ·まる録では設定できません。
- 一度録画した番組が再放送されたときに、本機が録画を回避するのは録画から約半年の間です。
- 録画した番組の学習情報は、ホームメニュー＞[設定]＞[設定初期化]＞[学習情報の初期化]＞[二度録り回避学習情報]で、初期化できます。
- 同じ番組でも、番組情報や放送局が異なる場合は再び録画されることがあります。

初回や最終回だけ放送延長されても最後まで録画したい(番組追跡録画)

連続ドラマの番組を毎回予約したときに最終回だけ放送時間が違っても、番組名を追跡して予約するため、逃さず録画できます。追跡できる範囲は、放送開始予定時刻1時間前から放送終了予定時刻1時間後までです。

お買い上げ時は[番組追跡録画](91ページ)は[入]に設定されています。

ちょっと一言

- 放送時間が変更／延長された場合、他の録画予約と重複して録画されないことがあります。必要に応じて予約リストを確認してください(20ページ)。

イベントリレーに対応するには

録画予約設定画面(17ページ)で[延長]を[自動]に設定してください。
放送時間内に終わらなかったときや、延長部分の放送が他のチャンネルで継続されるとき(イベントリレー)でも、本機が自動的に録画して対応します。

ご注意

- 次の場合は、番組の追跡ができず録画されないことがあります。
  - 放送される番組の番組名が変更された場合。
  - 番組名が短い場合。
  - 放送時間が大幅に短くなった場合。

二か国語放送／字幕付きの番組を録画したい

二か国語放送の番組を再生時に音声切換できるように録画したい

録画モードにかかわらず、二か国語はすべて記録され、再生時に音声を切り換えられます。

字幕付きの番組を再生時に字幕切換できるように録画したい

番組を「DRモード」で録画してください。

複数の番組を同時に録画したい

☞次のページも参考にしてください。
- 録画中の操作制限（13ページ）。
- 録画中のランプについて（115ページ）。

ご注意

- 本機のハードディスクは、複数番組の録画先として選べます。外付けのハードディスクとBDは、同じ時間に1番組しか録画先として選べません。
  本機のハードディスクとあわせてお使いください。
- BDZ-E510は、複数の番組を同時に録画できません。

2つの番組を同時に録画したい（2番組同時録画）

対象機種：BDZ-EW1100 / EW510

次の組み合わせで2番組同時録画できます。
- デジタル放送2番組。
- デジタル放送＆外部入力録画。
- デジタル放送＆LAN経由の録画*／ムーブ。
- LAN経由の録画*／ムーブ＆外部入力録画。

* CATV録画／「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）。

x-おまかせ･まる録は2番組までです。

2つ以上の番組を同時に録画したい（2番組／3番組同時録画）

対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100

次の組み合わせで3番組同時録画できます。
- デジタル放送3番組。
- デジタル放送2番組＆外部入力録画。
- デジタル放送2番組＆LAN経由の録画*／ムーブ。
- デジタル放送＆LAN経由の録画*／ムーブ＆外部入力録画。

* CATV録画／「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）

2番組同時録画の条件については、上記の「2つの番組を同時に録画したい（2番組同時録画）」をご覧ください。
x-おまかせ･まる録は2番組までです。外部入力録画には制限があります。詳しくは「3番組同時録画について」（13ページ）をご覧ください。

録画先の空き容量を確認したい

本機のハードディスクの空き容量を確認したい

1 空き容量を確認する。

《録画リスト》ボタンを押します。

映像(タイトル)を選び、《オプション》ボタンを押します。

[HDD情報]を選び、《決定》ボタンを押します。

BDの空き容量を確認したい

1 ディスクを入れる。

2 ディスクアイコンを選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。

ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

3 空き容量を確認する。

[情報表示]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けハードディスクの空き容量を確認したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。

- 外付けハードディスクを本機につなぐ(84ページ)。

1 外付けハードディスクを選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。

外付けハードディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 空き容量を確認する。

[情報表示]を選び、《決定》ボタンを押します。

録画予約状況を確認／修正／取り消したい

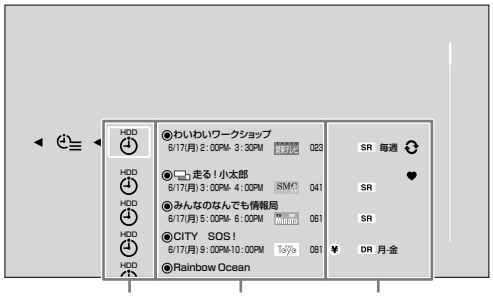
予約リストを使って重複の確認、優先順位の変更などもできます。

1 予約リストを表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

リストの上にある[予約確認]＞[予約リスト]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 予約を修正する。



予約を取り消すには

予約リストから録画予約を選び、《決定》ボタンを押します。

[予約削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

毎回予約では、直近1回の予約だけの削除もできます。

表示の日付順と優先順を切り換えるには

《緑》ボタンを押して切り換えます。

修正するには

予約リストから録画予約を選び、《決定》ボタンを押します。

修正したい項目を選んで修正し、[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

録画中の番組の予約を取り消すには

《オプション》ボタンを押します。

[予約削除]＞[1件削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- ソニー製「スカパー！プレミアムサービス」チューナーから録画予約した、視聴年齢制限のある番組は「＊＊＊＊」で表示されます。
- 「スカパー！プレミアムサービス」チューナーで録画予約した番組は、手順2で番組名が表示されないことがあります。録画が完了すると、番組名が表示されるようになります。

ご注意

- 毎回録画の条件を設定している場合、予約リストには1件しか表示されませんが、番組表で実際の予約状況が確認できます。
- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合、重複確認画面が表示されることがあります(番組表では同じ時刻で表示されても、実際の放送が数秒重複している場合)。

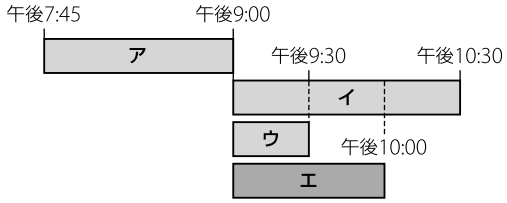
• 他の予約と重なる場合、LAN録画／LANムーブは、予約の優先順位を最優先にしないとまったく録画されないことがあります。

録画予約が重なったときは

同じ時間帯に録画予約が重なった場合、実際の録画は優先順位に従って行われます。
後から設定した録画予約ほど優先順位が高くなります。優先順位の低い録画予約で、一部またはすべてが録画されない場合、予約リストに重複マーク ⧉ が表示されます。

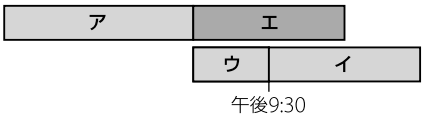
優先順位を変更するには、予約リストで ⧉ のついた予約を選び、《オプション》ボタンを押します。[優先変更]＞[はい]を選び《決定》ボタンを押すと、優先順位を最上位に変更できます。

例：番組[ア]、[イ]、[ウ]、[エ]の順に予約した場合（番組[エ]の優先順位が一番高い）



• **実際の録画**
BDZ-ET2100 / ET1100の場合：**すべて録画されます。**

• **実際の録画**
BDZ-EW1100 / EW510の場合：
[ア]、[ウ]、[エ]と、[イ]の一部が録画されます。

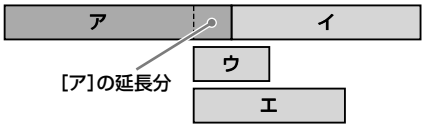


• **実際の録画**
BDZ-E510の場合：
[ア]、[エ]と、[イ]の一部が録画されます。[ウ]は録画されません。

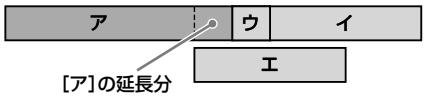
例：番組[ア]が、ドラマの初回や最終回、スポーツ番組の延長などで、15分延長した場合
上の例では、優先度の低い[ア]の延長分は録画されません。

番組[ア]の優先順位を最優先にすると、[ア]の延長分を録画できます（優先順は[ア]、[エ]、[ウ]、[イ]）。ただし、重なった時間分、他の番組の一部が録画されません。

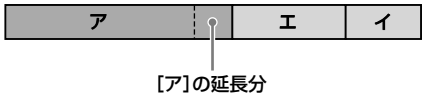
• **実際の録画**
BDZ-ET2100 / ET1100の場合：
[ア]、[ウ]、[エ]と、[イ]の一部が録画されます。



• **実際の録画**
BDZ-EW1100 / EW510の場合：
[ア]、[エ]と、[イ]の一部、[ウ]の一部が録画されます。



• **実際の録画**
BDZ-E510の場合：
[ア]と[イ]の一部、[エ]の一部が録画されます。[ウ]は録画されません。



ちょっと一言
• BDZ-ET2100 / ET1100の場合、優先順位はチューナーA/B側とチューナーC側でそれぞれ処理します。
チューナーA/B/Cについては「3番組同時録画について」（13ページ）をご確認ください。

他の録画予約との重複を確認するには

予約リストで《オプション》ボタンを押して[重複確認]を選びます。複数ある場合は↑↓で確認します。重複する予約がない場合、[重複確認]は表示されません。

録画予約を入れたチューナーを切り換えたい

対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100

☞次のページも参考にしてください。
• 3番組同時録画について（13ページ）。

録画予約のチューナーA/Bとチューナーcを切り換えることができます。

1 録画予約を入れたチューナーを切り換える。
予約リストで切り換えたい録画予約を選びます。
《オプション》ボタンを押して[予約切換]を選びます。
チューナーA/Bの予約には SR（▶▶マークなし）など、
チューナーCの予約には ▶SR（▶▶マークあり）などのアイコンがついています。

2 録画予約の重複がないか確認する。
予約切換を行った後は、他の予約と重複していないか確認してください。
《オプション》ボタンを押して[重複確認]を選びます（表示されていなければ、重複はありません）。
重複している場合、他の予約のチューナーを変更したり、優先順位を変更して調整してください。

スカパー！やCATVの番組を録画したい

スカパー！やCATVを外部チューナーで受信している場合の録画方法です。CATVの番組を録画するための接続などについては、ご利用のCATV局にお問い合わせください。

スカパー！やCATVをLAN経由で録画したい

「「スカパー！プレミアムサービス」やCATVを録画したい(LAN録画)」(41ページ)をご覧ください。

CATVの番組を本機の番組表から録画したい

CATVチューナーからの映像をパススルー方式(82ページ)で受信している場合、本機の番組表から録画できます。一般的なCATVは、地上デジタル放送はパススルー方式ですが、BS/110度CSデジタル放送はパススルー方式ではありません。パススルー方式ではない放送は、本機の番組表からは録画できません。次の手順で録画してください。

外部入力から録画するには

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 本機と外部チューナーをつなぐ(83ページ)。
- [外部入力録画横縦比]で映像サイズを設定する(92ページ)。

CATV局のBS/110度CSデジタル放送や、有料チャンネルなどを録画する場合、本機と外部チューナーをつなぎ、日時指定予約を使って録画予約します。

1 外部チューナーの映像を表示する。

本機のリモコンの《入力切換》ボタンをくり返し押して外部チューナーの映像を表示します。

2 外部チューナーの録画予約を設定する。

外部チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画したい日時、チャンネルで録画予約を設定してください。

3 本機で日時指定予約の条件を設定する。

「日時を指定して録画予約したい(日時指定予約)」(26ページ)の手順2で、[CH]を[入力]にしてください。

4 録画予約する。

[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意
- AVマウスでの録画には対応していません。

番組を検索して録画予約したい

見ている番組の出演者や話題に関連する番組がほかにもないか検索したい(気になる検索)

1 検索する。

番組を視聴中に《オプション》ボタンを押します。

[気になる人名]や[気になるワード]>キーワードを選び、《決定》ボタンを押します。

[番組表]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 録画したい番組を選ぶ。

最大200件まで表示します。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは

《緑》ボタンを押します。

日付順と番組名順が切り換わります。

x- おまかせ・まる録、My！番組表へ登録するには

《オプション》ボタンを押します。

[おまかせへ登録]または[My！番組表へ登録]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画予約方法を選ぶ。

そのまま／毎回録画予約する場合

[予約する]を選んでください(16ページ)。

録画モードなども設定する場合

[予約設定へ]を選んでください(17ページ)。

ご注意
- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

いろいろな条件を組み合わせて番組検索したい(ジャンル検索、キーワード検索、詳細条件検索)

1 放送の種類を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[地デジ]／[BS]／[CS]のどれかを選びます。

2 検索方法を選ぶ。

[番組検索]を選び、《決定》ボタンを押します。

[ジャンル検索]／[キーワード検索]／[詳細条件検索]のどれかを選び、《決定》ボタンを押します。

3 検索するための条件を設定する。

4 検索する。

[検索開始]を選び、《決定》ボタンを押します。

5 録画したい番組を選ぶ。

最大200件まで表示します。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは

《緑》ボタンを押します。

日付順と番組名順が切り換わります。

x- おまかせ・まる録、My ！番組表へ登録するには

《オプション》ボタンを押します。

[おまかせへ登録]または[My ！番組表へ登録]を選び、《決定》ボタンを押します。

6 録画予約方法を選ぶ。

そのまま／毎回録画予約する場合

[予約する]を選んでください(16ページ)。

録画モードなども設定する場合

[予約設定へ]を選んでください(17ページ)。

ちょっと一言

- 手順3で[ジャンル]、[キーワード]、[除外ワード]を設定して検索する条件を変更できます。

ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

日時やチャンネルなどから番組検索したい(日時指定検索)

1 放送の種類を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[地デジ]／[BS]／[CS]のどれかを選びます。

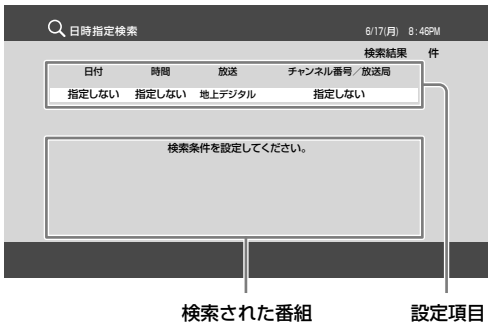
2 検索方法を選ぶ。

[番組検索]＞[日時指定検索]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 検索するための条件を設定する。

《決定》ボタンを押してから、条件を設定します。日付、時間、チャンネルのどれかを設定すると、検索が行われます。

条件を組み合わせることで、候補の番組を絞り込めます。



4 録画したい番組を選ぶ。

《黄》ボタンを押します。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

5 録画予約設定画面を表示し、録画予約する。

そのまま／毎回録画予約する場合

[予約する]を選んでください(16ページ)。

録画モードなども設定する場合

[予約設定へ]を選んでください(17ページ)。

ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

好みの番組を自動で探して録画してほしい(x-おまかせ・まる録)

ジャンルやキーワードを指定して自動録画したい

ジャンルやキーワードなどの条件を設定すると、番組表データの中から本機が自動でその条件に合った番組を探し、1日最大で20件まで録画します。

1 おまかせ設定の新規登録をする。

《録画リスト》ボタンを押します。

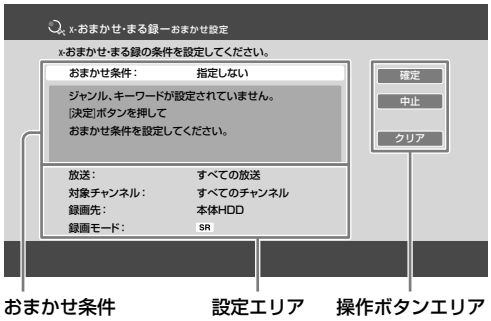
リストの上にある[x-おまかせ･まる録]＞[新規登録]を選び、《決定》ボタンを押します。

10件まで登録できます。

2 ↑↓←→で、自動録画のための条件を設定する。

設定エリアで[おまかせ条件]と設定項目を設定します。

キーワードは複数登録できます。



3 条件を確定する。

操作ボタンエリアで[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

x-おまかせ･まる録で録画される番組や番組数は、本機が学習した情報によって変わります。

ジャンルやキーワードを取り消すには

操作ボタンエリアで[クリア]を選び、《決定》ボタンを押して[確定]してください。

おすすめ番組を自動録画したい

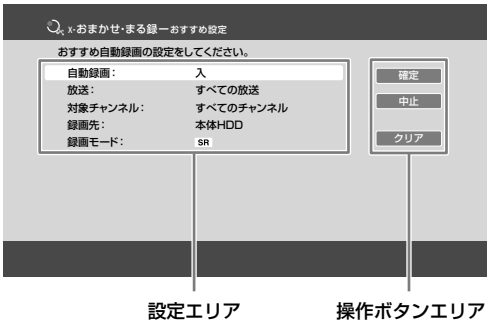
お客様の好みを学習し、本機がおすすめする番組を自動で1日最大4件まで録画します。

1 おすすめ設定の登録をする。

《録画リスト》ボタンを押します。

リストの上にある[x-おまかせ･まる録]＞[おすすめ]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ↑↓←→で、自動録画のための条件を設定する。



3 条件を確定する。

操作ボタンエリアで[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

おすすめ番組の自動録画をやめるには

「おすすめ番組を自動録画したい」(24ページ)の手順2で[自動録画]＞[切]を選び、《決定》ボタンを押します。

おまかせ録画候補の番組を確認するには

x-おまかせ･まる録で録画予定となっている番組を60件まで確認できます(おまかせ予約リスト)。

1 おまかせ予約リストを表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

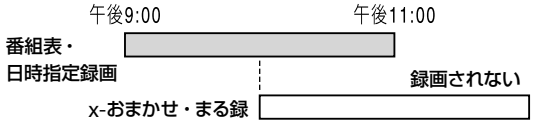
リストの上にある[予約確認]＞[おまかせ予約リスト]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- おまかせ予約リストにあっても、他の録画や学習情報の変化などで録画されないことがあります。確実に録画したいときは、《オプション》ボタンを押して[予約へ変更]を選び、録画予約をしてください。
- 番組表からは確認できません。

x-おまかせ･まる録と他の録画予約が重なったら

x-おまかせ･まる録は他の録画より優先されることはありません。他の録画予約が優先されると、おまかせ予約リストからは削除されます。



x-おまかせ･まる録同士の録画予約が重なったら

おすすめ度の高い番組を優先して録画します。同じおすすめ度では、録画開始時刻が先のものが優先されます。
BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510では、x-おまかせ･まる録で2番組まで同時録画ができます。

外付けハードディスクに録画するには

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 外付けハードディスクを本機につなぐ(84ページ)。

1 [録画先]で[USB HDD]を選ぶ。

「ジャンルやキーワードを指定して自動録画したい」(24ページ)または「おすすめ番組を自動録画したい」(24ページ)の手順2で設定してください。

外付けハードディスクへは、1度に1番組しか録画できないため、他の録画が行われていると、x-おまかせ･まる録は行われません。

ちょっと一言
- 本機／外付けのハードディスク残量が少なくなると、x-おまかせ･まる録で録画したタイトルは自動で削除されます。自動削除対象のタイトルにはゴミ箱のアイコンが付きます(133ページ)。削除されないようにプロテクトもできます(50ページ)。
- 本機が学習した情報は、[お買い上げ時の状態に設定]で初期化できます(98ページ)。

ご注意
- x-おまかせ･まる録では、契約をしていないチャンネルの有料番組は録画されません。
- x-おまかせ･まる録設定の内容を変更／削除しても、変更直後は、変更前の設定で録画されることがあります。変更直後に確実に録画したい番組があるときは、番組表を使って録画予約してください。

自分好みの番組表を作って録画予約したい(My！番組表)

My！番組表を使うと、テレビ雑誌を見るように、さまざまな切り口から番組を探して録画予約できます。

1 My！番組表から、利用したい番組表を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[地デジ]／[BS]／[CS]＞[My！番組表]を選び、《決定》ボタンを押します。

利用したい番組表を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
みどころ特集	今"旬"と思われるテーマやキーワードを抽出し、日替わりでみどころ番組を表示します。
おすすめ番組	録画の履歴から本機が好みを学習し、おすすめ番組を表示します。
ジャンル／キーワード	[新規登録]で登録した条件に合った番組(お気に入り番組表)を最大200件まで表示します。
新規登録	ジャンルやキーワードを登録します。

2 録画したい番組を選ぶ。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画予約方法を選ぶ。

そのまま／毎回録画予約する場合

[予約する]を選んでください(16ページ)。

録画モードなども設定する場合

[予約設定へ]を選んでください(17ページ)。

ご注意
- みどころ特集は、お買い上げ後すぐには表示されません。表示されるまで1日程度お待ちください。
- みどころ特集の画面の背景色は、自動で変化します。

いろいろな方法で録画予約したい

いま見ている番組を録画したい

放送中の番組や外部入力の映像などを見ながら録画できます。

1 録画する。

番組視聴中に●《録画》ボタンを1回押します。

録画が開始されると、本機前面の録画ランプが点灯します。

デジタル放送は番組終了まで録画します。外部入力は6時間録画します。

録画を停止するには、■《停止》ボタンを押します。

録画時間を設定するには(クイックタイマー)

録画中に●《録画》ボタンをくり返し押して設定します。
録画を終了させたい時刻を30分単位で最長6時間まで設定できます。

ちょっと一言

- 録画中に電源を切っても、指定した終了時刻まで録画されます。

日時を指定して録画予約したい(日時指定予約)

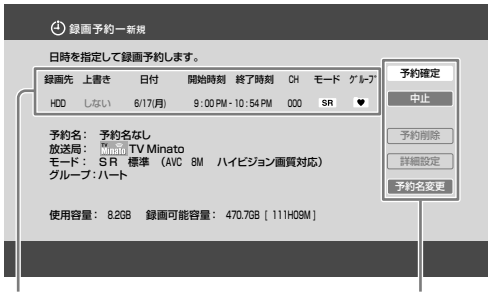
日時やチャンネルを指定して1か月先までの番組を録画予約できます。

1 録画予約設定画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

リストの上にある[録画予約]>[日時指定予約]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ↑↓←→で、録画の条件を設定する。



設定エリア　　操作ボタンエリア

録画の条件を変更するには

設定エリアで各項目を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
録画先	[HDD]本機のハードディスク／[USB]外付けハードディスク／[BD]ブルーレイディスクを選べます。
上書き	[録画先]を[HDD]に設定時、[日付]で定期的に録画する設定にした場合に、前回録画した番組(タイトル)を、次の録画を開始する前に削除します。
日付	録画の日付を選びます。
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
CH	チャンネルを選びます。CATVなどの外部入力は[入力]にしてください。
モード	録画モードについては「録画モードと録画／ダビング可能時間について」(124ページ)をご覧ください。
グループ	[録画先]を[HDD]/[USB]に設定時、タイトルの分類に使えます。(32、55ページ)

視聴年齢制限付きの番組を録画するには(BS/110度CSデジタル放送のみ)

操作ボタンエリアで[詳細設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

予約名を変更するには

操作ボタンエリアで[予約名変更]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画予約する。

操作ボタンエリアで[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- スポーツ中継の放送延長のため、予約した番組の放送時刻が変わる可能性を本機が検知すると[ビデオ設定]>[スポーツ延長対応]で設定した時間分長く録画します(91ページ)。
  確実に録画したい場合は、終了時刻を遅めに設定してください。

ブラビアの番組表から録画予約したい(ネットワーク録画予約)

「ブラビアの番組表から録画予約したい(ネットワーク録画予約)」(44ページ)をご覧ください。

外から予約したい(スマートフォンなど)

「外から予約したい(スマートフォンなど)」(47ページ)をご覧ください。

ハードディスクに録画した番組や映像を再生したい

本機／外付けのハードディスクに録画した番組や映像を再生できます。

録画した番組や映像を再生したい

1 映像（タイトル）を再生する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

タイトル一覧（録画リスト）画面（131ページ）

●録画中でも再生できます（追いかけ再生）。

再生したことがあるタイトルは、前回再生を止めた位置から再生が始まります（つづき再生）。

ご注意

- 録画中のタイトルは、サムネイル表示されないことがあります。

再生を止めるには

■《停止》ボタンを押します。

写真を見るには

《ホーム》ボタンを押し、［フォト］を選びます（76ページ）。

視聴年齢制限で表示されない番組や映像を再生するには

18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限されていると表示されません。《オプション》ボタンを押して［視聴制限一時解除］（135ページ）を選び、制限を解除してください。

ちょっと一言

- 本機の電源を切ると、自動的に制限が再設定されます。設定の変更については、［HDDタイトル視聴年齢制限］（95ページ）をご覧ください。

外付けハードディスクから再生するには

☞あらかじめ、次のことをしてください。

- 外付けハードディスクを本機につなぐ（84ページ）。

1 タイトルを表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

リストの上にある外付けハードディスクアイコンを選び、《決定》ボタンを押します。

2 再生する。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

録画した番組をはじめから再生したい

《録画リスト》ボタンを押します。
映像(タイトル)を選び、《オプション》ボタンを押します。
[はじめから再生]を選び、《決定》ボタンを押します。

録画した番組を早見再生したい(音声付き早見)

映像(タイトル)を再生し、《黄》ボタンを押します。
通常再生に戻すには、もう一度《黄》ボタンを押します。

ご注意

- 次のタイトルは早見再生できません。
  - BD/DVDのタイトル。
  - 他機器で撮影した3D映像。
  - 他機器で撮影した1080/60p映像。

録画中の番組を追いかけ再生したい

本機／外付けのハードディスクに録画中の映像(タイトル)を再生できます。
詳しくは、「録画した番組や映像を再生したい」(28ページ)をご覧ください。

ご注意

- BDに録画中のタイトルは追いかけ再生できません。録画が終了してから再生してください。
- 3D番組は、タイトル名の横に3Dアイコンが表示されていることを確認してから、追いかけ再生してください。

録画した3D番組を再生したい

放送局側で3D信号が付けられた番組(タイトル)は、再生時に自動的に3D表示に切り換わり、画面上に3Dアイコンが表示されます。

1 3D対応テレビとハイスピードHDMIケーブルでつなぐ。

ご注意

- 本機と3D対応テレビの間に他機器をつないでいる場合、それらの機器も3D対応している必要があります。対応していない場合は、本機と3D対応テレビをHDMIケーブルでつなぎ、テレビの光デジタル出力からホームシアターやAVアンプなどの他機器をつなぐこともできます。

2 本機の設定を確認する。

《ホーム》ボタンを押します。
ホームメニューの左端にある[設定]＞[映像設定]＞[3D出力]＞[自動]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 再生する。

《録画リスト》ボタンを押します。
3Dアイコンの付いたタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

自動的に3D表示に切り換わらないときは

＜ブラビア＞の場合
＜ブラビア＞付属のリモコンの《3D》ボタンを3D表示に切り換わるまでくり返し押します。
詳しくは、お使いの＜ブラビア＞の取扱説明書などをご覧ください。

＜ブラビア＞以外の場合
お使いの3D対応テレビの取扱説明書などをご覧ください。

ディスクに録画した番組や映像を再生したい

BDやDVD、CDを再生したい

1 ディスクを入れる。

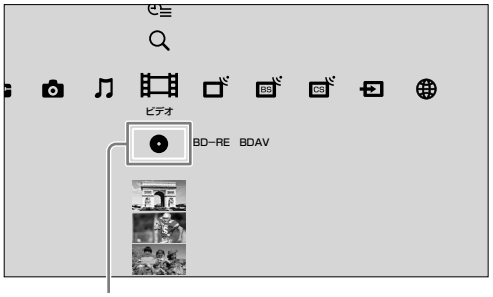
2 再生する。

《録画リスト》ボタンを押します。

ディスクアイコンを選び、《決定》ボタンを押します。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

ディスクによっては選んだ後サムネイルが表示されます。



ディスクアイコン

市販のディスクを入れると自動で再生が始まります。操作方法はディスクによって異なります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- 24p映像で記録されたBDを本機で再生し、24p映像対応のテレビやプロジェクターで映すと、映画本来の映像が楽しめます(88ページ)。

ご注意

- 他機器で記録したDVDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDは再生できません。
- AVCREC方式やHD Rec規格で記録されたDVDは再生できません。
- CDに保存したタイトルは本機では再生できません。

写真を見るには

《ホーム》ボタンを押します。

[フォト]>ディスクアイコン>アルバム>写真を選びます(76ページ)。

音楽CDを再生するには

CD(CD-R/CD-RWを含む)を入れると、自動的に再生画面が表示されます。

►《再生》ボタンを押してください。

3Dの映像やBlu-ray 3Dディスクを再生したい

3Dの映像(タイトル)やBlu-ray 3Dロゴ*が記載されたBlu-ray 3Dディスクを再生できます。

* Blu-ray 3D™

1 「録画した3D番組を再生したい」(29ページ)の手順1、2を行い、接続と設定をする。

2 「BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ」を設定する。

ホームメニュー>[設定]>[映像設定]>[BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ]>お使いのテレビのインチサイズを選び、《決定》ボタンを押します(88ページ)。

お使いのテレビのインチサイズについて詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書などをご覧ください。

3 ディスクを入れる。

4 再生する。

自動的に3D表示に切り換わらないときは

テレビ側の設定を確認してください(29ページ)。

録画した番組を検索して再生したい

本機／外付けのハードディスクに録画した映像(タイトルやコーナー)を、キーワードなどの条件で検索できます。

ちょっと一言

- コーナー情報を取得していない、または録画直後などのタイトルのコーナーは検索できません。
  コーナー情報取得について詳しくは、「コーナー情報ですぐに見たい(もくじでジャンプ)」(44ページ)をご覧ください。

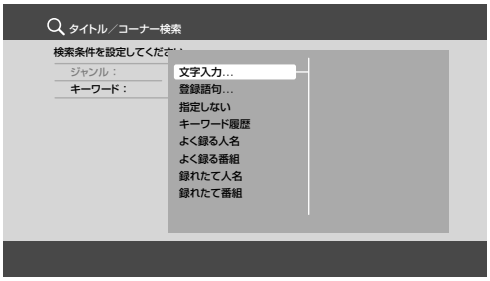
タイトルやコーナーをキーワード／ジャンルで検索したい

1 検索方法を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[タイトル／コーナー検索]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 検索するための条件を設定する。

[ジャンル]や[キーワード]を選び、検索する条件を選んで《決定》ボタンを押します。よく録画する人名や番組は、[キーワード]＞[よく録る人名]／[よく録る番組]で検索できます。
[条件追加]を選ぶと、より詳しい条件を設定できます。

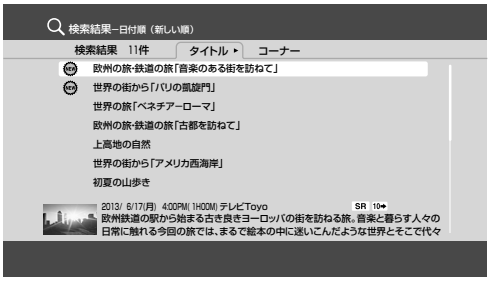


3 検索する。

[検索開始]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 再生したい映像を選ぶ。

↔ボタンで、タイトルとコーナーの検索結果を切り換えることができます。
最大200件まで表示します。
タイトルやコーナーを選び、《決定》ボタンを押します。



並べ替えたいときは

《緑》ボタンを押します。

- タイトル検索結果では、日付順(新しい順／古い順)、未視聴順、タイトル名順などに切り換わります。
- コーナー検索結果では、日付順(新しい順／古い順)、名前順、種類順などに切り換わります。

検索結果に戻るには

再生中に《戻る》ボタンを押します。他のタイトルやコーナーの再生ができます。ただし、再生中に《録画リスト》ボタンや《ホーム》ボタンを押すと、検索結果に戻れないことがあります。

ご注意

- 電源を入れたり、外付けハードディスクを接続してから数分間は、タイトルやコーナーの検索に時間がかかることがあります。

出演者や話題に関連するタイトルやコーナーがほかにもないか検索したい(気になる検索)

1 検索方法を選ぶ。

タイトルを再生中に、《オプション》ボタンを押します。
[気になる人名]や[気になるワード] ＞ キーワードを選び、《決定》ボタンを押します。
[タイトル]または[コーナー]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 再生したい映像を選ぶ。

最大200件まで表示します。
タイトルやコーナーを選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは

《緑》ボタンを押します。

- タイトル検索結果では、日付順(新しい順／古い順)、未視聴順、タイトル名順などに切り換わります。
- コーナー検索結果では、日付順(新しい順／古い順)、名前順、種類順などに切り換わります。

検索結果に戻るには

再生中に《戻る》ボタンを押します。他のタイトルやコーナーの再生ができます。ただし、再生中に《録画リスト》ボタンや《ホーム》ボタンを押すと、検索結果に戻れないことがあります。

ご注意

- 電源を入れたり、外付けハードディスクを接続してから数分間は、タイトルやコーナーの検索に時間がかかることがあります。

録画した番組を分類／整理したい

ハードディスクに録画した映像をフォルダ表示したい(オートグルーピング)

本機／外付けのハードディスクに保存した映像(タイトル)を、再生時間別、グループ別などによってフォルダ表示できます。
録画済み番組をグループ別にフォルダ表示するには、「録画した映像にグループを設定したい」(55ページ)をご覧ください。

1 タイトル一覧を表示する。
《録画リスト》ボタンを押します。

2 フォルダ表示にする。
《黄》ボタンを押します。
タイトル一覧に戻すには、もう一度《黄》ボタンを押します。
フォルダの種類については132ページの1をご覧ください。

ご注意

- ジャンル分けは放送局から送られてくる信号により分類しているため、変更できません。放送回によって、ジャンルが異なることもあります。

BD/DVDに保存した映像をフォルダ表示したい

フォルダ表示できるのは、本機／外付けのハードディスクに録画した映像(タイトル)だけです。

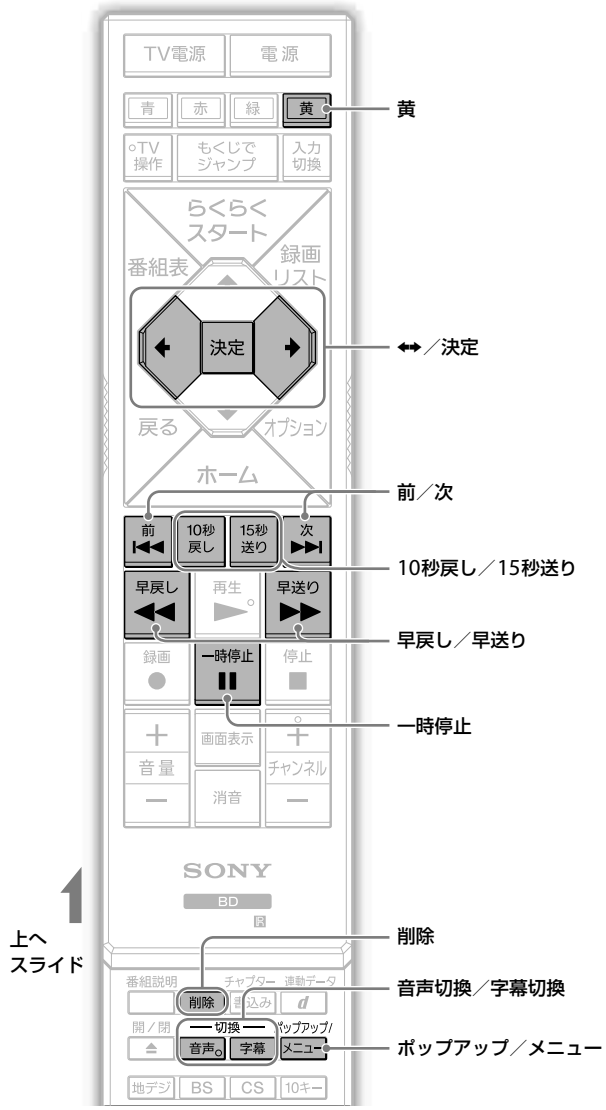
録画した映像を並べ替えたい

本機／外付けのハードディスク、BD、DVDに保存した映像(タイトル)を並べ替えます。

1 タイトル一覧を表示する。
《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクの場合は、ディスクアイコンを選びます。

2 並べ替える。
《緑》ボタンを押します。
並び順を変更するには、くり返し《緑》ボタンを押します。

再生中の操作一覧



再生中にリモコンでいろいろな操作ができます。

ボタン	できること
《決定》	• 一時停止または再生を再開します。 • 早戻し／早送り、スロー、コマ戻し／コマ送り再生中に押すと通常の再生に戻ります。
⏮／⏭《前／次》	前または次のチャプター(本編からCMなど)／トラック／ファイルの先頭に進みます。1つ前のチャプターの先頭に戻るには、⏮《前》ボタンを続けて2回押してください。
《10秒戻し／15秒送り》	少し前に戻る、または先に進みます。
◀◀／▶▶《早戻し／早送り》(スロー、コマ戻し／コマ送り)	• 再生中に押すと、早送り再生や早戻し再生します。 ビデオ再生中は押すたびに速さが切り換わります。 • 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生します。 • 一時停止中に押すと、コマ送り再生します。

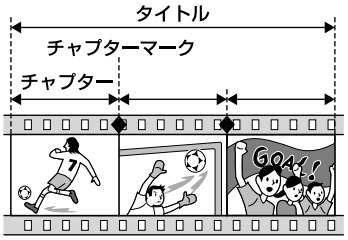
ボタン	できること
⇔	◀◀／▶▶ボタンと同じ操作ができます。
❚❚《一時停止》	一時停止または再生を再開します。
《ポップアップ／メニュー》	BD-ROMのポップアップメニューやDVDのメニューを表示または閉じます。
《黄》	再生中に押すと、音声付き早見再生します(29ページ)。
《音声切換》	視聴中のタイトルにセリフが複数の言語で記録されているときや、音声トラックに主音声／副音声が記録されている場合、押すたびに切り換わります。
《字幕切換》	視聴中のタイトルに字幕が複数の言語で記録されている場合、押すたびに字幕の言語が切り換わります。録画時は、DRモードで録画してください(15ページ)。
《削除》	再生中に押すと、タイトルを削除できます。

ちょっと一言

- BD-ROM再生時にカラーボタン(《青》ボタン、《赤》ボタン、《緑》ボタン、《黄》ボタン)や数字ボタン、↑↓⇔を使うことがあります。
- 再生するディスクやタイトルによって、利用できる機能が異なります。

映像の区切りで頭出ししたい

映像(タイトル)内にチャプターマークがある場合に頭出しできます。本機で録画した映像には、自動的にチャプターマークが付きます。



1 タイトル再生中に、チャプターを頭出しする。

リモコンの⏮／⏭《前／次》ボタンを押します。

前または次のチャプターの先頭に移動します。

好みの場面にチャプターマークを付けるには

録画中や、再生／再生一時停止中に《チャプター書込み》ボタンを押すとチャプターマークが付けられます。
本機／外付けのハードディスクやBD-R/BD-REに録画したタイトルが対象です。

自動チャプターマークとは

録画時に、画面と音声の変化(本編とCMの切り換わりなど)から自動的にチャプターマークを付けます。通常は[入]に設定します(91ページ)。ただし、必ずしも正確なものではありません。LAN録画／LANムーブしたタイトルや変化の少ない番組では、約6分間隔でマークを付けます。

見たい場面をすばやく探したい(シーンサーチ)

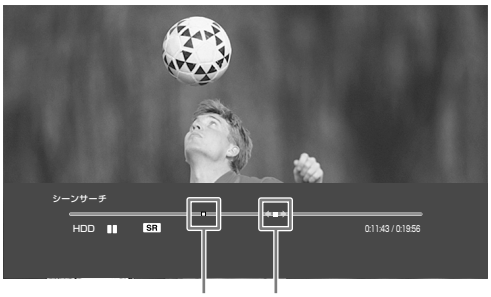
映像(タイトル)の見たい場面にすばやく移動できます。

1 タイトルを再生し、見たい場面を探す。

《青》ボタンを押します。

←→で見たい場面の位置まで移動します。

見たい場面の位置まで移動したら、ボタン操作を停止します。



現在位置　シーンインジケーター

2 再生する。

《青》ボタンを押します。

押した場面から再生が始まります。

以下のことはできません

- 100秒未満、または100時間以上のタイトルでシーンサーチすること。
- 市販のBD-ROMや「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクをシーンサーチすること。

好みの画音質で再生したい

好みの画質に設定したい(画質設定)

お使いのテレビなどに合わせてきれいな画質に設定できます。

1 映像(タイトル)を再生する。

2 画質を調整する。

《オプション》ボタンを押します。

[画質設定]＞設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

画質設定

項目	説明
モニター種類	• 液晶テレビ:液晶テレビに適した設定にします。 • プロジェクター:プロジェクターに適した設定にします。 • 有機ELテレビ:有機ELテレビに適した設定にします。 • 4Kテレビ:4Kテレビに適した設定にします。(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100) • 該当なし。
画質モード	• スタンダード :標準的な設定です。通常は[スタンダード]がおすすめです。 • ナチュラル:自然さを重視した設定です。映画を観賞するのに適した映像になります。 • パワフル:めりはりを効かせた設定です。鮮やかな映像になります。 • カスタム1／カスタム2:お好みに合わせて設定ができます。
標準に戻す	[カスタム1／カスタム2]選択時の設定値を、お買い上げ時の設定に戻します。
おすすめ設定	**対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100** BDや放送、映画、アニメなどの画質のおすすめ設定です。[画質モード]＞[カスタム1／カスタム2]を選択すると選べます。好みに合わせて調整してください。 • BDシネマ(プロジェクター) • BDシネマ(4Kプロジェクター) • BDシネマ(テレビ) • BDシネマ(4Kテレビ) • BDアニメ • 放送シネマ • 放送アニメ
くっきり	
輪郭	輪郭やエッジの先鋭度を調整します(−6:ソフト、6:くっきり)。
精細感	ディテールの精細感を調整します(−6:ソフト、6:くっきり)。
超解像	解像感を向上させます(0:切、3:強)。

項目	説明
すっきり	
▶ **対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100**	
フレームノイズ除去	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します。
ブロックノイズ除去	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減します。
モスキートノイズ除去	映像の輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減します。
スムージング	平坦部の階調(表現)をなめらかにすることによって、画面上の擬似輪郭を低減します(0:切、3:強)。
フィルムグレイン	画面上に現れる細かい粒子状のノイズを軽減または、付加して質感を向上させます(−6:低減、6:細粒感増)。
アニメ·CGリマスター	放送波に含まれるノイズを取り除き、市販の映像ソフトの品質に近づけます(0:切、4:強)。
▶ **対象機種:BDZ-EW1100 / EW510 / E510**	
フレームノイズ除去	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します。
ブロックノイズ除去	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減します。
モスキートノイズ除去	映像の輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減します。
明るさ・色	
▶ **対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100**	
コントラストリマスター	黒レベル、白レベルを自動的に整え、黒浮きしない、めりはりのある画像にします(0:切、4:強)。
クリアブラック	映像の黒い部分の表現を好みの状態に調整します。全体の陰影を損なうことなく、艶やかな黒を演出できます(−6:明るい黒、6:沈んだ黒)。
色の濃さ	色の濃さを調整します(−3:薄、3:濃)。
色合い	全体の色のバランスを調整します(−3:赤、3:緑)。
▶ **対象機種:BDZ-EW1100 / EW510 / E510**	
クリアブラック	映像の黒い部分の表現を好みの状態に調整します。全体の陰影を損なうことなく、艶やかな黒を演出できます(−6:明るい黒、6:沈んだ黒)。
色の濃さ	色の濃さを調整します(−3:薄、3:濃)。
色合い	全体の色のバランスを調整します(−3:赤、3:緑)。
すべて標準	画質設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

ご注意

- 映像や写真によっては画質設定の一部が効かないことがあります。

好みの音質に設定したい(音声設定)

映像と音声のずれを調整したり(画音同期調整)、出力する音声を設定したりできます。

1 映像(タイトル)を再生する。

2 音質を調整する。

《オプション》ボタンを押します。

[音声設定]>設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

音声設定

項目	説明
画音同期調整	映像と音声とのずれを補正します。音声出力を映像出力より遅らせます(0 〜120ミリ秒)。
バーチャルサラウンド(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)	テレビのスピーカー(2ch)から仮想的なサラウンド音声を再現します。 • 切:本機のバーチャルサラウンドを適用しません。 • AVルーム:本格的なAV視聴室で聴くような、原音に忠実な再生音を楽しめます。 • シアター:音響に優れた映画館のような、適度な広がりのあるサラウンド音場を楽しめます。 • リビング:登場人物とリビングで会話しているような距離感を再現し、セリフや歌声を聞きやすくします。
ハーモニクスイコライザー(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)	圧縮や量子化によって失われがちな消え際の微小な音を再現します。AAC/Dolby Digital/DTS/LPCM(CDなど)に有効です。
テレビ音声位置補正(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)	テレビのスピーカー(2ch)から音声が聞こえてくる位置を、仮想的に上方へ補正します。
外部入力音声	外部入力(音声入力端子)からの音声を[ステレオ]や[二重音声]に設定します。
すべて標準	音声設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

ご注意

- 他機器でバーチャルサラウンドに類似した機能を楽しむときは、本機の[バーチャルサラウンド]を[切]に設定してください。
- バーチャルサラウンド、ハーモニクスイコライザー、テレビ音声位置補正は、本機のHDMI端子と接続した機器に効果があります。
- バーチャルサラウンドとテレビ音声位置補正は、サンプリング周波数が44.1kHz/32kHzの音声には効果がありません。また、バーチャルサラウンドは2ch音声には効果が出ないことがあります。
- ハーモニクスイコライザーは、AAC/Dolby Digital/DTS/LPCM(サンプリング周波数48kHz)とCD(サンプリング周波数44.1kHzのLPCM)に効果があります。

番組を別の部屋で見たい(ルームリンク／家じゅうどこでも視聴)

「番組を別の部屋で見たい(ルームリンク／家じゅうどこでも視聴)」(42ページ)をご覧ください。

コーナー情報ですぐに見たい(もくじでジャンプ)

「コーナー情報ですぐに見たい(もくじでジャンプ)」(44ページ)をご覧ください。

インターネットで映画やドラマを見たい(アクトビラ／TSUTAYA TV／T's TV)

「インターネットで映画やドラマを見たい(アクトビラ／TSUTAYA TV／T's TV)」(46ページ)をご覧ください。

BDの特典映像を楽しみたい

「BDの特典映像を楽しみたい」(48ページ)をご覧ください。

準備1：ネットワークにつなぐ

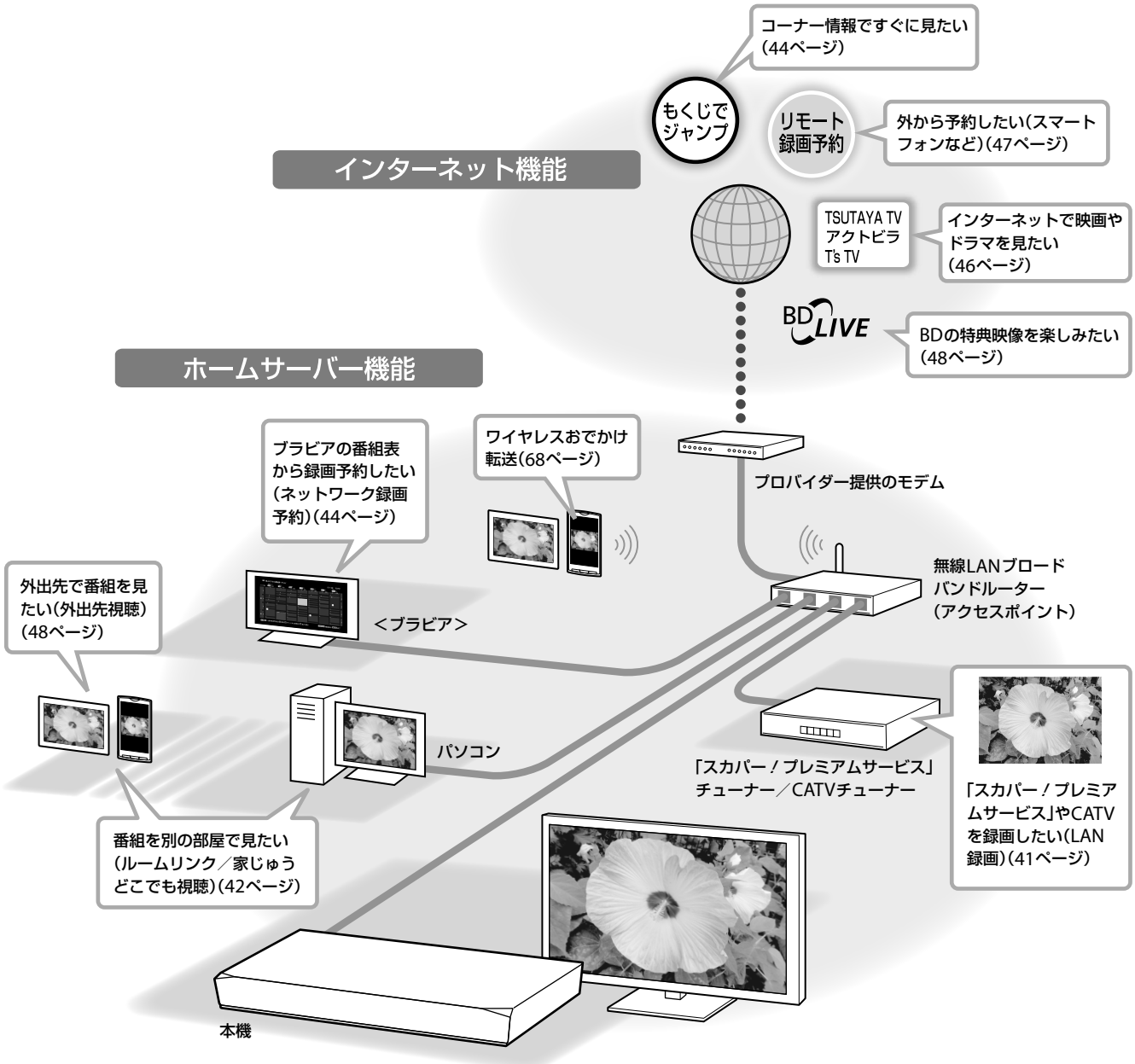
本機をネットワークにつなぐと、ホームサーバー機能やインターネット機能でさらに使いかたが広がります。

お客様の環境によって、ネットワーク接続の方法は異なります

本書では、基本的な説明になっています。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

有線でつなぐと：
LANケーブルの配線が必要ですが、通信速度は安定します。LAN録画やルームリンクを使う場合は有線で接続してください。

無線でつなぐと：
LANケーブルは不要ですが、通信速度は環境や他の無線通信の影響を受け変化します。また、アクセスポイントとの接続設定が必要です。



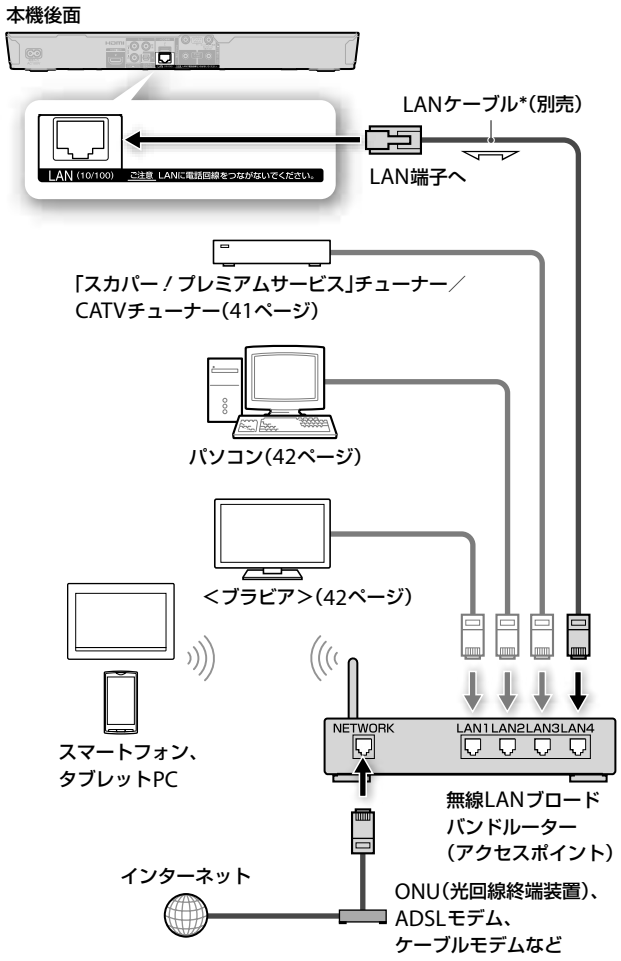
ちょっと一言

- お客様の環境について詳しくは、ご家庭でネットワークを設置された方にご確認ください。接続や設定でわからない用語は、「用語集」（139ページ）をご覧ください。

ご注意

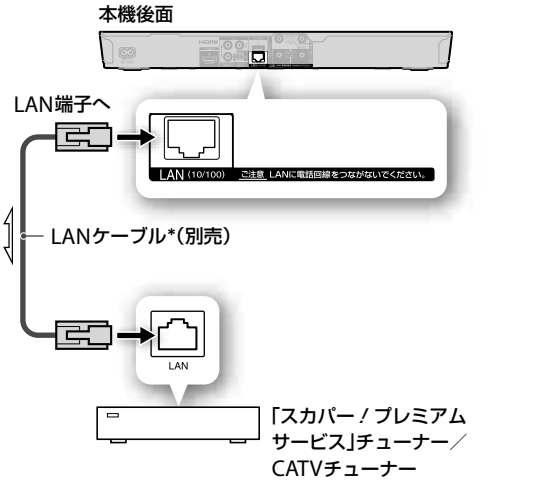
- 本機は、有線と無線を同時に利用できません。
- 推奨する無線環境はIEEE 802.11n規格です。
- 無線の電波状況によっては通信が途切れたり、正常に通信できなかったりするおそれがあります。

有線(LANケーブル)でつなぐ



直接LANケーブルでつなぐには

LAN録画(41ページ)/LANムーブ(41ページ)など、インターネット(46ページ)を使わない場合、直接LANケーブルをつないで利用できます。



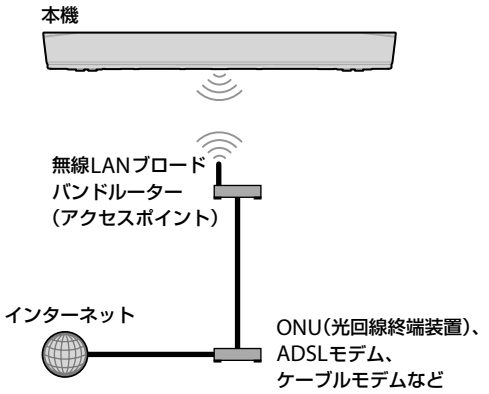
* LANケーブルは、カテゴリー5の100BASE-TX対応以上をお使いください。

無線でつなぐ

無線LANは、すべてのご利用環境で動作を保証するものではありません。距離や障害物により充分な通信速度が出なかったり、接続できなかったりすることがあります。本機は、有線と無線を同時に使えません。
設置、接続や使用環境について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

BDZ-ET2100 / ET1100をお使いの場合

(無線LAN内蔵モデル)



BDZ-EW1100 / EW510 / E510をお使いの場合

無線LANコンバーターなどを使うことで無線化できます。弊社では取り扱っておりませんので、販売各社にお問い合わせください。本機からは有線LANとして扱います。
設置、接続や使用環境について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

準備2:かんたんネットワーク設定をする

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- ネットワークにつなぐ(37ページ)。

画面の指示に従って、簡単にネットワーク設定ができます。

1 準備をする。

有線でつなぐ場合

ルーターとLANケーブルの接続が終わったら、次の手順2から設定を始めてください。

無線でつなぐ場合(内蔵無線LAN)

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100

お使いのルーターにWPSボタンがあるときは*1

設定の途中で、WPSボタンを押す必要があります。あらかじめボタンの位置を確認し、次の手順2から設定を始めてください。

お使いのルーターにWPSボタンがないときは*1

設定の途中で、SSIDや暗号キー*2が必要になります。あらかじめ手元に用意し、次の手順2から設定を始めてください*3。

*1 WPSボタンの有無は、ルーターの取扱説明書でご確認ください。AOSS(バッファロー)や、らくらく無線スタート(NEC)搭載のルーターの場合、WPS対応しているかご確認ください。

*2 暗号キーはルーターのメーカーによっては「暗号化キー」「セキュリティキー」「ネットワークキー」「KEY」「パスワード」と呼ばれています。

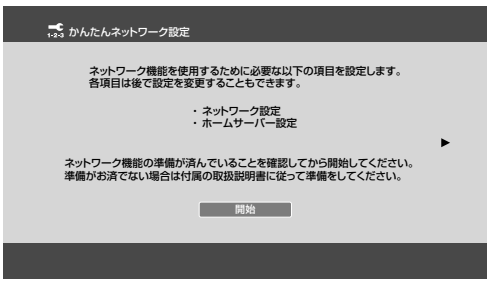
*3 SSIDや暗合キーがわからない場合は、ルーター本体や取扱説明書を確認するか、ルーターのメーカーにお問い合わせください。

2 かんたんネットワーク設定をする。

《ホーム》ボタンを押します。

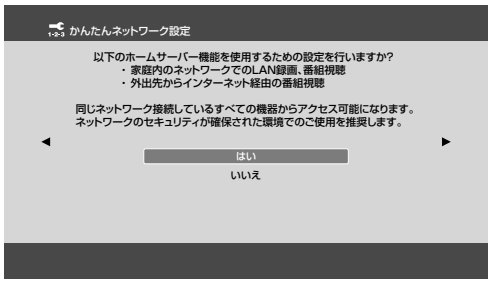
ホームメニューの左端にある[設定]>[かんたん設定]>[かんたんネットワーク設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

画面の指示に従い、最後まで設定操作を行ってください。途中で中断した場合、設定は反映されません。



ちょっと一言
- ネットワーク設定とホームサーバー設定について詳しくは、[かんたんネットワーク設定](98ページ)をご覧ください。

まず、ホームサーバー機能の使用について確認します。



[はい]を選ぶと

すべてのネットワーク機能(41～48、68ページ)が使えるようになります。通常は「はい」を選びます。(98ページ)

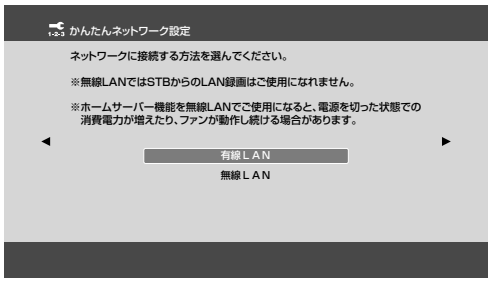
[いいえ]を選ぶと

「インターネット機能を使用するための設定」画面が表示されます。

[はい]を選ぶと、次の機能が利用できます。
- コーナー情報をすぐに見たい(もくじでジャンプ)
- インターネットで映画やドラマを見たい(アクトビラ/TSUTAYA TV/T's TV)
- 外から予約したい(スマートフォンなど)
- BDの特典映像を楽しみたい

次に、ネットワークに接続する方法を選びます。

(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)



[有線LAN]を選ぶと

配線を確認し、接続診断を行います。画面に従って進めてください。

[無線LAN]を選ぶと

接続を確認し、アクセスポイントを登録します。次のいずれかの方法で登録してください。

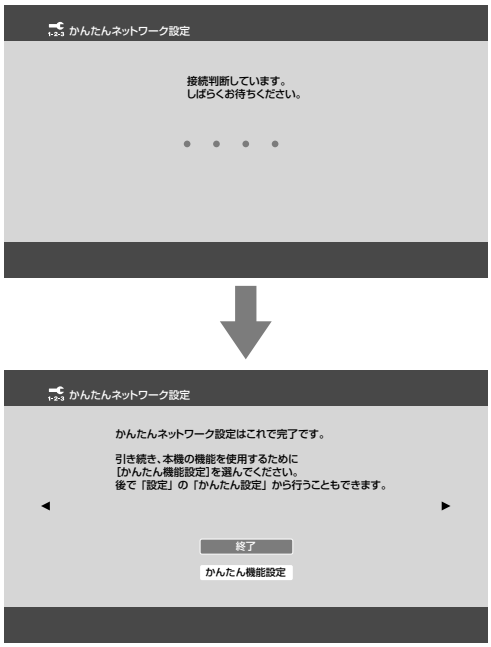
－WPSボタンを押す

－検索して登録(セキュリティ設定を含む)

－登録内容を直接入力(セキュリティ設定を含む)

セキュリティは高い設定をおすすめします。詳しくは「無線LANのセキュリティについて」(126ページ)をご覧ください。

最後に接続診断を行い、本機がネットワークに接続できるか確認します。



[かんたん機能設定]では、本機を便利に使うための設定ができます。ネットワーク設定には必須ではありません。

ご注意

- 「WPS」で登録する場合、セキュリティが「WEP」に設定されているアクセスポイントは登録できません。
- セキュリティが「なし」に設定されているアクセスポイントは、本機で検索して登録しようとしても検索対象になりません。[WPS]または[登録内容を直接入力]で登録してください。
- [ネットワーク設定](96ページ)が[無線LAN]に設定されているとき、ごくまれに電源を切ってから完全に電源が切れるまで時間がかかることがあります。電源が切れるまでの間は、電源を入れても入らないことがありますが、故障ではありません。
(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)

ホームネットワークで本機を操作できる機器を確認／登録するには

[クライアント機器登録方法]を[自動]にしている場合

[設定]>[通信設定]>[ホームサーバー設定]>[登録機器一覧]で本機に登録されている機器を確認できます(97ページ)。

[クライアント機器登録方法]を[手動]にしている場合

[設定]>[通信設定]>[ホームサーバー設定]>[未登録機器一覧]でホームネットワーク上のクライアント機器を選び、登録します(97ページ)。

ネットワークに接続できないときは

次のことを確認して、かんたんネットワーク設定を再度行ってください。

- ルーターなどの電源が入っているか確認してください。

有線LANで接続できないときは

- 本機とルーターがLANケーブルで接続できているか確認してください。

無線LANで接続できないときは

- 電波が弱いかもしれません。ルーターの位置や向きを変えて試してください。
- WPSまたはAOSS接続の場合、ルーターの電波が一時的に弱くなることがあります。接続時のみ、ルーターを近くに持っていき試してください。
- セキュリティを[なし]に設定している場合、ホームサーバー機能が使えません。ルーターでセキュリティを設定してください。

さらに詳しいQ&Aについては、「困ったときは」の「ネットワーク」(110ページ)や下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

- セキュリティ機能の種類については、「無線LANのセキュリティについて」(126ページ)をご覧ください。

インターネット接続を伴うサービスに関する免責事項

- ソニーは、理由の如何を問わず、以下について、一切の責任を負わないものとします。
  - 各サービスを提供する事業者によるサービス内容。
  - 各サービスが予告なく変更・中止されること。
  - 各サービスの提供の遅延または中断等。
  - 各サービス事業者が使用している通信回線の障害、切断、停止等を原因とするサービスの全部または一部の機能不能。
  - ユーザーの利用する通信回線の種別や回線交換機固有の事情を原因とするサービスの全部または一部の機能不能。
  - 上記によりユーザーまたはその他の第三者に生じた損害。

ご注意

- 本機がインターネット接続を伴う機能は、インターネット接続プロバイダーへの、接続料金などの費用が発生します。
- 外出先から録画予約や視聴を行うときは、本機がインターネットに常時接続となるようルーターを設定してください。常時接続の設定方法はご利用のインターネットサービスプロバイダー(ISP)にお問い合わせください。

「スカパー！プレミアムサービス」やCATVを録画したい(LAN録画)

☞次のページも参考にしてください。
- 本機への録画可能時間について(125ページ)。
- 録画が重なったときに優先順位を変更したい(21ページ)。

「スカパー！プレミアムサービス」やCATVチューナー(STB)の番組表から、本機に有線LAN経由で録画予約したり、対応チューナー(STB)で録画した番組を本機にムーブしたりできます。

ご注意

- 「スカパー！プレミアムサービス」は、本機で受信可能なBSや110度CSのスカパー！とは異なります。対応アンテナとチューナーが必要です。
- 有線LANをお使いください。無線LANでのLAN録画はできません(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)。
- 本機能は通信速度が落ちるなどの通信品質低下により、映像の乱れや、番組が録画/ムーブされないことがあります。ムーブ元チューナーの仕様によっては、本機へのムーブが完了しない場合でもムーブ元チューナーから番組が削除されることがあります。詳しくはチューナーの取扱説明書をご覧ください。

準備:ネットワーク接続/設定

1 ネットワークにつなぐ(37ページ)。

2 かんたんネットワーク設定をする(39ページ)。

ホームサーバー機能の使用については、[はい]を選んでください。

3 チューナーの設定をする。

チューナーで本機が録画先になるようにネットワーク設定をします。

詳しくはチューナーの取扱説明書やご加入のCATV局からのお知らせをご確認ください。ソニー製チューナーは下記ホームページをご覧ください。

http://www.sony.jp/support/cs-tuner

4 ホームネットワークで本機を操作できる機器を確認/登録する(40ページ)。

録画したい

1 録画予約する。

チューナーと本機の電源を入れ、テレビの入力をチューナーに切り換えて、チューナー側で録画予約します。

チューナー側で録画予約すると、チューナーから本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。

録画が開始されると本機の録画リストに録画中の番組が表示されます。

「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)に対応する「スカパー！プレミアムサービス」チューナーについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.sony.jp/support/bd/

予約状況を確認するには

チューナーと本機の電源を入れ、本機側で予約状況を確認します(20ページ)。

予約を削除するには

チューナーと本機の電源を入れ、テレビの入力をチューナーに切り換えて、チューナー側で予約を削除します。

録画途中の番組を追いかけ再生するには

《録画リスト》ボタンを押します。

録画中のタイトル(●のアイコンが付いている)を選び、《決定》ボタンを押します。

ハードディスク内蔵チューナーに録画した番組を本機にコピーするには(LANムーブ)

操作方法については、チューナー側の取扱説明書をご覧ください。

チューナー側が「スカパー！プレミアムサービスLink」(ダビング)や、LAN経由のダビング/ムーブ機能に対応している必要があります。

番組の長さと同程度の時間がかかります。

対応チューナーについては、下記ホームページでご確認ください。

http://www.sony.jp/support/bd/

ご注意

- 録画モードはDRモードとなり、チューナーからの入力をそのまま記録します。画質はチューナー側の入力によります。
- [自動チャプターマーク](91ページ)を[入]にしても、約6分間ごとのチャプターに区切られます。
- おでかけ転送のワンタッチ転送/自動転送はできません。タイトルごとに転送してください(69ページ)。

- 12時間を超えるタイトルのLAN録画やLANムーブはできません。時間指定予約などで12時間以下になるように分けてください。
- LAN録画／LANムーブしているときは、チューナーの電源を切らないでください。録画が中断されます（本機のみ電源を切っていても、録画は行います）。
- 視聴年齢制限のある番組は、必ずチューナーの番組表から録画予約してください。日時指定で録画予約した場合、録画中に視聴年齢制限の設定が異なる番組に切り換わると、録画が中断されることがあります。
- LAN録画／LANムーブは、番組の最初と最後が記録されないことがあります。

以下のことはできません

- LAN録画／LANムーブしているときに、BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクなどを再生すること。
- ラジオ番組を録画すること。

番組を別の部屋で見たい（ルームリンク／家じゅうどこでも視聴）

ネットワークを経由して、次の本機コンテンツをテレビやパソコン、スマートフォン、タブレットPCで再生できます。
- 録画タイトル
- 写真
- 放送中のテレビ番組（対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510）。

ソニールームリンク／家じゅうどこでも視聴に対応した機器やアプリが必要です。
動作推奨機器、Android™搭載機器、iPhoneやiPadのアプリ、ネットワーク接続方法、よくあるご質問など、詳しい情報は下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

デジタル放送の番組を見るときのご注意

- 著作権保護されたデジタル放送の番組を見るには、DTCP-IP*1規格に対応した、再生機器／アプリが必要です。
- DRモードの録画（MPEG2形式）は、多くの機器／アプリで再生できます。他機器からLAN経由で見たい番組は、DRモードの録画をおすすめします。DRモード以外（MPEG4 AVC形式）は機器／アプリが対応しているか確認してください。
  また、DRモードで録画されていても、LAN録画／LANムーブした番組はMPEG2以外の形式になっていることがあります。
- Windows®標準のWindows Media Playerは、DTCP-IP非対応のためデジタル放送の番組は再生できません。

ちょっと一言

- ネットワーク機器やアプリがWake on LAN*2機能に対応している場合、本機が電源「切」状態でWake on LAN信号を受けると内部的に電源が入り、配信可能状態になります。

*1 DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）とは、著作権保護を目的とした規格です。

*2 Wake on LAN（WOL、ウェイク オン ラン）は電源が入っていない状態で、ネットワークからの信号を受け取ると自動的に起動する機能のことです。お使いの機器やアプリがWake on LANの送信に対応しているかは、機器の取扱説明書などをご確認ください。

準備：ネットワーク接続／設定

1 ネットワークにつなぐ（37ページ）。

2 かんたんネットワーク設定をする（39ページ）。
ホームサーバー機能の使用については、［はい］を選んでください。

3 テレビやパソコンなどの設定をする(お使いの機器の取扱説明書をご覧ください)。

4 ホームネットワークで本機を操作できる機器を確認／登録する(40ページ)。

再生したい／番組を見たい

操作は、他機器から行います。
他機器での操作方法については他機器の取扱説明書をご覧ください。

他機器で操作できるコンテンツか確認するには

[宅] が表示されているタイトルは他機器で再生できます。《オプション》ボタンを押して[情報表示](135ページ)を選びます。

高速でダビング／ムーブバックしたタイトルを他機器で再生するには

BDまたはDVD(AVCHD方式)から本機に高速でダビングしたタイトルは、他機器から再生操作できないことがあります。おでかけ転送ファイルに変換できるか試すことで、他機器で操作できるか確認できます。次の操作を行ってください。なお、確認には番組の長さと同程度の時間がかかります。

1 タイトルを選び、オプションから[おでかけ転送]を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。
タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。
[おでかけ転送]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 変換する。

[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 他機器で再生したいタイトルを選んで、[実行]する。

タイトル情報に [宅] が表示されれば、他機器からも操作できます。

ご注意

- 編集したタイトルを他機器で再生すると、映像が乱れたり、再生できなかったりすることがあります。
- 機器によっては、タイトルの名前が正しく表示されないことがあります。
- お使いのホームネットワーク環境によっては、再生中に映像や音声が途切れることがあります。
- 無線LAN使用時に映像や音声が途切れる場合、本機、アクセスポイント(無線LANルーター)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるか確認してください。それでも改善できないときは、本機を有線LANで接続し、試してみてください。
- 本機から出力される動画／写真を他機器で再生するときと、本機で再生するときでは、見えかたが若干異なることがあります。
- 機器によっては、本機に録画した視聴年齢制限付きのタイトルは、再生できないことがあります。
- 放送中の番組を見るときは、実際の放送より少し遅れます。
- 二か国語放送で、二重音声の場合、ホームメニュー＞[設定]＞[ビデオ設定]＞[二重音声記録]で選んだ音声になります。
  また、[音声1]／[音声2]がある場合は、[音声1]になります。
- 字幕放送の場合、字幕は切り換えられません。
- 家じゅうどこでも視聴と外出先視聴を合わせて、同時にクライアント機器1台までできます。

以下のことはできません

- 次の動画や写真を他機器で再生すること。
  - プレイリスト。
  - 録画モードなどの異なるタイトルを結合したタイトル。
  - インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。
  - 他機器で撮影した3D映像や1080/60p映像。
  - BD(BD-R、BD-RE)より移動(ムーブバック)したタイトル。
  - DVD(AVCHD方式)から本機ハードディスクに取り込んだタイトル。
- 次のような場合に、本機の動画や写真を他機器で再生すること。
  - 本機の設定を変更しているとき。
  - BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクを再生中。
  - タイトルの編集中。
  - タイトルダビング中またはまるごとDVDコピー中。
  - x-ScrapBook作成中やx-ScrapBook書き出し中。
  - x-Pict Story HD作成中。
  - おでかけ／おかえり転送中。
  - 写真の取り込み中。
  - インターネットサービスのビデオタイトルを視聴中。
  - LAN録画／LANムーブ中。
- 次のような場合に放送中の番組を見ること。
  - 3番組／2番組録画中、または電源「入」で1番組録画中(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)。
  - 2番組録画中、または電源「入」で1番組録画中(対象機種:BDZ-EW1100 / EW510)。
- 次のような場合にスマートフォンやタブレットPCで録画した番組を見ること。
  - 3番組／2番組録画中、または [SR] などのアイコンがついた番組を録画中(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)。
  - 2番組録画中(対象機種:BDZ-EW1100 / EW510)。
  - 録画中(対象機種:BDZ-E510)。

ブラビアの番組表から録画予約したい(ネットワーク録画予約)

ネットワーク録画予約対応の<ブラビア>をお使いの場合、<ブラビア>の番組表から本機に録画予約できます。

準備:ネットワーク接続／設定

1 ネットワークにつなぐ(37ページ)。

2 かんたんネットワーク設定をする(39ページ)。
ホームサーバー機能の使用については、[はい]を選んでください。

3 ホームネットワークで本機を操作できる機器を確認／登録する(40ページ)。

録画したい

1 <ブラビア>の番組表で録画予約する。
本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。
ネットワーク録画予約に対応する<ブラビア>について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

ちょっと一言

- 「ブラビアリンク」に対応した一部の<ブラビア>では、「ネットワーク録画予約」に対応していなくても、<ブラビア>の番組表から録画予約できます。
  詳しくは、「ブラビアリンクを設定したい」(99ページ)をご覧ください。
  <ブラビア>の設定については<ブラビア>の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- <ブラビア>の番組表からの録画予約は、番組放送日時が変更になっても、変更に追従せず指定された日時で録画します。必要に応じて、本機の番組表からの録画予約をしてください。

コーナー情報ですぐに見たい(もくじでジャンプ)

番組の再生中や録画番組一覧で、地上デジタル放送番組の各コーナーを目次表示できます。見たいコーナーを選んで再生したり、各コーナーの概要、番組内で紹介されたお店や商品、CMの情報を見たりすることもできます。コーナーに関する情報はインターネット経由で取得します。
早ければ録画開始の1～2時間後から利用できます。

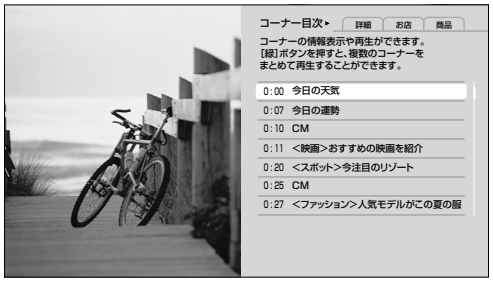
準備:ネットワーク接続／設定

1 ネットワークにつなぐ(37ページ)。

2 かんたんネットワーク設定をする(39ページ)。

コーナー目次から再生したい

1 コーナー目次を表示する。
再生中に、《もくじでジャンプ》ボタンを押します。
確認画面が表示された場合は、画面に従ってください。



2 コーナーを選び、再生したり情報を見たりする。
見たいコーナーを選び、《決定》ボタンを押して再生します。
↔でコーナー詳細情報や、紹介されたお店、商品などの情報を確認できます。

ちょっと一言

- 録画リストでタイトルを選び、《もくじでジャンプ》ボタンを押すと、コーナー目次などの情報を画面全体に表示します。
- 画面下に《緑》ボタン[気になる検索]が表示されたら、コーナー情報のキーワードから番組やタイトル、コーナーを検索できます。

見たいコーナーを複数選んで再生したい(コーナー選択)

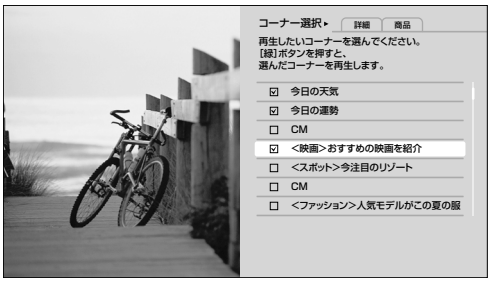
1 コーナー目次を表示する。

再生中に、《もくじでジャンプ》ボタンを押します。確認画面が表示された場合は、画面に従ってください。

2 コーナーを選び、再生する。

《緑》ボタンを押し、コーナー選択画面を表示します。

見たいコーナーを《決定》ボタンで選び、最後に《緑》ボタンを押すと、選んだコーナーだけを再生します。



ちょっと一言

- 録画リストでタイトルを選び、《もくじでジャンプ》ボタンを押すと、コーナー目次などの情報を画面全体に表示します。
- コーナーを再生中に《前》/《次》ボタンを押すと、前または次のコーナーの先頭に進みます。
- コーナーを再生中に《緑》ボタンを押すと、通常の再生画面に戻ります。
- 再生を停止した後、録画リストからタイトルを選び、《オプション》ボタンを押して[コーナー再生]を選ぶと、選んだコーナーだけを再生できます。
- コーナー再生中は、コーナー目次を表示して選択していないコーナーの再生はできません。

タイトルやコーナーを検索したい(ジャンル/キーワード検索)

「録画した番組を検索して再生したい」(31ページ)をご覧ください。

コーナー情報の提供について

- 株式会社エム·データのスタッフが番組を視聴·作成してコーナー情報が提供されます。ソニーでは内容に対し、一切の責任を負いません。
- 情報提供される放送局、提供開始時間など最新情報について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/
- コーナー情報は、下記地区/放送局の番組に提供されます。
  – 関東地区:NHK総合1·東京、NHK Eテレ1東京、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京
  – 東海地区(静岡県を除く):NHK総合1·名古屋、NHK Eテレ1名古屋、東海テレビ、CBC、メ〜テレ、中京テレビ、テレビ愛知
  – 関西地区:NHK総合1·大阪、NHK Eテレ1大阪、MBS毎日放送、ABCテレビ、関西テレビ、読売テレビ、テレビ大阪

  また、関東地区と同一内容で放映される「全国ネットの番組」にも提供されます。
- 番組終了後、コーナー情報やお店/商品情報がひと通り提供される時間の目安はそれぞれ、「関東地区」が2〜5時間、「東海地区(静岡県を除く)」/「関西地区」が2〜7時間、「全国ネットの番組」が3〜6時間です。
- CM情報は「関東地区」のみ、放送の翌々日から順次提供されます。

ご注意

- 地域ごとに番組内容が異なった場合など、実際の放送と異なる情報が提供されることがあります。
- コーナーの情報が、本機で表示できる文字数を超えて提供された場合、表示が途中で途切れることがあります。

コーナー情報の取得について

- 取得/利用に際しては、利用開始時に同意が必要です。
- 取得には、自動(初期設定)と手動があります。ホームメニュー>[設定]>[通信設定]>[コーナー情報取得設定]で変更できます(97ページ)。
- 自動の場合は、録画後に本機が定期的にコーナー情報を取得します。コーナー検索を行うときは自動にしておくことをおすすめします。《もくじでジャンプ》ボタンを押して取得できることもあります。
- サーバー側から更新の終了が通知された番組については、コーナー情報の取得/更新は行いません。
- 最後に取得してから1時間は、再取得せず取得済みの情報を表示します。

以下のことはできません

- 下記タイトルのコーナー情報を取得すること。
  – ムーブバック/ダビング/BDに録画したタイトル。
  – 編集したタイトル(チャプター編集、部分削除、タイトル分割、タイトル結合)。編集前に取得したコーナー情報は表示できます。
  – 録画直後などで、コーナー情報の提供がまだ開始されていないタイトル。
  – 保存期間が過ぎ、コーナー情報の提供が終了したタイトル。
  – コーナー情報が提供されていないタイトル。
- ルームリンクから、コーナー目次を利用すること。
- ダビング/おでかけ転送でコーナー情報を持ち出すこと。

接続先とその目的について

コーナー情報提供に伴う通信のため、下記へ接続します。

- 接続先:データベースサーバー
- 情報提供元:株式会社エム·データ

インターネットで映画やドラマを見たい（アクトビラ／TSUTAYA TV／T's TV）

アクトビラ／TSUTAYA TV／T's TVで、映画やドラマなどを見たいときにビデオオンデマンドで楽しめます。
ストリーミングやダウンロードして視聴できます。

準備：ネットワーク接続／設定

1 ネットワークにつなぐ（37ページ）。

2 かんたんネットワーク設定をする（39ページ）。

ちょっと一言

- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款により、ご利用いただけないことがあります。
- サービスの内容や画面は、予告なく変更することがあります。
- 3Dコンテンツは、本機でご利用いただけません。

ビデオオンデマンドを楽しみたい

1 インターネットサービスを起動し、映像を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[ネットワーク]＞[インターネットサービス]を選び、《決定》ボタンを押します。

ダウンロードできるタイトルについては、各インターネットサービスによって異なります。

ちょっと一言

- [インターネットサービス利用制限]で暗証番号による制限を設定できます（95ページ）。

2 購入手続きをする。

画面に従って手続きをしてください。

ダウンロードの場合

購入手続きが完了すると、ダウンロードが開始されます。ダウンロードしたタイトルは本機のハードディスクから再生します。

ストリーミングの場合

購入手続きを行い、インターネットサービスから視聴します。

ちょっと一言

- ダウンロード中に、本機の電源を切ってもダウンロードは継続されます。
- ホームサーバー機能の利用中やBD-LIVEの再生中などは、ダウンロードを一時停止することがあります。

ご注意

- ダウンロード登録数が50件を超えている場合、新規の登録（購入）ができなくなります。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルには、視聴期限や有効期限が指定されていることがあります。有効期限を確認するには、録画リストで《オプション》ボタンを押して[情報表示]を選び、タイトル情報画面を表示してください。また、再生中に有効期限が切れた場合は、再生を停止します。

以下のことはできません

- 本機のハードディスクの残量が足りない場合やタイトルがいっぱいの場合にダウンロードすること。

ダウンロード中の本体表示について

ランプの状態については「各部のなまえ」（115ページ）をご覧ください。

ダウンロードした映像について

録画したタイトルと同様に再生できます（28ページ）。
タイトルによっては、BDにダビング（58ページ）したり、おでかけ転送（68ページ）したりできます。

ダウンロード進捗などを確認するには

《ホーム》ボタンを押します。
[ネットワーク]＞[ダウンロード管理]＞確認したいタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

外から予約したい(スマートフォンなど)

外出先からパソコンやスマートフォンなどのリモート機器を使い、インターネット経由で本機に録画予約したり、本機に録画した番組を整理したりできます(リモート録画予約)。

準備1:ネットワーク接続／設定

1 ネットワークにつなぐ(37ページ)。

2 かんたんネットワーク設定をする(39ページ)。

準備2:本機にリモート機器を登録する

1 リモート機器の登録パスワード16桁を取得する。

So-netが提供する「Gガイド.テレビ王国」で、16桁の登録パスワードを取得します。

詳しくは、下記ホームページで確認してください。

http://www.sony.jp/support/bd/

2 リモート機器の登録パスワードを本機に登録する。

《ホーム》ボタンを押します。

ホームメニューの左端にある[設定]＞[通信設定]＞[リモート機器設定]＞[リモート機器登録](96ページ)を選び、《決定》ボタンを押します。

リモート機器側で取得した登録パスワードを本機に登録します。

[登録リモート機器一覧]で登録できたか確認します。

録画予約や録画した番組を整理したい

リモート機器から操作します。

機能や操作方法、登録方法などについて詳しくは、「準備2:本機にリモート機器を登録する」(47ページ)に記載されているホームページをご覧ください。

リモート録画予約に関する免責事項

- ソニーは、理由の如何を問わず、以下について、一切の責任を負わないものとします。
  - リモート録画予約サービス事業者によるサービス内容が予告なく変更･中止されること。
  - 発生したリモート録画予約サービスの提供の遅延または中断等によりユーザーまたはその他の第三者に生じた損害。
  - リモート録画予約サービス事業者が使用している通信回線の障害、切断、停止等を原因とするリモート録画予約サービスの全部または一部の機能不能。
  - ユーザーの利用する通信回線の種別や回線交換機固有の事情を原因とするリモート録画予約サービスの全部または一部の機能不能。
- 本機の修理･交換等によりリモート録画予約サービスの再登録が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- リモート録画予約をしても、本機の状態や、ネットワーク回線が混雑しているときなどは、録画予約の情報が本機に届くまで時間がかかることがあります。

以下のことはできません

- リモート機器を6台以上本機に登録すること。
- 次の場合にリモート録画予約すること。
  - ディスクの容量が不足している場合。
  - 重複する予約を後から、本機や他の機器から行った場合。
  - 録画予約に影響する操作を本機で行った場合。
  - B-CASカードが挿入されてない場合(地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の場合)。

接続先およびその目的について

本機能では下記のサーバーへ接続しています。

- 接続先:
  リモートからの録画予約機能などを提供するサーバー
- 運営元:ソネット株式会社
- 目的:リモート機器の登録や録画予約などのため

外出先で番組を見たい（外出先視聴）

外出先からインターネットを経由して、以下のタイトル／番組をスマートフォンやタブレットなどのモバイル機器で視聴できます。
- 録画タイトル
- 放送中の番組（対象機種：BDZ- ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510）

対応機器やアプリ、ネットワーク接続方法、よくあるご質問など、詳しい情報は下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

準備1：ネットワーク接続／設定

1 ネットワークにつなぐ（37ページ）。

2 かんたんネットワーク設定をする（39ページ）。
ホームサーバー機能の使用については、［はい］を選んでください。

準備2：モバイル機器の登録

外出先視聴を行うモバイル機器にアプリをインストールします。
アプリを操作して、本機のクライアント機器として登録します。

アプリやモバイル機器での操作について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

ちょっと一言
- 登録できるクライアント機器の台数には制限があります。
  モバイル機器が、本機のクライアント機器として登録されているか確認するには、「クライアント機器について」（97ページ）をご覧ください。

再生したい／番組を見たい

モバイル機器を外出先でインターネット接続し、アプリから操作して視聴してください。

ご注意
- 外出先視聴と家じゅうどこでも視聴を合わせて、同時に視聴できるクライアント機器は1台です。複数のクライアント機器から同時に視聴はできません。
- 放送中の番組を視聴できる放送局について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
- 外出先視聴アプリは定期的に登録期限の更新が必要です。期限の90日に近づくとアプリに警告が表示されます。ホームネットワーク上でモバイル機器側から、録画番組の視聴などを行ってください。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/
- 外出先視聴するには、本機にアンテナケーブルを正しく接続しデジタル放送から時刻を受信する必要があります。

BDの特典映像を楽しみたい

BD-LIVEロゴ*が記載されたBD-ROMには、スペシャルコンテンツ（BONUSVIEW）や、インターネット経由で外部メモリー（ローカルストレージ“local storage”）にダウンロードして楽しむコンテンツ（BD-LIVE）などが用意されているものがあります。

* BD LIVE™

準備：ネットワーク接続／設定

1 ネットワークにつなぐ（37ページ）。

2 かんたんネットワーク設定をする（39ページ）。

映像を見たい

1 BDのインターネット接続を許可する。
《ホーム》ボタンを押します。
ホームメニューの左端にある［設定］＞［BD/DVD視聴設定］＞［BDインターネット接続］＞［許可する］（92ページ）を選び、《決定》ボタンを押します。

2 BONUSVIEW（ボーナスビュー）やBD-LIVE（BDライブ）対応のディスクを入れる。
操作方法はディスクによって異なります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言
- BD-ROM再生時に本機のローカルストレージが不足していることを知らせるメッセージが表示されたときは、ホームメニュー＞［ビデオ］＞［BDデータ］からデータを削除してください。

見終わった番組や映像を削除したい（タイトル削除）

ご注意

- 一度削除したタイトルは元に戻せませんのでご注意ください。

ハードディスクの映像を削除したい

本機／外付けのハードディスクに記録した映像を削除できます。
写真やアルバムは、本機のハードディスクに記録した場合のみ削除できます。

ひとつだけ削除するときは

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]／[フォト]＞削除したいタイトルを選び、リモコンの《削除》ボタン（スライド内）を押します。
[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

複数削除するときは

1 削除方法を選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]／[フォト]＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。
[削除]＞[選択削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- [すべて削除]を選ぶと、すべてのタイトルが削除対象となります。手順3へ進んでください。

2 削除したいタイトルを選ぶ。
タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

3 削除する。
[確定]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

フォルダごと削除するときは

1 フォルダ表示にする（32ページ）。

2 フォルダごと削除する。
削除したいフォルダを選び、《削除》ボタンを押します。
[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 視聴年齢制限で録画リストに表示されないタイトルは、視聴年齢制限を解除してから削除してください。表示されている他のタイトルを選び、《オプション》ボタンを押して[視聴制限一時解除]（135ページ）を選びます。

BDの映像を削除したい

番組／映像の場合

削除できます。「ハードディスクの映像を削除したい」（49ページ）をご覧ください。

ご注意

- BD-Rはタイトルを削除しても空き容量は増えません。
- BDからフォルダごと削除することはできません。

写真／アルバムの場合

削除できません。
BD-REを初期化すると、ディスクの内容をすべて削除できます（67ページ）。

DVDの映像を削除したい

映像（タイトル）を選んで削除できません。
DVD-RWを初期化すると、ディスクのタイトルをすべて削除できます。DVDの初期化はダビングの手順の中で行います（59ページ）。

プレイリストを作成したオリジナルタイトルを削除したい

オリジナルタイトルのみを削除することはできません。先にプレイリスト(53ページ)を削除してからオリジナルタイトルを削除してください。

削除できないように保護をかけたい(プロテクト)

本機／外付けのハードディスクやBD-R/BD-REの映像(タイトル)を削除やムーブできないように、プロテクト(保護)設定できます。

1 タイトルを選び、プロテクトする。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[プロテクト]を選び、《決定》ボタンを押します。

解除するには、[プロテクト解除]を選びます。

NEW マークを付けたい

本機／外付けのハードディスクの再生済みのタイトルに、再度 NEW マークをつけられます。まだ見終わっていないタイトルを探しやすくしたり、誤って消去したりしないようにするなど、NEW マークを目印代わりに使えます。

1 タイトルを選び、NEW マークを付ける。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[設定／編集]＞[NEW設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

映像が編集できるか確認したい

映像の種類と記録先

映像の種類	本機／外付けのハードディスク	BD	DVD
デジタル放送の映像	○	○	×
インターネットサービスからダウンロードした映像	×	×	×
他機器から取り込んだ映像	○	○	×

編集でできること

編集方法(ページ)	本機／外付けのハードディスク	BD
チャプターを分割／削除／結合(51)	○	○
映像の一部分をカット(部分削除)(52)	○	○
映像のプレイリストを作成(53)	○	○
ひとつの映像を分割(タイトル分割)(54)	○	○
複数の映像をひとつに(タイトル結合)(54)	○	○
録画した映像にグループを設定(55)	○	×
映像につけたタイトル名を変更(55)	○	○
サムネイル画像を変更(55)	○	○

ご注意

- 「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクは編集できません。
- DVDの映像(タイトル)は編集できません。
- 編集中にディスクを取り出したり、録画予約で設定した録画が始まったりすると、編集内容が取り消されることがあります。
- 視聴年齢制限で録画リストに表示されないタイトルは、視聴年齢制限を解除してから編集してください。表示されている他のタイトルを選び、《オプション》ボタンを押して[視聴制限一時解除](135ページ)を選びます。
- SR などのアイコンがついたタイトルは、編集(チャプター削除、部分削除、タイトル分割、タイトル結合)を行うと変換対象ではなくなります。ただし、チャプター書き込み／消去、サムネイル変更、名前変更、グループ設定を行った後では変換されます。(対象機種: BDZ-ET2100 / ET1100)

チャプターを分割／削除／結合したい

映像にチャプターマークを付けたい

《チャプター書込み》ボタンで、好みの場面にチャプターマーク(33ページ)を付けることができます。

チャプターを分割／削除／結合したい(チャプター編集)

映像(タイトル)のチャプターを好みに合わせて編集できます。また、不要な場面をまとめて削除することもできます。チャプターを削除すると、元に戻せないのでご注意ください。プレイリスト(53ページ)を利用すると便利です。

1 タイトルを選び、編集画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[設定／編集]＞[チャプター編集]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 チャプターを選び、編集する。

操作ボタンエリア　チャプターエリア

分割するときは

1 チャプターエリアで分割したいチャプターを◆▶で選ぶ。

►《再生》ボタンを押して、再生する。

分割したい場面で❚❚《一次停止》ボタンを押す。

2 ▼で操作ボタンエリアに移動して[分割]を選び、《決定》ボタンを押す。

前のチャプターと結合するときは

1 チャプターエリアで結合したいチャプターを◆▶で選ぶ。

2 ▼で操作ボタンエリアに移動して[前と結合]を選び、《決定》ボタンを押す。

削除するときは

1 チャプターエリアで削除したいチャプターを◆◆で選び、《決定》ボタンを押す。
複数のチャプターを一度に削除するときは、削除するチャプターをすべて選んでおきます。

2 ◆で操作ボタンエリアに移動して[削除実行]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 終了する。

[終了]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- チャプターの時間が短いと、削除できないことがあります。
- チャプターを削除した場所の映像や音声が途切れることがあります。

映像の一部分をカットしたい(部分削除)

オリジナルタイトルの場面を削除すると元に戻せないのでご注意ください。プレイリスト(53ページ)を利用すると便利です。

1 タイトルを選び、削除画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。
タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。
[設定／編集]＞[部分削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 削除する部分を選ぶ。

削除を開始する場面が表示されたら、[開始点設定]を選び、《決定》ボタンを押します。
削除を終了する場面が表示されたら、[終了点設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

開始点設定　終了点設定　操作ボタンエリア

3 確定する。

操作ボタンエリアで[確定]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。
続けて他の場面を削除するときは、手順2、3をくり返します。

4 画面を終了する。

操作ボタンエリアで[終了]を選び、《決定》ボタンを押します。

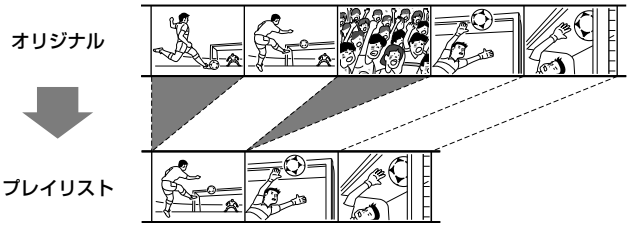
ご注意

- [部分削除]で場面を削除した場所にはチャプターマークが入り、前後の場面はそれぞれ別のチャプターになります。
- 削除設定した場面が少しずれて削除されることがあります。
- 削除した場所の映像や音声が途切れることがあります。

映像のプレイリストを作成したい

プレイリストを作成したい

プレイリストを使うと、映像(タイトル)から、お好みの場面をお好みの順序で再生できるようになります。



実際に録画した「オリジナルのタイトル」を元に作成した仮想タイトルです。オリジナルの内容に手を加えないため、プレイリストをどのように編集し直しても、オリジナルに影響はありません。

1 タイトルを選び、プレイリスト作成画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[設定／編集]＞[プレイリスト作成]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 プレイリストを作成したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

3 プレイリストに入れるシーンを選ぶ。

プレイリストに入れるシーンの開始場面が表示されたら、[開始点設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

プレイリストに入れるシーンの終了場面が表示されたら、[終了点設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

開始点設定　終了点設定　操作ボタンエリア

4 確定する。

操作ボタンエリアで[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

続けて同じタイトルからシーンを追加する場合は、手順3、4をくり返します。

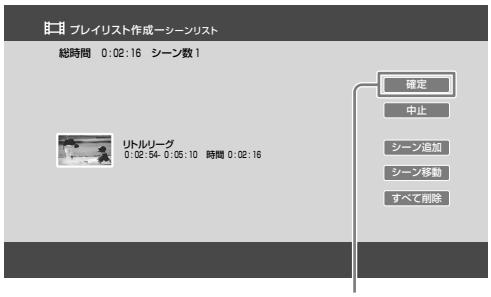
5 シーン選びを終了する。

操作ボタンエリアで[終了]を選び、《決定》ボタンを押します。

6 選んだシーンを確認する。

[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

シーンリストで選ばれたシーンでプレイリストを作成します。



確定

[確定]を選ぶ前に[シーン追加]を選ぶと、タイトル選択画面に戻り、他のタイトルを選んでシーンを切り出せます。

7 プレイリスト名を入力する。

文字入力画面(119ページ)でプレイリスト名を入力します。

ご注意

- プレイリストを作成すると、編集した場面を再生するとき、映像が一時停止することがあります。
- プレイリストを作成できるのは、同じ保存先にあるタイトル同士のみです。

以下のことはできません

- 次の組み合わせでプレイリストを作成すること。
  - 録画した3D映像を含むタイトルと2Dのタイトル。
  - 他機器で撮影した3D映像と、それ以外の3Dタイトル。
  - 他機器で撮影した3D映像同士で、解像度やフレームレートが異なる場合。
  - 他機器で撮影した1080/60p映像と、それ以外のタイトル。

プレイリストを作成したオリジナルタイトルを編集したい

プレイリストを作成したオリジナルタイトルは編集できません。プレイリストを削除すると、オリジナルタイトルを編集できるようになります。

ひとつの映像を分割したい(タイトル分割)

高画質で長時間の容量が大きい映像(タイトル)を、画質を落とさずにディスクへダビングしたいときに便利です。

1 タイトルを選び、分割画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[設定／編集]＞[タイトル分割]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 タイトルを分割する。

分割する場面が表示されたら[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

確定

画面の指示に従って操作してください。

分割した後にタイトル名を変更するには、[はい]を選び、文字入力画面(119ページ)で入力します。

複数の映像をひとつにしたい(タイトル結合)

次の映像(タイトル)を結合できます。

- プレイリストタイトル同士。
- オリジナルタイトル同士。

1 タイトルを選び、結合画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[設定／編集]＞[タイトル結合]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 結合するタイトルを選ぶ。

タイトルは複数選べます。

タイトル　　操作ボタンエリア

3 確定する。

操作ボタンエリアで[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 結合する。

タイトル名を選び、《決定》ボタンを押します。

[名前入力]を選ぶと新しくタイトル名を入力できます(119ページ)。

ご注意

- 結合するタイトル中のチャプター数の合計が上限を超えるときは、後方のチャプターが結合されて1つのチャプターになります。
- コピー制限のないタイトルを、ダビング10に対応したタイトルと結合すると、ダビング10対応タイトルに付いていた回数制限が付きます。
- 結合できるのは、同じ保存先にあるタイトル同士のみです。
- タイトルを結合した場所の映像や音声が途切れることがあります。

以下のことはできません

- 次の組み合わせでタイトルを結合すること。
  - 録画した3D映像を含むタイトルと2Dのタイトル。
  - 他機器で撮影した3D映像と、それ以外の3Dタイトル。
  - 他機器で撮影した3D映像同士で、解像度やフレームレートが異なる場合。
  - 他機器で撮影した1080/60p映像と、それ以外のタイトル。

録画した映像にグループを設定したい

本機／外付けのハードディスクの映像(タイトル)にグループを設定すると、同じグループのフォルダに分類できます。お好みのグループ名に変更することもできます。

ハードディスクに録画した映像にグループを設定したい

☞次のページも参考にしてください。
• フォルダ表示にする(32ページ)。

1 タイトルを選び、グループを設定する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[設定／編集]＞[グループ設定]を選び、《決定》ボタンを押します。グループ一覧からグループを選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

• 「番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい(詳細設定)」(17ページ)で、録画予約時にも設定できます。

グループの名前を変更したい

本機／外付けのハードディスクの映像(タイトル)のグループ名を変更できます。

1 フォルダ表示にする(32ページ)。

2 グループを選び、名前入力画面を表示する。

[グループ]＞フォルダを選び、《オプション》ボタンを押します。

[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 グループ名を入力する。

文字入力画面(119ページ)でグループ名を入力します。

ちょっと一言

• [グループ名設定](91ページ)でも、グループ名を変更できます。

BD/DVDの映像にグループを設定したり、名前を変更したりしたい

グループを設定できるのはハードディスクの映像(タイトル)だけです。

タイトル名を変更したい

本機／外付けのハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像(タイトル)のタイトル名を変更できます。

1 タイトルを選び、名前を変更する。

《録画リスト》ボタンを押します。

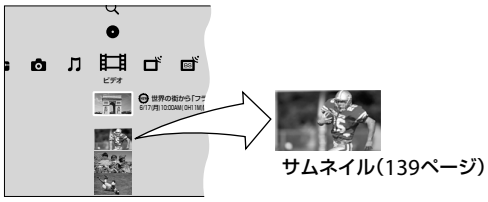
タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[設定／編集]＞[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押します。

新しくタイトル名を入力できます(119ページ)。

サムネイル画像を変更したい

本機／外付けのハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像(タイトル)のサムネイルを変更できます。



1 タイトルを選び、設定画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[設定／編集]＞[サムネイル設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 サムネイルを変更する。

サムネイルにしたい場面が表示されたら[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

コピーできるディスク／映像の種類

BD

デジタル放送の番組やインターネットからダウンロードした映像をハイビジョン画質でダビングしたいときや、長時間の映像をダビングしたいときに最適なディスクです。

	BD-RE	BD-R
くり返し利用*	○	×
高速ダビング	○	○
録画した番組のダビング	○	○
インターネットからダウンロードした映像のダビング	○	○
他機器から取り込んだ映像のダビング	○	○

* BD-R/BD-REは追記できます。BD-Rはクローズすると追記できません。

- 他機器での再生互換
  BDは、DVDとは異なる規格のため、ファイナライズは不要です(66ページ)。

外部入力につないだ他機器の映像をディスクにコピーするには

本機のハードディスクにダビングしてから(72ページ)、ディスクにダビングしてください(58ページ)。

3D映像をディスクにコピーするには

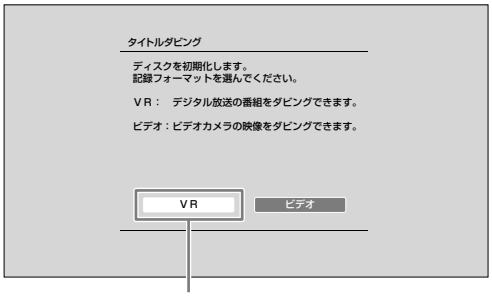
BD-REやBD-Rに高速ダビングしてください(58ページ)。
高速以外のダビングモードでダビングした場合、再生時に自動で3D表示に切り換わらなくなります。

DVD

標準画質でダビングします。ダビングには、ダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかります。

	DVD-RW (12cm)	DVD-R (12cm)
くり返し利用	○	×
高速ダビング	×	×
録画した番組のダビング	○ (CPRM対応ビデオ用／録画用)	○ (CPRM対応ビデオ用／録画用)
インターネットからダウンロードした映像のダビング	×	×
他機器から取り込んだ映像のダビング	○	○

- 録画した番組をダビングできる記録フォーマット



ダビング時に[VR]を選んでください(59ページ)。

- 他機器での再生互換(DVD-RW/DVD-R)
  他機器で再生するためにはファイナライズが必要です。
  DVD-RWはダビング終了後、自動的にファイナライズされます。
  DVD-Rへのダビング時に[ファイナライズする]を選ばなかったときは、《オプション》ボタンを押して[ファイナライズ]をしてください(66ページ)。
  ダビングしたDVDはCPRMとVRに対応した機器でのみ再生できます(122ページ)。

CPRM対応
VRモード対応

コピー／ダビングの前に知っておきたいこと

コピーできないディスク

- 8cmのDVD
- DVD-R DL（2層）
- DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL（2層）
- DVD-RAM

外部入力につないだ他機器の映像をディスクにコピーするには

本機のハードディスクにダビングしてから（72ページ）、ディスクにダビングしてください（59ページ）。

コピー中の操作制限

高速ダビング中

ホームメニューからテレビ番組を見たり、本機／外付けのハードディスクに録画した映像（タイトル）を再生したりできます。ただし、次の操作はできません。

– ブラビアリンクの「見て録」。
– BDへの録画（BDとのダビング／ムーブバック中）。
– 外付けハードディスクへの録画（外付けハードディスクとのダビング中）。
– BDやDVDの再生（本機のハードディスク⇔外付けハードディスクのダビング中以外）。
– ルームリンクから見ること。
– フォト切り出し／フォト取り込み。
– ダビング元とダビング先に記録されているタイトルの編集（サムネイル設定／チャプター編集／部分削除／タイトル分割／プレイリスト作成）。
– ダビング（タイトルダビング／思い出ディスクダビング／VHSダビング／AVCHDダビング／まるごとDVDコピー）。
– おでかけ転送／おかえり転送*1。
– ワイヤレスおでかけ転送*1。
– x-ScrapBook/x-Pict Story HD。
– インターネットサービスの利用。
– 録画モード変換（自動／手動）*2。

*1 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。
*2 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100。

DVDダビングや記録モードを変更してのダビング

高速ダビングと異なり、再生など他の操作はできません。また、予約があっても録画は行われません。

ダビング先の空き容量を確認したい

ディスクの空き容量を確認するには

ディスクを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[情報表示]を選び、《決定》ボタンを押します。

本機／外付けのハードディスクの空き容量を確認するには

詳しくは、「録画先の空き容量を確認したい」（20ページ）をご覧ください。

ディスクにコピーしたい（タイトルダビング）

BDにコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- BDを用意する。

BD-RE/BD-R

☞次のページも参考にしてください。
- ディスクの空き容量を確認したい(57ページ)。

本機／外付けのハードディスクにたまった映像（タイトル）をBDにダビングして保存できます。

1 ディスクを入れ、ダビング方法を選ぶ。

本機のハードディスクからダビングするには

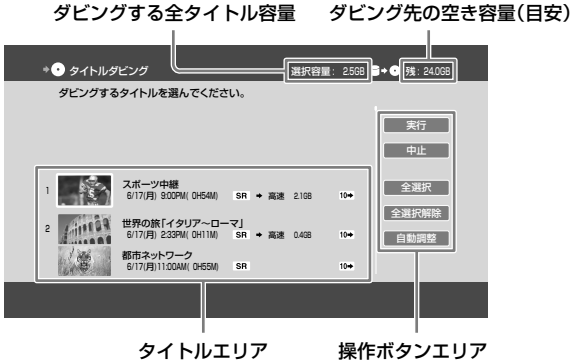
《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[ディスクダビング]＞[HDD→BD/DVDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けのハードディスクからダビングするには

《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[USB HDDダビング]＞[USB HDD→BD/DVDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。



ちょっと一言
- ダビングモードを変更できます(66ページ)。
- 1度のダビングで選べるタイトルは30個までです。31個以上のタイトルをダビングしたいときは、くり返し行ってください。

操作ボタンエリアで[全選択]を選んだときは

リストの上から順に30個まで選ばれます。

操作ボタンエリアで[自動調整]を選んだときは

ディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。ディスクの空き容量が不足しているときに選べます。

3 ダビングを開始する。

操作ボタンエリアで[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。
- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできることがあります。
- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- 本機のハードディスクに保存されているプレイリストは、ダビング時にオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- デジタル放送の 1➡ が付いたタイトルをダビングする場合は、タイトルを移動(ムーブ)してよいか確認する画面が表示されます。[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはディスクにムーブされ、本機のハードディスクからは削除されます。

ご注意
- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- 編集したタイトルを高速ダビングすると、削除した映像が残ることがあります。
- 高速ダビング中に他の操作を行うと、ダビング所要時間が通常より長くなるため、ダビング終了後に開始するBDへの録画予約が実行されないことがあります。
- ディスクに入りきらない容量のタイトルを選んだ場合は、ダビングを開始できません。ダビングモードを変えるとダビングできる場合は、自動調整の画面が表示され、再生時間とほぼ同じ時間がかかりますが開始します。
- 他機器で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字は録画リストで表示されません。
- ⏩SR などのアイコンがついたタイトルは、DRモードのままダビングされます(対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100)。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルは、高速ダビングのみできます。ダビングモードは変更できません。
- 視聴年齢制限で録画リストに表示されないタイトルは、視聴年齢制限を解除してからダビングしてください。表示されている他のタイトルを選び、《オプション》ボタンを押して[視聴制限一時解除](135ページ)を選びます。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルには、ダビング期限や有効期限が指定されているものがあります。ダビング期限などを確認するには、《オプション》ボタンを押して[情報表示]を選んでください。
- LAN録画／LANムーブしたタイトルはBDにダビングしても他機器で再生できないことがあります。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/

DVDにコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 録画した放送をダビングするときはCPRM対応のDVDを用意する。

CPRM対応

☞次のページも参考にしてください。
- コピーできるディスクの種類(56ページ)。
- ディスクの空き容量を確認したい(57ページ)。

本機／外付けのハードディスクにたまった映像(タイトル)をDVDにダビングして保存できます。

1 ディスクを入れ、ダビング方法を選ぶ。

本機のハードディスクからダビングするには

《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[ディスクダビング]＞[HDD→BD/DVDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けのハードディスクからダビングするには

《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[USB HDDダビング]＞[USB HDD→BD/DVDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

データを追記または初期化を選ぶ画面が表示されたときは

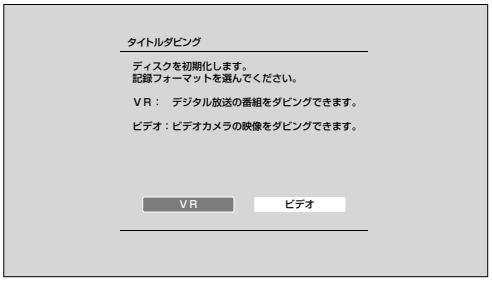
[追記]

DVDにタイトルを残し、タイトルを追加するときに選びます。

[初期化]

DVDからタイトルを削除し、新しく記録するときに選びます。すでにDVDに記録されているタイトル、写真、データなどはすべて削除されます。

記録フォーマットを選ぶ画面が表示されたときは



[VR]

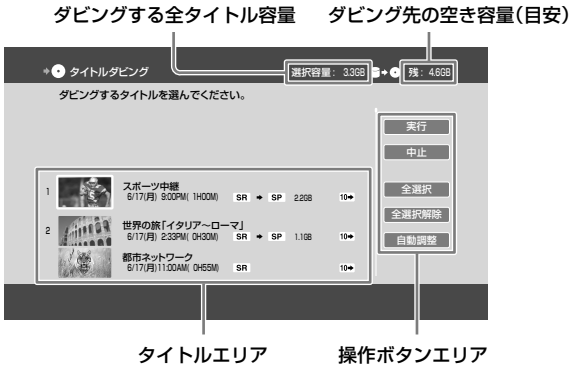
デジタル放送をダビングするときに選びます。

[ビデオ]

ビデオカメラ映像などのコピー制御信号を含まないタイトルを、より多くのDVD機器で再生できるようにダビングします。デジタル放送はダビングできません。

2 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。



ちょっと一言
- 画質に合わせて、本機が自動的にダビングモードを設定します。詳しくは、「本機のハードディスクからDVDへのダビングモードと記録可能時間」(125ページ)をご覧ください。
- ダビングモードを変更できます(66ページ)。
- 1度のダビングで選べるタイトルは30個までです。

操作ボタンエリアで[全選択]を選んだときは

リストの上から順に30個まで選ばれます。

操作ボタンエリアで[自動調整]を選んだときは

ディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。ディスクの空き容量が不足しているときに選べます。

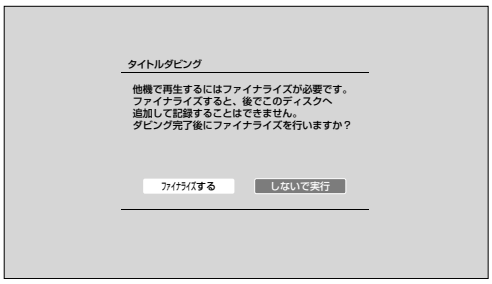
3 ダビングを開始する。

操作ボタンエリアで[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。

ご注意
- ディスクに入りきらない容量のタイトルを選んだ場合は、ダビングを開始できません。ダビングモードを変えるとダビングできる場合は、自動調整の画面が表示され、ダビングできます。

ファイナライズを選ぶ画面が表示されたときは



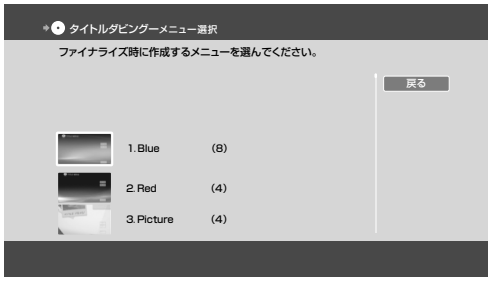
[ファイナライズする]

ダビング終了後、自動的にファイナライズします。タイトルの記録時間が短いと、ファイナライズにかかる時間が長くなることがあります。一度ファイナライズすると、DVD-Rには追記できなくなります。

[しないで実行]

ダビングが始まります。ダビング終了後、必要に応じてファイナライズしてください(66ページ)。

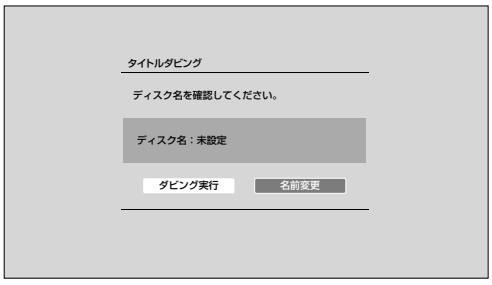
DVDメニューを選ぶ画面が表示されたときは



24種類のDVDメニューの中から選びます。

《黄》ボタンを押すと、背景画面が拡大表示されます。

名前変更を選ぶ画面が表示されたときは



[ダビング実行]

ダビングが始まります。ダビング終了後、自動的にファイナライズします。

[名前変更]

ディスクの名前を変更できます(119ページ)。

ちょっと一言

- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできることがあります。
- DVDにダビングしたタイトルは、チャプター編集などの編集はできません。あらかじめ本機のハードディスクで編集してから、ダビングしてください。
- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- 本機のハードディスクに保存されているプレイリストは、ダビング時にオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- デジタル放送の 1 が付いたタイトルをダビングする場合は、タイトルを移動(ムーブ)してよいか確認する画面が表示されます。[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはディスクにムーブされ、本機のハードディスクからは削除されます。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- 次の文字を使ったタイトルをDVDにダビングすると、ダビング時にこれらの文字は削除されます。
  「①」「②」「③」「④」「⑤」「⑥」「⑦」「⑧」「⑨」「⑩」
  「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」「Ⅴ」「Ⅵ」「Ⅶ」「Ⅷ」「Ⅸ」「Ⅹ」
  その他特殊文字は削除されることがあります。
- 記録フォーマットを[ビデオ]にした場合(59ページ)、LPモードでダビングすると、4:3のサイズでダビングされ、画面の上下に黒帯が付くことがあります。
- SR などのアイコンがついたタイトルは、DRモードから本機が自動的に設定したダビングモードでダビングされます(対象機種: BDZ-ET2100 / ET1100)。

以下のことはできません

- DVD-R/-RW(VR)でDVDメニューを作成すること。
- 全角32文字、半角64文字を超えた文字数を、DVDのディスク名として入力すること。
  他機器で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字は録画リストで表示されません。
- 5.1chの音声が含まれているデジタル放送のタイトルを、5.1chの音声のままDVDにダビングすること。
  DVDにダビングしたタイトルは2chの音声になります。

ディスクに保存した映像を本機にコピーしたい

BDからコピーしたい(ムーブバック)

BD-RE/BD-Rに保存したデジタル放送の映像(タイトル)を、本機／外付けのハードディスクに移動できます。
ムーブバックしたデジタル放送のタイトルは、BDから削除されます。

1 BDを入れ、ダビング方法を選ぶ。

本機のハードディスクにダビングするときは

《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[ディスクダビング]＞[BD/DVD→HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けハードディスクにダビングするときは

《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[USB HDDダビング]＞[BD/DVD→USB HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 が付いているタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言

- 1度のダビングで選べるタイトルは30個までです。

3 ムーブバックを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- BD-Rの場合、ムーブバックしても空き容量は増えません。
- ムーブバックしたタイトルは、1回だけ移動できるタイトル( )になります。
- ムーブバックはタイトルごとに行われます。途中で中止すると、ムーブバックが終了したタイトルは本機／外付けのハードディスクに移動し、途中で中止したタイトル以降はBDに残ります。
- 他機器から取り込んだタイトルやアナログ放送を記録したタイトルなどダビング禁止の表示がないタイトルは、本機能に関係なくダビングでき、BDにも残ります。
- 読み込み中に表示される時間は目安であり、ディスクの状態によってはムーブバックに時間がかかることがあります。

以下のことはできません

- 次の場合にムーブバックすること。
  - 本機／外付けのハードディスクにムーブバックするタイトル以上の空き容量がない場合。
  - BDクローズされたディスクなど、追記できない状態の場合。

DVDからコピーしたい

DVDに保存したデジタル放送の映像(タイトル)は、ムーブバックできません。
デジタル放送以外の映像は、「ディスクから取り込みたい」(73ページ)でコピーできます。

本機と外付けハードディスクの間でコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 外付けハードディスクを本機につなぐ(84ページ)。

☞次のページも参考にしてください。
- ダビング先の空き容量を確認したい(20ページ)。

本機から外付けハードディスクにコピーしたい(HDD→USB HDDダビング)

本機のハードディスクに保存した映像(タイトル)を外付けハードディスクに移動(ムーブ)やダビングできます。

1 ダビング画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[USB HDDダビング]>[HDD→USB HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング方法を選ぶ。

[ダビング元を消してムーブ]や[ダビング元を残してコピー]を選び、《決定》ボタンを押します。

[ダビング元を消してムーブ]を選んだときは

タイトルは本機のハードディスクから削除され、外付けハードディスクにムーブします。ダビング可能回数の数字は外付けハードディスクのタイトルに引き継がれます。

[ダビング元を残してコピー]を選んだときは

本機のタイトルを外付けハードディスクにダビングします。本機のタイトルからダビング可能回数の数字が減ります。外付けハードディスクのタイトルには 1 が付きます。

ちょっと一言
- おでかけ転送するには、[ダビング元を残してコピー]を選び、本機のハードディスクにタイトルを残してください。外付けハードディスクからはおでかけ転送できません。
- SR などのアイコンがついたタイトルは、[ダビング元を残してコピー]を選ぶと、録画モード変換対象ではなくなります(DRモードのままになります)(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)。

3 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言
- 1度のダビングで選べるタイトルは30個までです。

4 ダビングを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けハードディスクから本機にコピーしたい(USB HDD→HDDダビング)

外付けハードディスクに保存した映像(タイトル)を本機に移動(ムーブ)やダビングできます。

1 ダビング画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[USB HDDダビング]>[USB HDD→HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング方法を選ぶ。

[ダビング元を消してムーブ]や[ダビング元を残してコピー]を選び、《決定》ボタンを押します。

[ダビング元を消してムーブ]を選んだときは

タイトルは外付けハードディスクから削除され、本機にムーブします。ダビング可能回数の数字は本機のタイトルに引き継がれます。

[ダビング元を残してコピー]を選んだときは

外付けハードディスクのタイトルを本機にダビングします。外付けハードディスクのタイトルからダビング可能回数の数字が減ります。本機のタイトルには 1 が付き、ディスクへのダビング(ムーブ)やおでかけ転送は1回行えます。

ちょっと一言
- SR などのアイコンがついたタイトルは、[ダビング元を残してコピー]を選ぶと、録画モード変換対象ではなくなります(DRモードのままになります)(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)。

3 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言
- 1度のダビングで選べるタイトルは30個までです。

4 ダビングを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- プレイリストと、プレイリストを作成したオリジナルタイトルをダビングする場合は、[ダビング元を残してコピー]を選んでください。プレイリストは、ダビング時にオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- ダビング中に次の状態になった場合は、本機と外付けハードディスクの両方からタイトルが削除される可能性があります。
  - 外付けハードディスクの電源を切ったとき。
  - USBケーブルを抜いたとき。
  - 停電になったとき。
- 視聴年齢制限のあるタイトルは、画面の指示に従って[暗証番号設定](95ページ)で設定した暗証番号を入力してください。
- 高速ダビング中に他の操作を行うと、ダビング所要時間が通常より長くなるため、ダビング終了後に開始する外付けハードディスクへの録画予約が実行されないことがあります。
- 3D映像は高速以外のダビングモードでダビングした場合、2D映像に変換され、再生時に自動で3D表示に切り換わらなくなります。

以下のことはできません

- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルを外付けハードディスクにダビングすること。
- 写真を外付けハードディスクにダビングすること。

高画質／高速でディスクにコピーしたい

BDにコピーしたい(高速ダビング)

☞次のページも参考にしてください。
- コピー中の操作制限(57ページ)。

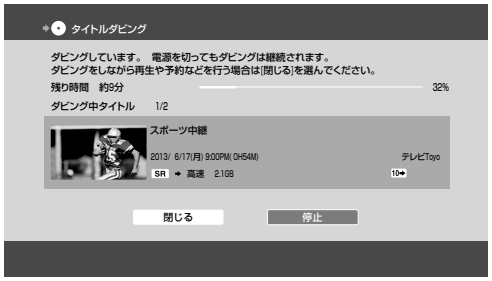
BDには、録画した画質のまま高速ダビングできます。

1 録画時のモードのままBDにダビングする(58ページ)。

ダビングモードを変更してダビングすると、ダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかり、画質は落ちます。

高速ダビング中に他の操作をするには

ダビング進捗画面で[閉じる]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。



ダビング所要時間が長くなりますのでご注意ください。
ダビング進捗画面に戻るには《録画リスト》ボタンを押します。
映像(タイトル)を選び、《オプション》ボタンを押します。
[ダビング進行状況]を選び、《決定》ボタンを押してください。
高画質で長時間の容量が大きい映像(タイトル)をディスクにおさめたいときは、「ディスクにおさまるようにコピーしたい」(64ページ)をご確認ください。

DVDにコピーしたい

DVDには、録画した画質のまま高速ダビングできません。必ずダビングモードの変更が必要となります。ダビングにはダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかりますので、ご注意ください。

ディスクにおさまるようにコピーしたい

長時間番組の画質を落とさずにコピーするには

例:5時間番組(地上デジタル放送)を、録画モードDRで録画した場合

1 BDに記録可能な時間を調べる(124ページ)。

BD(25GB)は、約3時間なので、BDを2枚用意します。

2 映像(タイトル)を分割する(54ページ)。

BD(25GB)2枚に保存するため、5時間の番組を2時間30分ずつに分けます。

3 録画時のモードのまま、BDにダビングする(58ページ)。

分割した番組を、それぞれダビングします。

画質を落としてコピーするには

タイトルを分割せず、1枚のディスクにおさめたい場合は、画質を落としてダビングします。
タイトルダビング画面(131ページ)で[自動調整]を選ぶと、ディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。

ちょっと一言

- 画質変換ダビングは、ダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかります。
- 高速ダビングと異なり、画質変換ダビング中は録画が行われず、再生などの他の操作もできません。録画時に録画モードを設定しておくことをおすすめします。(16ページ)

フォルダ内の映像をまとめてコピーするには(連ドラ一括ダビング)

1 ディスクを入れ、フォルダ表示にする(32ページ)。

2 ダビングしたいフォルダを選ぶ。

フォルダを選び、《オプション》ボタンを押します。
[ディスクへダビング]>[フォルダ内すべて]を選び、《決定》ボタンを押します。
タイトルダビング画面が表示され、フォルダ内で録画日などの古い順にタイトルが並びます。上から順に30個まで選ばれます。

ちょっと一言

- [フォルダ内選択]を選ぶと、タイトルを選んでダビングできます。

3 ダビングを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

二か国語放送／字幕付きの番組をディスクにコピーしたい

二か国語放送の番組を再生時に音声切換できるようにコピーしたい

☞次のページも参考にしてください。
- 二か国語放送／字幕付きの番組を録画したい(19ページ)。

録画したモードのままBDにダビングしてください(58ページ)。

切り換えできなくても片方の音声だけをコピーするには

映像(タイトル)に記録されている音声により操作が異なります。
再生中に《音声切換》ボタンを押し、表示された音声を確認してください(32ページ)。
ダビングには、ダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかります。

[主]／[副]／[主／副]が表示されるときは
[二重音声記録]で[主音声]や[副音声]のどちらかを選び(92ページ)、BDやDVDにダビングモードを変更してダビングします(66ページ)。

[音声1]／[音声2]が表示されるときは
タイトルダビング画面(58、59ページ)でタイトルを選んだ後、次の操作をしてください。

1 高速以外のダビングモードを選ぶ。
《オプション》ボタンを押します。
[ダビングモード設定]＞高速以外のダビングモード＞[設定]を選び、《決定》ボタンを押します。
2 音声を選び、ダビングを開始する。
《オプション》ボタンを押します。
[信号選択]＞ダビングしたい音声＞[確定]＞[実行]を選び、《決定》ボタンを押し、ダビングを開始します。

字幕付きの映像を再生時に字幕切換できるようにコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- DRモードで録画する(15ページ)。

BDにDRモードのままダビングしてください(58ページ)。

切り換えできなくても字幕表示できるようにコピーするには

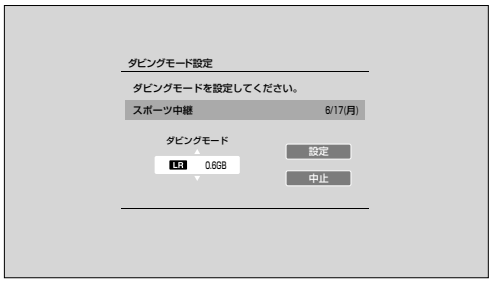
[字幕焼きこみ]を[入]に設定し(92ページ)、BDやDVDにダビングモードを変更してダビングします(66ページ)。
ダビングには、ダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかります。
[字幕焼きこみ]で焼きこんだ字幕は削除できませんのでご注意ください。

ダビングモードを変更したい

☞次のページも参考にしてください。
• 録画モードと録画／ダビング可能時間(124ページ)。

本機はダビング時の録画モードを「ダビングモード」と表示します。ダビングモードを変更して画質を落とせば、少ない容量でたくさん保存できます。
ダビングには、ダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかります。

ダビングモードを変更するには、タイトルダビング画面(58、59、62、131ページ)で映像(タイトル)を選び、《オプション》ボタンを押します。
[ダビングモード設定]＞変更したいダビングモード＞[設定]＞[実行]を選び、《決定》ボタンを押し、ダビングを開始します。



ちょっと一言
• 編集したタイトルのダビングモードを変更すると、ダビング後のタイトル間での継ぎ目がなめらかになります。

ご注意
• 16:9と4:3の映像が混在しているタイトルを、ダビングモードを変えてダビングする場合、タイトルの情報がもつ固定の映像サイズでダビングされますので混在できません。BDや外付けハードディスクに高速ダビングした場合、元の映像サイズのままダビングされます。
• ダビングモードを変えてダビングする場合、複数のタイトルを選んで合計12時間を超える場合はダビングできません。何回かに分けてダビングしてください。

コピーを途中で止めたい

1 ダビングを止める。
[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意
• DVDの場合、ファイナライズされずにダビングは中止します。必要に応じてファイナライズしてください(66ページ)。
• BD-RやDVD-Rへのダビングを途中で中止すると、使用可能な容量が減ります。
• インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのダビングを中断した場合は、必ず同じディスクで再開してください。

ディスクをファイナライズしたい

BDをファイナライズしたい

BDは、DVDとは異なる規格のため、ファイナライズが不要です。ダビング後のBDは、そのままの状態で他のBD機器で再生できます。

編集／追記できないようにするには(BDクローズ)

BD-Rを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[BDクローズ]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意
• 一度BD-Rをクローズすると解除できません。
• BDクローズすると、本機のハードディスクにタイトルを移動(ムーブバック)できなくなります。

DVDをファイナライズしたい

本機でダビングしたDVDを他のDVD機器で再生できるようにします。ダビング時にファイナライズしなかったDVDは次の手順でファイナライズしてください。

ディスクを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[ファイナライズ]を選び、《決定》ボタンを押します。

映像(タイトル)の記録時間が短いほど、DVDのファイナライズにかかる時間が長くなることがあります。

ご注意
• 一度ファイナライズすると、DVD-Rには追記できなくなります。

以下のことはできません
• 他のDVD機器で録画したDVDを本機でファイナライズすること。

本機で作成したDVDを他機器で再生したい

1 ファイナライズする。

ダビング時にファイナライズしなかった場合は、手動でファイナライズしてください(66ページ)。

2 再生機器がVRモードとCPRMの再生などに対応しているか確認する。

機器によっては、DVD-RWのVRモードに対応していても、DVD-RのVRモードに対応していないことがあります。詳しくは再生機器の取扱説明書をご覧ください。

ディスクに名前を付けたい

BDに名前を付けるには

ディスクを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押します。

DVDに名前を付けるには

ダビングの手順の中で行います(60ページ)。

ディスクを買ってきた状態に戻したい(初期化)

BD(BD-RE)を初期化するには

ディスクを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[初期化]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

DVDを初期化するには

ダビングの手順の中で行います(59ページ)。

ご注意

- BD-REの自動初期化以外の方法で初期化したディスクは、この手順で初期化できないことがあります。
- BD-R、DVD-Rは初期化できません。

BDに暗証番号をかけて再生できないようにしたい

1 BDを入れ、暗証番号設定画面を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]または[フォト]>ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[ロック]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 暗証番号を設定する。

数字ボタンで暗証番号を入力し、[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。
BDを取り出します。次からは、BDを入れたときに暗証番号の入力が必要になります。

ロックを解除するには

手順1で[ロック解除]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

モバイル機器などに持ち出す

これらの情報はWebでもご覧いただけます: http://www.sony.jp/support/bd/manual/

おでかけ転送の説明はWebサイトが充実しています

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

- 対応機種
- よくある質問
- 何ができる？何ができない？転送先機器や機能による制約事項
- もっと便利な使いこなし術
  – まとめて転送
  – 自動で転送(更新転送)
  – 二か国語や字幕付き番組

  など

おでかけ転送とは

録画した番組をモバイル機器などに持ち出す機能です。

- **おでかけ転送(USB接続)**
  おでかけ転送用に画質を抑えたファイルを転送します。
- **ワイヤレスおでかけ転送(LAN経由)**
  おでかけ転送用に画質を抑えたファイルを転送します。
- **ワイヤレスおでかけ転送フルHD(LAN経由)**
  HD画質の録画ファイルをそのまま転送します。

転送できる機器について

- **USB接続で転送できる機器**
  携帯電話、“ウォークマン”、“nav-u”、PSP®、PS Vita
- **LAN経由で転送できる機器**
  XperiaなどのAndroid™搭載機器、iPhone、iPadなどの無線モバイル機器

詳しくは下記をご覧ください
http://www.sony.jp/support/bd/

ワイヤレスおでかけ転送したい

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

録画した映像(タイトル)をXperiaなどのAndroid搭載機器、iPhone、iPadなどの無線モバイル機器に、ネットワークを経由しておでかけ転送できます。HD画質の番組をそのまま転送することもできます。

無線モバイル機器の準備をする

1 アプリをインストールする。
無線モバイル機器に、ワイヤレスおでかけ転送に対応したアプリをインストールします。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/
XperiaなどのAndroid搭載機器、iPhone、iPadなどに対応したアプリの導入手順を紹介しています。

2 無線モバイル機器をネットワークにつなぐ(お使いの機器の取扱説明書をご覧ください)。

本機の準備をする

1 ネットワークにつなぐ(37ページ)。

2 かんたんネットワーク設定をする(39ページ)。
ホームサーバー機能の使用については、[はい]を選んでください。

3 録画時に転送用ファイルが作成される設定にする。
- [おでかけ転送機器]を[スマートフォン／タブレットPC]にします(92ページ)。
- [高速転送録画]を[入]にします(92ページ)。

4 ホームネットワークで本機を操作できる機器を確認／登録する(40ページ)。

ワイヤレスおでかけ転送したい

無線モバイル機器にインストールしたアプリを操作して転送してください。
詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/
XperiaなどのAndroid搭載機器、iPhone、iPadなどに対応したアプリの操作手順を紹介しています。

自動転送するには

次の設定を行った後で番組を録画しておくと、自動転送アプリから指定した時間に自動転送などができます。
- 録画予約時に、[自動転送]を[する]に設定する(17ページ)。

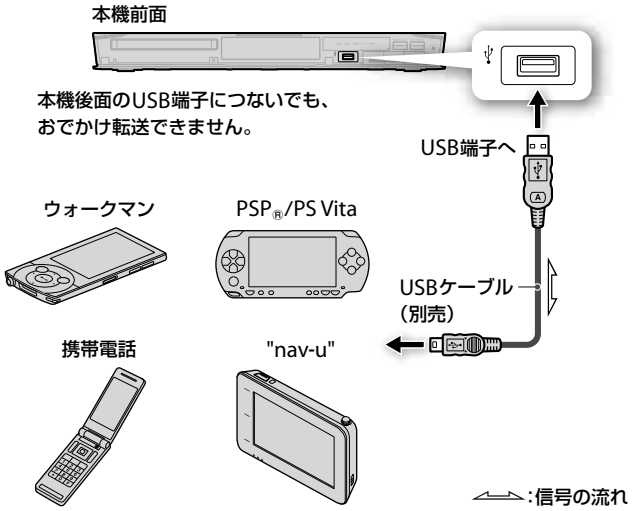
ご注意
- ワイヤレスおでかけ転送が正常にできないときは、本機を有線LANで接続し、試してみてください。
- ワイヤレスおでかけ転送したタイトルは、おかえり転送できません。
- 無線モバイル機器の性能によっては転送できないことや、転送できても再生できないことがあります。
- 視聴年齢制限付きタイトルは転送できないことがあります。
- 1➡のタイトルは録画予約時に[自動転送]を[する]にしても自動転送されません。手動で転送してください。

USB接続しておでかけ転送したい

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

本機に録画した映像(タイトル)などを、USB接続でおでかけ転送できます。

1 転送機器をつなぎ、電源を入れる。



お使いの機器によってはUSBモードなどに切り換える操作が必要です。

2 映像を選んで転送する。
《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[おでかけ·おかえり転送]＞[おでかけ転送]からタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
転送が終わると本体表示窓の「DUB」(117ページ)が消えるので、USB機器を抜いてください。

本体のおでかけボタンで転送するには(ワンタッチ転送)

次の設定を行った後で番組を録画すると、録画終了後、機器をつないで《番組おでかけ》ボタンを押すと転送されます。
- おでかけ転送機器を登録する(92ページ)。
- 録画予約時に、[ワンタッチ転送]を[する]に設定する(17ページ)。

高速転送するには

次の設定を行った後で番組を録画すると、録画と同時におでかけ転送用動画ファイルを作成するため、転送が高速で行えます。
- おでかけ転送機器を登録する(92ページ)。
- [高速転送録画]を[入]にする(92ページ)。

次の場合は再生と同程度の時間がかかります。
- 登録した転送機器と違う機器に転送するとき。
- おでかけ転送リストに「高速」表示のないタイトル。
- ⏩SR などのアイコンがついたタイトル(14ページ)(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)。

おかえり転送するには

本機前面のUSB端子におでかけ転送機器を接続し、《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[おでかけ・おかえり転送]>[おかえり転送]からタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
おかえり転送できるのは、“ウォークマン”、PSP®、PS Vita、“nav-u”、携帯電話です。

ダビング可能回数について

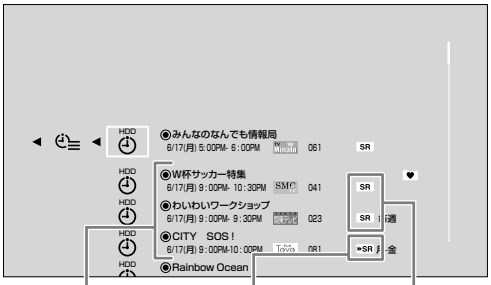
1➡ ～ 10➡ のついたタイトルは、おでかけ転送するとダビング可能回数が減ります。
おかえり転送でおでかけしたタイトルを本機に戻すと回数は元に戻り、転送先からは削除されます。

3番組同時録画後、すぐにおでかけ転送したい

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100

おでかけ転送するには、おでかけ転送用ファイルが必要です。同じ時間に3番組録画予約をしたとき、3番組のうち2番組は録画と同時におでかけ転送用ファイルを作成するため、録画後すぐにおでかけ転送できます。残りの1番組は、録画後の電源「切」時に本機が自動で作成し、その後おでかけ転送できるようになります。

録画後すぐにおでかけ転送できるかどうかは、予約リストに表示される録画モードアイコンの種類で確認できます。



録画時間の重なる3番組の録画予約

⏩マークのないアイコン:録画終了後すぐにおでかけ転送できます

⏩マークのあるアイコン:録画終了後すぐにはおでかけ転送できません

すぐにおでかけ転送したい録画予約に ⏩SR(⏩マークあり)などのアイコンがついている場合は、以下の手順で録画予約を入れ直してください。

1 予約リストを表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

リストの上にある[予約確認]>[予約リスト]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ⏩SR(⏩マークあり)などのアイコンがついている録画予約と、時間が重なっている他の録画予約を一度取り消す。

2つの録画予約を一度取り消します(20ページ)。

3 録画予約を入れ直す。

手順2で取り消した2つの録画予約のうち、録画終了後すぐにおでかけ転送したいものから先に、録画予約を入れ直します。

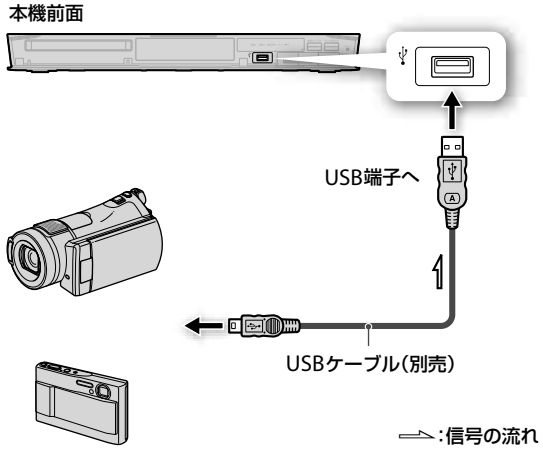
予約リストで、すぐにおでかけ転送したい録画予約の録画モードアイコンが SR(⏩マークなし)などになっていることを確認してください。

動画を取り込みたい

USBケーブルを使って取り込みたい（AVCHDダビング）

ビデオカメラやデジタルカメラなどの他機器を本機前面のUSB端子につなぐと、AVCHD方式の動画（3D・1080/60p対応）を本機のハードディスクに取り込めます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 機器をつなぎ、電源を入れる。



ちょっと一言

- USBケーブルについて詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります（USB接続モードなど）。詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- [スタンバイモード]を[瞬間起動]に設定すると（94ページ）、本機の電源が切れている場合でも本機前面のUSB端子から一部の機器の充電ができます。

2 取り込み方法を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[AVCHDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 ↑↓←→で、項目を設定する。

動画（タイトル）にグループを設定するには

設定エリアでグループを選びます。取り込んだタイトルをグループごとに分類できて便利です。

操作ボタンエリアで[自動選択]を選んだときは

一度に30個まで自動で取り込まれます。

操作ボタンエリアで[タイトル選択]を選んだときは

タイトルを30個まで選べます。

4 取り込みを開始する。

操作ボタンエリアで[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込みを途中で止めるには

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- 他機器で記録した動画を本機に取り込んだ場合、表示される録画モードが元の録画モードと異なることがありますが、画質は劣化しません。
- 1つのタイトルに80個以上のチャプターがある場合、タイトルが分割されます。他機器で編集されたタイトルは分割されません。

以下のことはできません

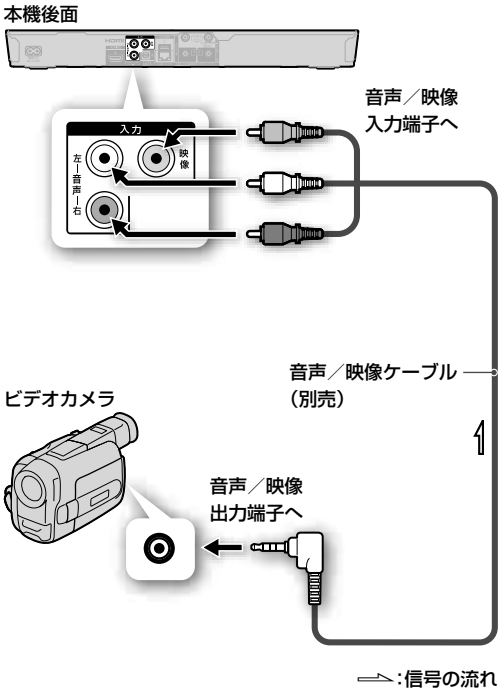
- 他機器で記録された、撮影日時などの字幕を取り込むこと（取り込んだタイトルを再生するとき、画面に撮影日時を表示することはできません）。
- 本機前面以外のUSB端子に機器をつないで取り込むこと。
- MP4形式で記録された動画を取り込むこと。
- SD（スタンダード）画質で記録された動画を取り込むこと。
「音声／映像ケーブルを使って取り込みたい」（72ページ）から取り込んでください。

音声／映像ケーブルを使って取り込みたい

☞次のページも参考にしてください。
- [外部入力録画横縦比]で映像サイズを設定する(92ページ)。

ビデオカメラなどの他機器を音声／映像ケーブルで本機につなぐと、動画を取り込めます。

1 機器をつなぎ、電源を入れる。



2 接続した機器の映像を表示する。

本機のリモコンの《入力切換》ボタンをくり返し押します。

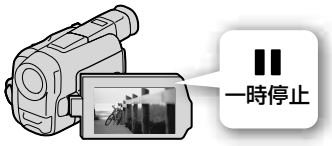
3 録画モードを選ぶ。

《オプション》ボタンを押します。

[録画モード]＞録画モードを選び、《決定》ボタンを押します。

録画モードについて詳しくは、「録画モードと録画／ダビング可能時間について」(124ページ)をご覧ください。

4 接続した機器を再生一時停止状態にする。



5 本機の録画を開始する。

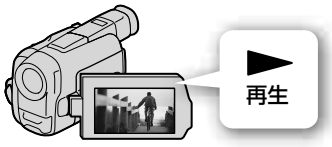
●《録画》ボタンを押して、本機に録画する時間を選び、録画を開始します。

BDに直接ダビングするときは

BDのディスクを入れ、《オプション》ボタンを押して[BD録画]を選ぶと、直接BDへダビングできます。

6 取り込みを開始する。

接続した機器の一時停止や再生ボタンを押して再生を開始します。



ご注意

- ●《録画》ボタンを押して録画時間を選んだ後、本機の表示窓に録画経過時間が表示されるのを確認してから機器の再生を開始してください。

取り込みを途中で止めるには

■《停止》ボタンを押します。

ディスクから取り込みたい

ディスクの映像(タイトル)を本機／外付けのハードディスクに取り込めます。

1 ディスクを入れ、取り込み方法を選ぶ。

本機ハードディスクに取り込むときは

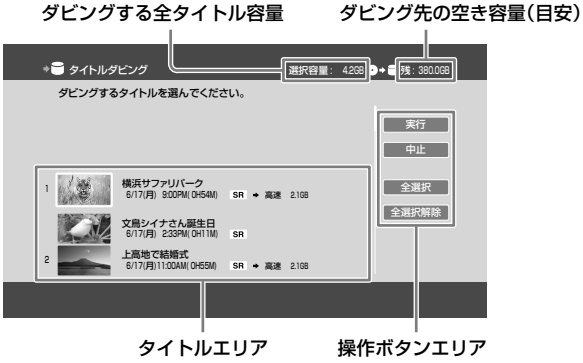
《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[ディスクダビング]＞[BD/DVD→HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けハードディスクに取り込むときは

《録画リスト》ボタンを押します。
リストの上にある[USB HDDダビング]＞[BD/DVD→USB HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 取り込みたいタイトルを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。取り込みたい順に選ぶと番号が付きます。



ちょっと一言

- 1度の取り込みで選べるタイトルは30個までです。

操作ボタンエリアで[全選択]を選んだときは

リストの上から順に30個まで選ばれます。

3 取り込みを開始する。

操作ボタンエリアで[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込みを途中で止めるには

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- DVD(AVCHD方式)から取り込んだ場合は、日付単位でタイトル分割されて取り込まれます。
- BD-RE、BD-R、DVD-RW(VR)、DVD-R(VR)のプレイリストタイトルは、オリジナルタイトルとして取り込まれます。
- BDやDVDから取り込む場合は、映像サイズはそのまま取り込まれます。DVDの音声で第1音声、第2音声があるときは、第1音声のみ取り込まれることがあります。

以下のことはできません

- 市販のBD-ROMやDVDビデオから取り込むこと。
- 他機器で作成したディスクで、本機に挿入したときに「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクから取り込むこと。
- DVD(AVCHD方式)から録画モードを変更して取り込むこと。
- DVD(AVCHD方式以外)から高速ダビングすること。

本体の取り込みボタンで取り込みたい(ワンタッチ取り込み)

本機につないだビデオカメラやデジタルカメラなどの他機器や8cm DVDから、動画や写真をボタンひとつで簡単に本機のハードディスクに取り込めます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 機器をつなぎ、電源を入れる。

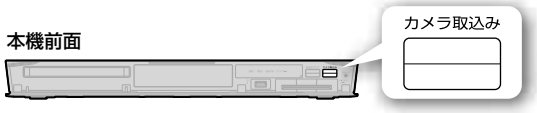
USBケーブルを使ってつなぎます(71ページ)。

8cm DVDから取り込むときは

ディスクを本機に入れます。

2 取り込みを開始する。

本機前面の《カメラ取込み》ボタンを押します。
《カメラ取込み》ボタン／ランプが赤く点灯して取り込みが始まります。



取り込みを途中で止めるには

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 写真を取り込む場合でも、USB機器内にAVCHD方式のビデオファイルが記録されているときには、ビデオファイルも同時に取り込まれます。
- ワンタッチ取り込みできるのは、本機に初めて取り込む映像のみです。
- 《カメラ取込み》ボタンで一度取り込んだことのある動画をもう一度取り込む場合は、「USBケーブルを使って取り込みたい(AVCHDダビング)」(71ページ)で取り込んでください。

ご注意

- 取り込まれたタイトルは、日付単位で分割されて本機に保存されます。

動画や写真を取り込む優先順位について

- 次の優先順位で動画(タイトル)や写真を取り込みます。
  ① USB端子につないだUSB機器(ビデオカメラを含む)。
  ② ディスク。
- 8cm DVDで記録するビデオカメラからUSBケーブル経由で直接取り込むことはできません。ディスクを本機に挿入して取り込んでください。

他のBD/DVDレコーダーから取り込みたい

他機器でBDに保存した映像を本機に取り込めます(ムーブバック)。
他のBDレコーダーで映像をBD-REへ保存した後、本機のハードディスクに移動してください(61ページ)。

ちょっと一言

- LAN経由や、外付けハードディスクを使っての移動はできません。

DVDレコーダーから取り込むには

「ビデオテープから取り込みたい(VHSダビング)」(74ページ)の手順で、DVDレコーダーをビデオデッキの代わりに接続してください。

ご注意

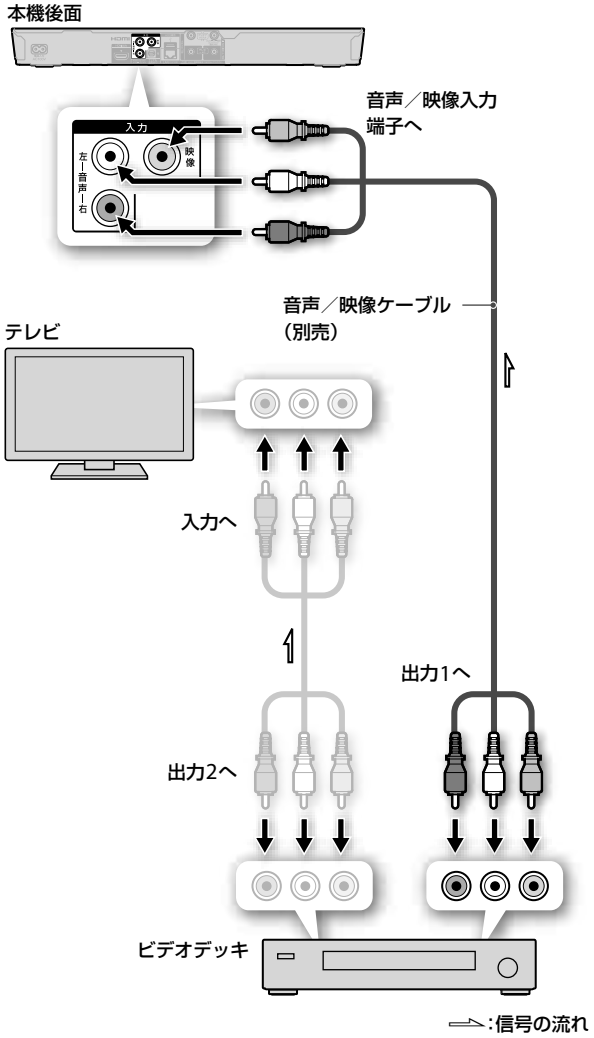
- 著作権で保護された映像は、取り込めないことがあります。
- SD(スタンダード)画質での取り込みになります。

ビデオテープから取り込みたい(VHSダビング)

☞次のページも参考にしてください。
- [外部入力録画横縦比]で映像サイズを設定する(92ページ)。

VHS、8ミリ、ベータなどのビデオテープに記録されている映像の時間に合わせて、ビデオデッキを経由して本機のハードディスクに取り込めます。

1 機器をつなぎ、電源を入れる。



市販ビデオなどコピー制御信号が含まれている映像を再生する場合、ビデオデッキをテレビに直接つなぎます。

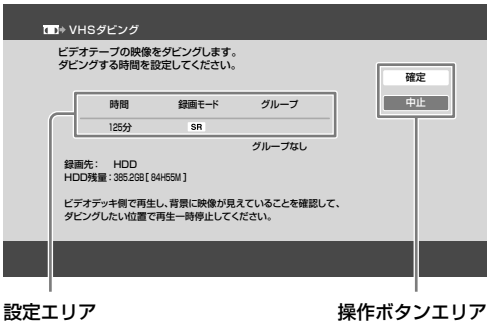
2 接続した機器を再生一時停止状態にする。

3 取り込み方法を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。

リストの上にある[VHSダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 ↑↓←→で、設定エリアの各項目を設定する。



設定エリア **操作ボタンエリア**

[時間]

録画する時間を選べます。ダビングは設定された時間で停止します。

[録画モード]

録画モードについて詳しくは、「録画モードと録画／ダビング可能時間について」(124ページ)をご覧ください。

[グループ]

映像(タイトル)にグループを設定できます。取り込んだタイトルをグループごとに分類できて便利です。

5 実行する。

操作ボタンエリアで[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

6 ダビング開始のメッセージが表示されたら、接続した機器で再生を始める。

取り込みを途中で止めるには

■《停止》ボタンを押します。

☞次のページも参考にしてください。

- 本機で取り込めるアルバムや写真について(126ページ)。

本機につないだデジタルカメラやディスクから、写真(JPEG/MPO*のみ)を本機のハードディスクに取り込めます。
本機では、フォルダのことをアルバム、ファイルのことを写真と呼びます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

* マルチピクチャーフォーマット(Extended MPファイル)。

ご注意

- 本機に取り込んでいるときに、機器をつないでいるUSBケーブルを抜かないでください。

写真を取り込みたい

1 機器をつなぎ、電源を入れる。

USBケーブルを使ってつなぎます(71ページ)。

ディスクから取り込むときは

ディスクを本機に入れます。

2 機器やディスクなどを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[フォト]→機器やディスクアイコンなどを選び、《決定》ボタンを押します。

3 取り込みたいアルバムを選ぶ。

アルバムを選び、《オプション》ボタンを押します。

4 取り込みを開始する。

[コピー]＞[1アルバムコピー]＞[はい]＞[このままコピー]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- [次へ]を選ぶと[続きからコピー]や[分類して実行]などを選べます。

必要な写真だけを選んで取り込むには

1 「写真を取り込みたい」(75ページ)の手順1、2を行う。

2 取り込みたい写真を選ぶ。
アルバムを選び、《決定》ボタンを押します。
写真を選び、《オプション》ボタンを押します。

3 コピー方法を選ぶ。
[コピー]>[1ファイルコピー]>[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 取り込み先のアルバムを選んで取り込みを開始する。
取り込み先のアルバムを選び、《決定》ボタンを押します。

写真をまるごと取り込むには

- 1つのフォルダに写真が500枚以下になるようデジタルカメラなどの他機器で撮影してください。
  本機では501個以上のファイル*やフォルダを1つの階層で表示できません。500個を超えた場合は、一部表示されません。
- 本機には、取り込もうとしているフォルダの中の写真のみ取り込まれます。取り込もうとしているフォルダの中にあるフォルダは、取り込まれません。

* JPEG/MPO以外のファイルも含む。

本体の取り込みボタンで取り込みたい(ワンタッチ取り込み)

詳しくは、「本体の取り込みボタンで取り込みたい(ワンタッチ取り込み)」(73ページ)をご覧ください。

取り込んだ動画や写真を見たい

本機のハードディスクに取り込んだ動画を見たい

本機のハードディスクに取り込んだ動画は《録画リスト》ボタンで表示されるタイトル一覧に表示されます。
再生する手順について詳しくは、「ハードディスクに録画した番組や映像を再生したい」(28ページ)をご覧ください。

他機器や本機のハードディスクの写真を見たい

☞次のページも参考にしてください。
- 本機で再生できるアルバムや写真について(126ページ)。
- 3D再生できる写真を3D表示するには、テレビの接続と本機の設定が必要です。「録画した3D番組を再生したい」(29ページ)をご覧ください。

本機につないだデジタルカメラなどの他機器やディスクから、写真(JPEG/MPO*のみ)を表示できます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

* マルチピクチャーフォーマット(Extended MPファイル)。3D再生できる写真は3Dアイコンが表示されます。

1 機器をつなぎ、電源を入れる。
USBケーブルを使ってつなぎます(71ページ)。

ディスクの写真を見るときは

ディスクを本機に入れます。

本機のハードディスクの写真を見るときは

この手順は不要です。

2 機器やディスクなどを選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
[フォト]>機器やディスクアイコンなどを選び、《決定》ボタンを押します。

本機のハードディスクの写真を見るときは

[フォト]>アルバムを選び、《決定》ボタンを押します。

スライドショーにするには

［フォト］＞アルバムを選び、《オプション》ボタンを押します。

［スライドショー］を選び、《決定》ボタンを押します。

アルバム内のすべての写真の表示が終わると、アルバムの先頭からくり返し再生されます。

スライドショーを停止するには■《停止》ボタンを押します。

3 見たい写真を選ぶ。

写真を選び、《決定》ボタンを押します。

前／次の写真を表示するには

I◀◀《前》ボタン／▶▶I《次》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 写真の横縦比とテレビの横縦比が異なる場合、上下や左右に黒帯が表示されることがあります。

ご注意

- 写真を表示しているときに、デジタルカメラなどの他機器をつないでいるUSBケーブルを抜かないでください。
- 写真以外のファイルが複数記録されているUSB機器の場合、写真（JPEG/MPO）を表示できないことがあります。
- 写真のサイズや枚数、写真が保存されている場所によって、サムネイルやスライドショーの表示に時間がかかることがありますが、故障ではありません。

写真や動画を別の部屋で見たい（ルームリンク）

ネットワークを経由して、ソニールームリンクに対応したテレビやパソコンなどから、本機に取り込んだ写真や動画を再生できます。詳しくは、「番組を別の部屋で見たい（ルームリンク／家じゅうどこでも視聴）」（42ページ）をご覧ください。

写真をビデオクリップのようにしたい（x-Pict Story HD）

x-Pict Story HDを使うと、本機に取り込んだ写真（JPEGのみ）を使って、ビデオクリップのようなビデオ作品を作れます。BGMに好みの音楽を設定するだけで、本機が自動で演出、映像処理した作品に仕上げてくれます。

x-Pict Story HDの作品は、ホームメニュー＞［フォト］＞［x-Pict Story HD］＞［新規作成］から作成します。

x-Pict Story HDのさらに詳しい使いかたは、下記ホームページで紹介しています。
http://www.sony.jp/support/bd/manual/

写真を自動で整理してアルバムにしたい（x-ScrapBook）

x-ScrapBookを使うと、本機が自動で写真（JPEG/MPO*のみ）を切り貼りし、スクラップブックのようなアルバムに仕上げてくれます。好みの壁紙や動画を追加して、アルバムを自由にアレンジできます。

* マルチピクチャーフォーマット（Extended MPファイル）。

x-ScrapBookのアルバムは、ホームメニュー＞［フォト］＞［x-ScrapBook］から見たり、編集したりします。

x-ScrapBookのさらに詳しい使いかたは、Webで紹介しています。
http://www.sony.jp/support/bd/manual/

ご注意

- MPOファイルの場合でも2Dで表示されます。

動画を切り取って写真にしたい

次の動画(タイトル)でできます。
- AVCHDダビングしたタイトル。
- 8cm DVDから取り込んだタイトル。
- x-Pict Story HDで作成したビデオ作品。

1 タイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[フォト]>[フォト切り出し]>タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

再生が始まったら、切り取りたい場面で▮▮《一時停止》ボタンを押します。

↓で[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

いろいろな方法でディスクに残したい

DVDを複製したい(まるごとDVDコピー)

本機で記録したDVDやソニー製DVDデジタルビデオカメラで記録した8cm DVD、12cm DVDを、高速で簡単に12cm DVDにコピーできます。

1 コピーしたい映像が入っているDVDを本機に入れ、読み込みを開始する。

ファイナライズ済みのディスクを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。

リストの上にある[ディスクダビング]>[まるごとDVDコピー]>[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 DVDを入れ替え、書き込みを開始する。

書き込み先のDVDに入れ替え、[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

DVD-Rの場合は必ず未フォーマットのディスクをお使いください。

2枚目以降のDVDにコピーするには、[継続]を選んでください。

コピーを途中で止めるには

[中止]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

本機でまるごとコピーできるDVDについて

コピー元のディスクのフォーマットにより、読み込み(コピー元)や書き出し(コピー先)できるディスクの種類が異なります。

本機で記録したDVD	ソニー製DVDデジタルビデオカメラで記録したDVD
読み込めるディスク • DVD-R • DVD-RW	読み込めるディスク • DVD-R • DVD-R DL(8cmのみ) • DVD-RW • DVD+R • DVD+R DL(8cmのみ) • DVD+RW
書き出せるディスク • DVD-R • DVD-RW(DVD-RWから読み込んだ場合のみ)	書き出せるディスク • DVD-R • DVD-RW

他機器で記録したDVD

他機器で記録したDVDで、まるごとDVDコピーできない場合、本機のハードディスクに取り込んでから(71ページ)、DVDにダビングしてください(59ページ)。

ご注意

- 市販のDVDビデオやコピー制御信号を含むタイトルを記録しているDVDはコピーできません。
- コピー先のDVDがDVD-Rの場合、書き出しを途中で中止すると、そのディスクは使えなくなります。
- DVD-R DL、DVD+R/DVD+RW、DVD+R DL、DVD-RAMにはコピーできません。
- コピーするDVDのメディアの種類が異なる場合、容量が微妙に異なることがあるため、コピーできないことがあります。
- 読み込み中に表示される時間は目安であり、ディスクの状態によってはコピーに時間がかかることがあります。

動画や写真を整理してディスクにしたい(思い出ディスクダビング)

☞次のページも参考にしてください。
- タイトルダビングについて(58ページ)。

取り込んだ動画(タイトル)や写真、x-ScrapBook、x-Pict Story HDのビデオ作品をまとめて1枚のBDやDVDに書き出せます。

BDにBD-Jメニュー付きで書き出した場合の画面例

1 ディスクを入れ、ダビング方法を選ぶ。

タイトルをダビングするときは

《録画リスト》ボタンを押します。

リストの上にある[ディスクダビング]>[思い出ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

写真をダビングするときは

《ホーム》ボタンを押します。

[フォト]>[思い出ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

メニュー作成やディスク追記などを選ぶ画面が表示されたときは

画面の指示に従って操作してください。

2 ダビングしたいタイトルやアルバムを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルやアルバムを選び、《決定》ボタンを押します。選んだ順に、サムネイルの左横に番号が付きます。タイトルは30個まで選べます。

操作ボタンエリアで[全選択]を選んだときは

リストの上から順に30個まで選ばれます。

操作ボタンエリアで[ビデオ]/[アルバム]/[x-ScrapBook]を選んだときは

タイトルエリアの一覧を切り換えることができます。

3 書き出しを開始する。

操作ボタンエリアで[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

BD-Jメニュー付きで書き出すときは

BD-Jメニューの背景を選び、《決定》ボタンを押します。

x-Pict Story HDのビデオ作品を書き出す場合は、その映像を背景に指定できます。書き出したディスクはBDMVフォーマットになります。

BD-RE XL(3層)/BD-R XL(3層/4層)をお使いの場合、思い出ディスクダビングでは、BD-Jメニュー付きのディスクは作成できません。

名前を変更するには

[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押します。ディスクの名前を変更できます(119ページ)。

DVDに書き出すときは

ファイナライズやDVDメニュー作成、ディスクの名前変更などの画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。詳しくは、「DVDにコピーしたい」(59ページ)をご覧ください。

ダビングを途中で止めるには

[停止]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできることがあります。

ご注意

- 写真やx-ScrapBookをDVDに書き出すときは、新品で未初期化のDVDをお使いください。DVD-RWの場合は初期化により記録済みの内容は削除され、上書きされますのでご注意ください。
- メニュー付きBDに追記する場合は、本機で作成したディスクのみ利用できます。
- 次の場合、タイトルを書き出せません。
  - 1タイトルが12時間以上の場合。
  - 書き出し先がDVDで、選んだタイトルの合計が12時間以上になる場合。

  その他、タイトルの制限事項について詳しくは、58、60ページのご注意をご覧ください。
- BDへ書き出すときは、すでにBDに記録されている写真／x-ScrapBookと、新たに書き出す写真／x-ScrapBookの合計が、6,000個以下の場合に書き出せます。
- 書き出し先のディスクやアルバム内に同じ名前のファイルがある場合は、書き出したファイル名の末尾に(1)、(2)…などの数字が付きます。
- DVDへ写真／x-ScrapBookを含む書き出しが終わると、自動的にディスクがファイナライズされ、追記できなくなります。BD-RE、BD-Rの場合は追記できます。
- x-ScrapBookを書き出すと、x-ScrapBook再生画面をページごとに静止画像として保存します。x-ScrapBookに取り込んだ元の写真や動画は保存されません。その場合は、別途、写真や動画を書き出してください。
- 3D・1080/60pのタイトルはBD-Jメニュー付きで書き出せません。BD-Jメニューを付けずに書き出してください。
- 3Dタイトルを DVDに書き出すと2Dタイトルに変換されます。

BD-Jメニュー付きディスクを再生するには

思い出ディスクダビング(79ページ)でBD-Jメニュー付きでBDを作ると、動画(タイトル)や写真、x-ScrapBookなどを便利に再生できます。

1 BD-Jメニュー付きディスクを入れ、再生する。

画面の指示に従って操作してください。

操作ボタンエリア

操作ボタンエリアで[カレンダー表示]を選んだときは

ディスク内のコンテンツを、撮影した年月日で分類して表示できます([フォト作品]のコンテンツを除く)。

操作ボタンエリアで[ビデオ一覧]を選んだときは

タイトルのみを表示できます(x-Pict Story HDのビデオ作品を除く)。

操作ボタンエリアで[フォト一覧]を選んだときは

写真のみを表示できます。

操作ボタンエリアで[フォト作品]を選んだときは

本機のハードディスクから書き出したx-ScrapBookの静止画像とx-Pict Story HDのビデオ作品のみを表示できます。

ちょっと一言

- 再生メニュー画面からx-ScrapBookを再生中に、《ポップアップ／メニュー》ボタンを押して[テーマ変更]を選ぶと、x-ScrapBookのテーマを変更できます。
- 本機で作成したBD-Jメニュー付きディスクの映像を取り込むには、ホームメニュー>[ビデオ]からディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押して[HDDへダビング]を選びます(138ページ)。また、BD-Jメニュー付きディスクから写真を取り込むには、「写真を取り込みたい」(75ページ)をご覧ください。

ご注意

- 動画や写真に撮影日のデータがない場合は、カレンダー表示画面には表示されません。その場合は、トップメニュー画面から[カレンダー表示]以外を選んで再生してください。
- 本機で作成したBD-Jメニュー付きディスクに書き出した3D写真を3Dで表示する場合は、ホームメニュー>[フォト]>アルバムから、3D写真を選んでください。

他機器のワンタッチ機能を使ってBDにコピーしたい(ワンタッチディスクダビング)

☞あらかじめ、次のことをしてください。

- 機器をつなぎ、電源を入れる(71ページ)。

ワンタッチディスクダビング機能のあるソニー製デジタルハイビジョンビデオカメラの映像を、簡単にBDにダビングできます。
ワンタッチディスクダビング機能がないときは、本機のハードディスクに取り込んでから(71ページ)、BDにダビングしてください(58ページ)。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 書き込みができるBD-RE/BD-Rを入れ、ダビングを開始する。

デジタルハイビジョンビデオカメラでワンタッチディスクダビングを始めます。

ちょっと一言

- ワンタッチディスクダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。
- ワンタッチディスクダビング後にデジタルハイビジョンビデオカメラで撮影を追加した場合は、再度ワンタッチディスクダビングを行うと、追加した映像だけダビングされます。

ダビングを途中で止めるには

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。
ダビングが止まるまでに時間がかかることがあります。
ダビングを途中でやめると、ダビングしていた映像(タイトル)はディスクに残りません。また、BD-Rの場合はディスクの空き容量が減ります。

ご注意

- ダビングすると、日付ごとに場面をまとめたタイトルとして記録されます。各撮影場面はチャプターとして引き継がれます。ただし、1日の撮影場面の数が多い場合や3D·1080/60pのタイトルを結合している場合、ダビング時に複数のタイトルに分割されることがあります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで多数の編集点を追加した場合、ダビング時に編集点の一部が失われることがあります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した映像をダビングすると、表示される録画モードが元の録画モードと異なることがありますが、画質は劣化しません。
- ダビング直後に開始するBDへの録画予約が実行されないことがあります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した字幕はBDに記録できません。
- デジタルハイビジョンビデオカメラに記録されたAVCHD方式の動画(3D·1080/60p対応)以外の映像はダビングできません。
- SD(スタンダード)画質で記録された映像は取り込めません。「音声／映像ケーブルを使って取り込みたい」(72ページ)で取り込んでください。

アンテナやテレビとの接続

接続方法を紹介しています

- インターネットで下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/

地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送の場合

別冊の「らくらくスタートガイド」をご覧ください。

CATVやスカパー！を利用している場合

STB(CATVチューナー)がない場合

別冊の「らくらくスタートガイド」をご覧ください。

STB(CATVチューナー)がある場合

CATV会社によって、放送と伝送方式が異なります。
方式によって、本機での録画の方式が異なりますので、ご利用のCATV会社や施設の管理者にご確認ください。

A社の例
地上デジタル放送：パススルー方式
BS/110度CS放送：トランスモジュレーション方式
別冊の「らくらくスタートガイド」の5ページをご覧ください。

B社の例
地上デジタル／BS放送：パススルー方式
110度CS放送：トランスモジュレーション方式
別冊の「らくらくスタートガイド」の5ページをご覧ください。

C社の例
地上デジタル放送：トランスモジュレーション方式
BS/110度CS放送：トランスモジュレーション方式
(「CATVやスカパー！チューナーなどを外部入力につないで録画したい」(83ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- パススルー方式の場合、STB(チューナー)と本機をアンテナケーブルで接続することで放送を受信できます。番組表から録画予約できます。
- トランスモジュレーション方式の場合、STB(チューナー)を使って放送を受信する必要があります。STB(チューナー)と本機を音声／映像ケーブルで接続し、外部入力で受信します。録画するには、外部入力録画(22ページ)、またはLAN録画(41ページ)を使います。
- HDMI変換器を利用してHDMI端子のないテレビと接続した場合、音声や映像が乱れることがあります。ソニーは動作を保証するものではありません。

CATVやスカパー！をネットワークにつないで、高画質で録画したい

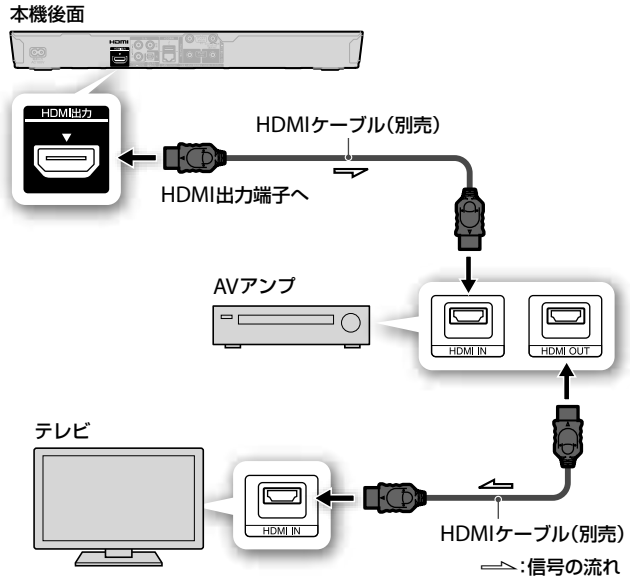
ネットワークにつなぐと、「スカパー！プレミアムサービス」やCATVチューナー(STB)の番組表から、本機にLAN経由で録画予約できるようになります。詳しくは、「「スカパー！プレミアムサービス」やCATVを録画したい(LAN録画)」(41ページ)をご覧ください。

AVアンプやホームシアターシステムとの接続

お使いのAVアンプやホームシアターシステムの入力端子をご確認のうえ、つなぎかたを選んでください。お使いの環境に合わせて[音声設定]を正しく設定してください(89ページ)。

HDMIケーブルでつないだ場合、テレビが3D対応のときは次の図のように3D対応のAVアンプやホームシアターシステムとつなぐと3D表示を楽しめます。次の図は、AVアンプを例としています。

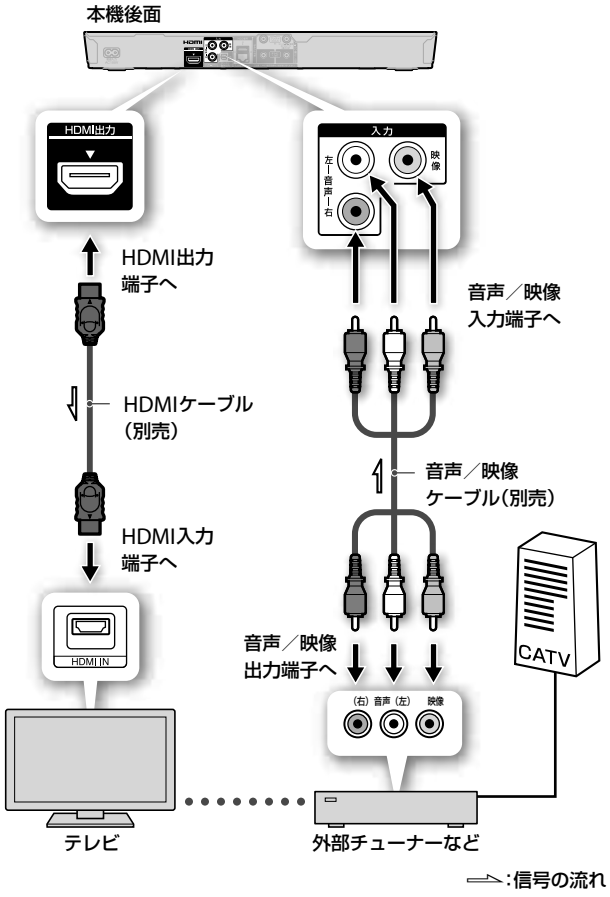
HDMIケーブルでつなぐ



ちょっと一言

- ソニー製のHDMIハイスピードケーブルを推奨します。

CATVやスカパー！チューナーなどを外部入力につないで録画したい



録画するには

「外部入力から録画するには」(22ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

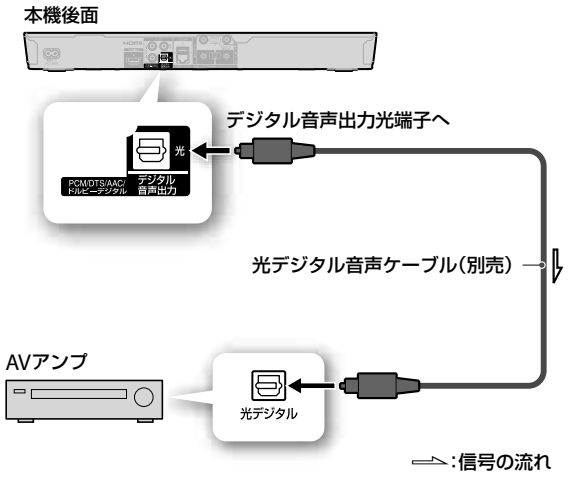
- ソニー製のHDMIハイスピードケーブルを推奨します。

ご注意

- 著作権者等によって複製を制限する旨の信号が含まれている番組は録画できないことがあります。
- 映像が乱れる場合、外部チューナーを直接テレビにつないで視聴してください。
- 本機には標準画質で映像が入力されるため、ハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画できません。
- AVマウスでの録画には対応していません。

光デジタル音声ケーブルでつなぐ

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510



音声設定と有効な出力端子について

設定項目ごとに、設定が有効になる出力端子が異なります。お使いになる出力端子の種類を確認してください。

設定項目名	ページ	有効な出力端子	
		HDMI出力端子	デジタル音声出力光端子*1
音声出力設定	89	○	○
HDMI音声出力	89	○	–
ドルビーデジタル	89	–	○
AAC	89	–	○
DTS	89	–	○
48kHz/96kHz PCM	89	–	○
オーディオDRC	89	○*2	○*2
ダウンミックス	90	○*2	○*2
BD音声出力	90	○	○

*1 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。

*2 PCM出力時のみ有効。

外付けハードディスクとの接続／登録

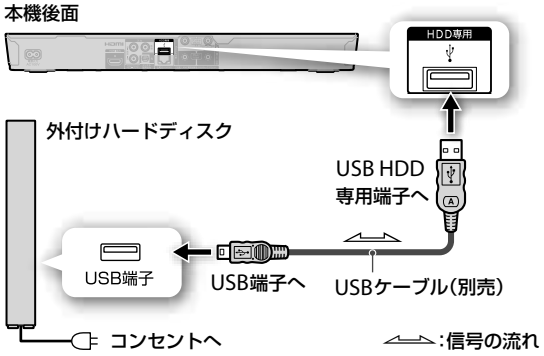
☞次のページも参考にしてください。
- 外付けハードディスクに録画する(12ページ)。
- 外付けハードディスクにダビングする(62ページ)。
- 外付けハードディスクから本機のハードディスクにダビングする(62ページ)。

外付けハードディスク(容量32GB～3TB)を本機につないで登録すると、デジタル放送の録画やダビングができるようになります。10台まで本機に登録できます。
動作推奨機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

ご注意

- 登録、または削除後に再登録をすると本機専用に初期化され、外付けハードディスクの内容はすべて削除されます。
- 外付けハードディスクは一時的な記録場所としてお使いいただき、大切なタイトルはBDなどにコピーすることをおすすめします。

1 本機の電源を切って、外付けハードディスクを接続する。



2 外付けハードディスクを登録する。

《電源》ボタンを押します。

登録画面が表示された場合は、画面に従って登録を行ってください。

ちょっと一言

- 外付けハードディスクの登録／削除は、ホームメニュー>[設定]>[本体設定]>[外付けUSB HDD設定]>[USB HDD登録]からも行えます(94ページ)。
- USBケーブルについて詳しくは、外付けハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 外付けハードディスク1台に保存できるタイトル数は、最大999です。
- 外付けハードディスクが動作しない場合、外付けハードディスクのコンセントが接続されているか確認してください。本機のHDD USB専用端子からの電源供給だけでは足りないことがあります。

以下のことはできません

- 本機に登録した外付けハードディスクを、他機器につないで再生すること。
- ハブを使って外付けハードディスクをつなぐこと。
  本機に直接つないでください。
- 外付けハードディスクを本機前面のUSB端子につないで録画やダビングをすること。
- PSP®や他機器をUSB HDD専用端子につなぎ、外付けハードディスクとして使うこと。
- セクタサイズが512B以外の外付けハードディスクを使うこと。

外付けハードディスクを取りはずすときは

以下を確認の上で、本機の電源を切り1分以上待ちます。

– [設定]＞[本体設定]＞[スタンバイモード](94ページ)が[瞬間起動]に設定されていると通電することがあるため、[標準]に設定する。
– 本体前面／表示窓が消灯し、録画、ダビング、データ取得、通信が行われていない。

外付けハードディスクの電源が切れてから、USBケーブルを抜いてください。

ネットワークへの接続

「準備1:ネットワークにつなぐ」(37ページ)をご覧ください。

おでかけ転送機器との接続

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

「USB接続しておでかけ転送したい」(69ページ)の手順1をご覧ください。

ビデオデッキとの接続

「ビデオテープから取り込みたい(VHSダビング)」(74ページ)の手順1をご覧ください。

デジタルカメラとの接続

USBケーブルでつなぐ

「USBケーブルを使って取り込みたい(AVCHDダビング)」(71ページ)の手順1をご覧ください。

映像ケーブルでつなぐ

「音声／映像ケーブルを使って取り込みたい」(72ページ)の手順1をご覧ください。

本機の設定を変更したい

設定画面でチャンネルや画質／音質などのさまざまな設定ができます。

1 ホームメニューから[設定]を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

ホームメニューの左端の[設定]を選びます。

2 項目を選ぶ。

設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

お問い合わせ(87ページ)
お知らせ(87ページ)
映像設定(88ページ)
音声設定(89ページ)
放送受信設定(90ページ)
ビデオ設定(91ページ)
BD/DVD視聴設定(92ページ)
おでかけ転送設定(92ページ)
フォト設定(93ページ)
本体設定(93ページ)
HDMI機器制御設定(94ページ)
年齢制限設定(95ページ)
通信設定(96ページ)
かんたん設定(97ページ)
設定初期化(98ページ)

ちょっと一言

- お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

お問い合わせ

商品のお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。

お知らせ

お知らせはお客様自身で削除できません。

放送からのお知らせ(地上／BS／CSデジタル)

放送局からお客様へのお知らせを見ることができます。受信してから14日以上経つと、まだ読んでいなくても(134ページ)自動的に削除されます。

本機からのお知らせ

予約や録画、ダビングの結果、アップデートなど、本機が発行したお知らせを見ることができます。30通を超えると、まだ読んでいなくても(134ページ)古いお知らせから自動的に削除されます。

ボード(CSデジタル)

110度CSデジタル放送から利用者全員への共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。

ルートCA証明書

見たいルートCA証明書を選び、《決定》ボタンを押すと、詳細が表示されます。

選んだルートCA証明書を削除するには、[削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

映像設定

HDMI出力解像度設定

HDMI出力端子から出力される映像の解像度を[480p]、[720p]、[1080i]、[1080p]に変更できます。通常は[自動]のままでお使いください。

テレビタイプ

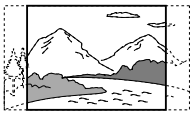
16:9	画面サイズが16:9や4:3のテレビとつなぐときに選びます。
4:3	

画面モード

フル	画面いっぱいに表示したいときに選びます(放送やタイトルによっては、できないことがあります)。
ノーマル	映像の横縦比は維持したまま、映像サイズを変更します。

DVDワイド映像表示

[テレビタイプ](88ページ)が[4:3]、[画面モード](88ページ)が[ノーマル]の場合に、16:9サイズのDVDを再生するときの設定です。

レターボックス	ワイド映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。
パンスキャン	ワイド映像の左右を自動的にカットし、テレビ画面全体に表示します。 

ご注意

- DVDによっては[レターボックス]や[パンスキャン]に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

3D出力

自動	通常はこの設定にします。HDMI出力端子につないだ機器が3Dに対応している場合に、3D映像の信号を出力します。
切	3D映像の信号を出力しません。2Dと3Dが混在したBD-ROMを2D再生する場合も、この設定にしてください。

BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ

3D映像を効果的に再現するために、お使いのテレビのサイズを選びます。[サイズ指定]を選ぶと、お使いのテレビサイズに合わせてサイズを指定できます。[テレビタイプ]を[16:9]に設定してください。

BD-ROM 1080/24p出力

自動	[自動]を選ぶと、映画フィルムと同じ24p映像で出力します。24p映像で記録されたBDと対応したテレビなどが必要です。
切	

HDMI映像出力フォーマット

自動	通常はこの設定にします。
Y Cb Cr(4:2:2)	Y Cb Crを4:2:2や4:4:4の比率で色変換を行います。
Y Cb Cr(4:4:4)	
RGB(16-235)	出力信号をRGB 16～235やRGB 0～255の範囲で色変換を行います。
RGB(0-255)	

HDMI Deep Color出力

自動	通常は[自動]に設定します。 映像が乱れたときや色が不自然なときに[切]に設定します。
切	

BD-ROM専用画質モード

入	[入]を選ぶと、再生時の画質設定(34ページ)で、BD-ROMとそれ以外で別々に画質設定できます。
切	

スーパービットマッピング

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100

入	通常は[入]に設定します。 映像が乱れたときや色が不自然なときに[切]に設定します。
切	

シネマ変換モード

自動	通常はこの設定にします。ビデオ素材(テレビドラマやアニメーション)とフィルム素材(映画フィルム)の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換えます。
ビデオ	ビデオ素材、フィルム素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。

一時停止モード

自動	通常はこの設定にします。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。
フレーム	動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

音声設定

「音声設定と有効な出力端子について」(84ページ)も合わせてご覧ください。

音声出力設定

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

HDMI	指定した出力端子から音声を聞く場合に最適な音声信号を出力します。
デジタル音声	

ちょっと一言

- 選択した音声端子以外の音声出力端子からは、2チャンネルPCMで音声信号を出力します。

HDMI音声出力

自動	お好みの設定にできます。[自動]を選ぶと、テレビやAVアンプで受けられる最適な音声信号を出力します。
マルチチャンネルPCM	
2チャンネルPCM	

ちょっと一言

- AVアンプ経由でドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS-HD MA/HRを楽しむには、本設定を[自動]、[BD音声出力](90ページ)を[ダイレクト]に設定してください。
- [マルチチャンネルPCM]を選んでいても、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、ドルビーデジタル音声のときは2チャンネルPCMで音声信号を出力します(対象機種:BDZ-EW1100 / EW510 / E510)。

ドルビーデジタル

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

ダウンミックスPCM	デジタル音声出力端子にドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに、[ダウンミックスPCM]を選びます。2チャンネルのPCM信号にダウンミックスして出力します。
ドルビーデジタル	

AAC

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

ダウンミックスPCM	デジタル音声出力端子にAACデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに、[ダウンミックスPCM]を選びます。2チャンネルのPCM信号にダウンミックスして出力します。
AAC	

DTS

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

ダウンミックスPCM	デジタル音声出力端子にDTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに、[ダウンミックスPCM]を選びます。2チャンネルのPCM信号にダウンミックスして出力します。
DTS	

48kHz/96kHz PCM

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

48kHz/16bit	デジタル音声出力端子から96kHzPCMの音声を48kHz16bitで出力します。96kHzに対応していないアンプとつなぐときに選びます。
96kHz/24bit	デジタル音声出力端子から96kHzPCMの音声を96kHz24bitで出力します。ただし、著作権保護のための信号が含まれているときは、48kHz16bitで出力されます。

オーディオDRC(BD/DVDのみ)

自動	通常はこの設定にします。
スタンダード	[テレビ]と[ワイドレンジ]の中間の音になります。
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにします。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果があります。
ワイドレンジ	迫力のある音になります。Hi-Fiのスピーカーを使うとさらに効果があります。

ご注意

- オーディオDRC機能のないBDやDVDを再生しているときは効果がありません。
- [ドルビーデジタル](89ページ)が[ドルビーデジタル]に設定されている場合、デジタル音声出力端子から出力される音声には効果がありません。ただし、BDの場合[BD音声出力]を[ミックス]に設定してある場合は除きます(90ページ)。

ダウンミックス

ドルビーサラウンド	ドルビーサラウンド(プロロジック)に対応しているオーディオ機器につないでいるときに選びます。ドルビーサラウンド(プロロジック)効果のかかった音声信号を2チャンネルに処理して出力します。
ノーマル	ドルビーサラウンド(プロロジック)に対応していないオーディオ機器につないでいるときに選びます。ドルビーサラウンド(プロロジック)効果のかかっていない音声信号を出力します。

ご注意

- [ドルビーデジタル](89ページ)が[ドルビーデジタル]に設定されている場合、デジタル音声出力端子から出力される音声には効果はありません。

BD音声出力

ダイレクト	セカンダリーオーディオ(映画の解説など)・インタラクティブオーディオ(効果音など)が含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングせずにプライマリオーディオのみを出力します。
ミックス	セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングして出力します。

ちょっと一言

- HDMI出力端子からドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS-HD MA/HRを楽しむには、本設定を[ダイレクト]、[HDMI音声出力](89ページ)を[自動]に設定してください。

放送受信設定

地上デジタルチャンネル登録

+/−選局	**必ず選局**:《チャンネル+/−》ボタンで選局できます。[プリセット選局]が選ばれているときに設定されます。 **選局する**:《チャンネル+/−》ボタンで選局できます。番組を共有しているチャンネルを[選局する]に設定しても、番組表に表示されないことがあります。 **選局しない**:《チャンネル+/−》ボタンや番組表で選局できません。 [全選局]を選ぶとすべてのチャンネルが[選局する]または[必ず選局]になり、[プリセット選局]は初期スキャンのときの状態に戻ります。[全選局解除]を選ぶと、[プリセット選局]の設定もすべて解除されます。
プリセット選局	リモコンの数字ボタンに、好みのチャンネルを登録できます。

地上デジタル自動チャンネル設定

初期スキャン	全チャンネルを再設定します。県域が変わった場合は[県域]を設定してから行ってください。
再スキャン	新しく受信できたチャンネルが追加されます。県域を変更した場合は選べません。

地上デジタル自動再スキャン

入	通常は[入]に設定します。地上デジタル放送のチャンネル変更情報を受信したら、本機がチャンネルを自動的に再設定します。
切	

地上デジタルアンテナレベル

チャンネルを選んで、地上デジタル放送の受信状態を確認できます。

地上デジタルアッテネーター

入	電波の送信元付近の地域などで、電波が強く近隣チャンネルなどの干渉を受けたり、映らないチャンネルがある場合、[入]にして試してください。
切	

BSデジタルチャンネル登録

受信しているBSデジタル放送の選局方法などが設定できます。「地上デジタルチャンネル登録」をご覧ください(90ページ)。

CSデジタルチャンネル登録

受信している110度CSデジタル放送の選局方法などが設定できます。「地上デジタルチャンネル登録」をご覧ください(90ページ)。

BS/CSデジタルアンテナレベル

BS/110度CSデジタル放送の映像がテレビに映った状態で、必要に応じて[最大値]の数字がより大きくなるようにBS/110度CSアンテナを動かして固定します。

ちょっと一言

- 《BS》ボタン、《CS》ボタンを押して、BS/CSデジタルアンテナレベルの表示を切り換えることができます。

BS/CSデジタルアンテナ電源

自動	通常は[自動]に設定します。本機の電源を入れたときに、本機がBS/110度CSアンテナに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。
切	

BS/CSデジタルアンテナ出力

入	本機の電源の入／切にかかわらず、つないだテレビなどにデジタルアンテナ信号を出力します。
切	本機の電源が切れているときは、デジタルアンテナ信号を出力しません。BS/110度CSアンテナから本機を通してテレビなどにつないでいる場合は、本機の電源「切」時にテレビなどでBS/110度CSデジタル放送を受信できません。

デジタル放送地域設定

郵便番号	数字ボタンでお住まいの地域の郵便番号7桁を正しく入力します。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の番組情報を誤って受信したりしてしまいます。
県域	お住まいの地域を選びます。

文字スーパー表示

切	文字スーパーを表示しません。 放送局側で文字スーパーを消せない設定にしている番組では、[切]に設定しても文字スーパーを消せません。
第1言語	文字スーパー放送が行われているときに、第1言語や第2言語の文字スーパーを表示します。
第2言語	

ビデオ設定

自動チャプターマーク

入	通常は[入]に設定します。録画時に、画面と音声の変化(本編とCMの切り換わりなど)から自動的にチャプターマークを付けます。ただし、必ずしも正確なものではありません。LAN録画／LANムーブしたタイトルや変化の少ない番組では、約6分間隔でマークを付けます。
切	

スポーツ延長対応

30分	本機がスポーツ延長と検知した場合に、日時指定予約や、番組表からの録画予約で、[延長]に時間を設定した予約に対し、録画時間を延長します。
60分	
120分	
切	録画時間を延長しません。

番組追跡録画

入	通常は[入]に設定します。番組放送の開始時刻や終了時刻が変更になったときに、録画時間を自動的に修正します。
切	

録画モード自動変換

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100

入	通常は[入]に設定します。SR などのアイコンがついたタイトルについて、録画後電源「切」時に、自動で録画予約設定時の録画モードに変換します(14ページ)。
切	

グループ名設定

タイトルを分類するためのグループ名をお好みに変更できます。

二重音声記録

主音声	次の場合に、主音声／副音声の含まれるタイトルの音声を選びます。 • 録画したモード以外でダビングをするとき。 • おでかけ転送*用動画ファイルを録画後に作成するとき。 なお、録画時は、主音声／副音声どちらに設定されていても、すべての音声を記録します。
副音声	

* 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。

ご注意

- 録画時におでかけ転送用動画ファイルを同時作成する場合、転送用動画ファイルの音声は主音声になります。

外部入力録画横縦比

16:9	外部入力(映像)から録画やダビングするとき、映像サイズを16:9や4:3の横縦比にします。
4:3	

字幕焼きこみ

入	[入]を選ぶと、次の場合に、DRモードで録画した字幕付きのタイトルに字幕を焼きこみます。焼きこんだ映像からは字幕を削除できません。 • DR以外のモードでダビングするとき。 • おでかけ転送*用動画ファイルを録画後に作成するとき。
切	

* 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。

ご注意

- 録画時におでかけ転送用動画ファイルを同時作成する場合、転送用動画ファイルに字幕は焼きこまれません。

予約録画「録画先」初期値

本体HDD	録画先の初期値を、本機のハードディスクまたは外付けハードディスクのどちらかに設定します。
USB HDD	

BD/DVD視聴設定

BD/ DVDメニュー言語

言語コード指定	「言語コード一覧」(127ページ)を参照して、言語コードを入力します。

音声言語

オリジナル	ディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
言語コード指定	「言語コード一覧」(127ページ)を参照して、言語コードを入力します。

字幕言語

言語コード指定	「言語コード一覧」(127ページ)を参照して、言語コードを入力します。

BDインターネット接続

許可する	[許可する]を選ぶと、BD-LIVE機能によるインターネット接続を許可します。
許可しない	

おでかけ転送設定

おでかけ転送機器

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

ウォークマン／nav-u(USB)	おでかけ転送用動画ファイルを作成するとき、どの機器に合わせた形式で作成するかを選びます。
PSP/PS Vita(USB)	
携帯電話(USB)	[スマートフォン／タブレットPC]に設定すると、録画予約設定画面の[ワンタッチ転送]は[自動転送]になります。
スマートフォン／タブレットPC	

高速転送録画

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

入	[入]を選ぶと、録画時におでかけ転送用動画ファイルを作成します。 [切]の場合でも、録画予約設定画面の[ワンタッチ転送]または[自動転送](17ページ)で[する]を選ぶと作成します。
切	

録画モード

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

自動	録画時の録画モードに合った画質を自動で調整し、おでかけ転送用動画ファイルを作成します。 **[PSP/PS Vita(USB)]設定の場合は** DR/XR/XSRモード:VGA1.0M。 SR/LSRモード:QVGA768k。 LR/ERモード:QVGA384k。 **[ウォークマン/nav-u(USB)]/[携帯電話(USB)]設定の場合は** DR/XR/XSR/SR/LSRモード:QVGA768k。 LR/ERモード:QVGA384k。 **[スマートフォン/タブレットPC]設定の場合は** DR/XR/XSRモード:VGA2.0M*。 SR/LSRモード:VGA1.0M。 LR/ERモード:QVGA768k。
VGA2.0M*/ VGA1.0M	約30万画素の高画質で作成します。
QVGA768k/ QVGA384k	約7.5万画素の高画質で作成します。

* VGA2.0Mの場合、約4時間25分を超えるおでかけ転送用動画ファイルは、生成可能なサイズを超えるため作成できません。
VGA1.0Mでは、約8時間まで作成できます。

ちょっと一言

- お使いの機器によっては対応していない録画モードがあります。対応していない録画モードを設定して転送した場合は、画面の指示に従ってモードを変更してください。

ワンタッチ転送 更新転送

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510

切	更新転送しません。ワンタッチ転送をすると、対象タイトルを録画日の古いものから順番に転送します。
最新3日間分 最新1週間分 最新2週間分	ワンタッチ転送対象タイトル(ワンタッチ転送リストの内容)は指定した日にち分のみとなり、それに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは削除またはおかえり転送されます。

フォト設定

表示モード

ノーマル	写真全体を表示し、余白には黒帯を表示します。
ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は[ノーマル]と同様に表示します。

スライドショーの速さ

3段階の速さから、お好みに設定してください。

スライドショーの効果

入	[入]を選ぶと、効果を付けて次の写真に切り換わります。
切	

x-Pict Story HD日時情報表示

入	通常は[入]に設定します。ビデオ作品の効果として日時情報を表示します。
切	

サンプル表示

入	通常は[入]に設定します。ホームメニューの[フォト]の列にサンプルアルバムを表示します。
切	

本体設定

現在時刻/時刻設定

地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を正しく受信している場合は、正しい時刻を自動的に設定し、表示します。時刻を自動で設定できなかった場合に、手動で設定します。

本体表示の明るさ

明	表示窓とランプは明るく点灯します。
暗	表示窓とランプは暗く点灯します。消費電力を軽減できます。
消灯	電源「入」時に表示窓が暗く点灯します。ただし、動画や写真の再生時には表示窓は消灯します。ランプは暗く点灯します。消費電力を軽減できます。

自動画面表示

入	通常は[入]に設定します。番組を切り換えたときにタイトルを表示したり、映像モードや音声モードが切り換わるときに、画面上で自動的にその情報を表示したりします。
切	

スタンバイモード

瞬間起動	最大1日6時間の時間帯限定で、すぐに起動できる待機状態にします。起動後は、すばやくチャンネル切り換えや入力切り換えなどができます。 さらに、電源「切」のときでも本機前面のUSB端子からUSB機器を充電できます。 **学習**：よく使う時間帯を本機が自動的に選びます。学習効果が反映されるのに1週間程度かかります。 **時間帯指定**：すぐに起動したい時間帯を2時間ごとに最大6時間まで手動で設定できます。
標準	お買い上げ時に設定されているモードです。
低消費待機	待機状態のときの消費電力を抑えます。リモート録画予約やHDMI機器制御の高速連動はできません。

ちょっと一言

- [スタンバイモード]を[低消費待機]にしている場合、次のときは自動的に[標準]に設定されます。
  - [リモート機器登録]をしたとき(47ページ)。
  - 無線LAN*で[サーバー機能]を[入]に設定したとき(97ページ)。

* 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100。

ご注意

- [瞬間起動]で、すぐに起動できる待機状態のときはファンが回ることがあります。また、本機のハードディスクが動作することもありますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- [瞬間起動]に設定した場合、[標準]よりも消費電力は増加します。

自動電源オフ

入	[入]を選ぶと、操作しない状態が3時間続くと、自動で待機状態になります。
切	

リモコンモード

「本機のリモコンで他のソニー製機器が動作してしまうときは」(101ページ)をご覧ください。

ソフトウェアアップデート

自動	通常は[自動]に設定します。デジタル放送を受信できる場合、ソフトウェアのバージョンアップデータを受信し、本機の電源が「切」のときに自動的に本機のソフトウェアを更新します。
切	

外付けUSB HDD設定

USB HDD登録	USB HDD専用端子につないだ外付けハードディスクを登録します。
USB HDD登録確認／削除	外付けハードディスクの登録を解除します。
USB HDD動作診断	本機につないだ外付けハードディスクが正しく動作するか診断します。

カード情報

カードID番号などを表示します。カードを本機から取り出さなくても、カードID番号を確認できます。

本体情報

本機ソフトウェアのバージョンと、MACアドレスを確認できます。

ソフトウェアライセンス情報

本機で使われているソフトウェア使用許諾契約を確認できます。

HDMI機器制御設定

HDMI機器制御

入	ブラビアリンクを使うときに[入]を選びます。
切	

高速連動

入	[入]を選ぶと、本機の電源が「切」のとき、テレビの電源を「入」にすると、本機が起動待機状態になります。テレビの電源を「切」にすると、本機の起動待機状態は解除されます。
切	

ちょっと一言

- [スタンバイモード](94ページ)が[低消費待機]の場合、[高速連動]を[入]にすると、[スタンバイモード]は自動的に[標準]に設定されます。

ご注意

- 起動待機状態では、電源が入っている状態と同等の消費電力になり、同時にファンが回り続けます。

レコーダー→テレビ電源連動

入	本機の電源を入れると、テレビの電源も「入」になり、テレビの入力を本機につないだ入力に切り換えます。
切	本機の電源を入れると、テレビの入力を本機につないだ入力に切り換えます。

ちょっと一言

- [HDMI機器制御]を[入]にすると[レコーダー→テレビ電源連動]も自動的に[入]になります。

年齢制限設定

暗証番号設定

視聴年齢制限のための暗証番号を設定または変更できます。次の制限を利用するときに必要になります。

- BS/CSデジタル視聴年齢制限
- HDDタイトル視聴年齢制限
- BD視聴年齢制限
- DVD視聴年齢制限
- インターネットサービス利用制限

暗証番号を設定／変更するには

暗証番号設定を選んだときに表示される画面の説明に従って設定してください。
初めての場合、新しい暗証番号を入力します。
変更の場合、現在の暗証番号を入力してから、新しい暗証番号を入力します。

登録した暗証番号を忘れてしまったときは

[設定初期化]＞[お買い上げ時の状態に設定]＞[年齢制限設定]＞[はい]を選ぶと以前の暗証番号が削除されます(98ページ)。

BS/CSデジタル視聴年齢制限

視聴年齢制限付き番組の年齢制限を設定します。制限した放送は、[暗証番号設定](95ページ)で設定した暗証番号を入力しないと、視聴できません。年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

HDDタイトル視聴年齢制限

インターネットサービスからダウンロードしたタイトルや、LAN録画／LANムーブしたタイトル、BS/110度CSデジタルで録画したタイトルを、見る人の年齢によって、再生などができないように制限できます。
タイトルの制限レベルによって、制限方法が異なります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

視聴年齢制限を一時的に解除するには、録画リストに表示されているタイトルを選び、《オプション》ボタンを押して[視聴制限一時解除](135ページ)を選びます。

- 20歳未満制限付きタイトルの場合
  本機で視聴年齢制限を設定すると、録画リストなどに表示されなくなります。
- 19歳未満制限付きタイトルの場合
  本機で[19歳]以外の視聴年齢制限を設定すると、録画リストなどに表示されなくなります。
- 18歳未満制限付きタイトルの場合
  本機で[19歳]や[18歳]以外の視聴年齢制限を設定すると、録画リストなどに表示されなくなります。
- 上記以外の制限付きタイトルの場合
  録画リストなどには表示されますが、本機の設定年齢以上の制限付きタイトルは、暗証番号を入力しないと再生、ダビング、おでかけ転送*などができません。
- 制限のないタイトルの場合
  本機で視聴年齢制限を設定しても、制限できません。

* 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。

BD視聴年齢制限

BD-ROMには、見る人の年齢によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し替えたりして再生します。年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。[年齢指定]を選ぶと、0歳から255歳までの年齢を入力できます。

DVD視聴年齢制限

DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル(見る人の年齢など)によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し替えたりして再生します。レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

インターネットサービス利用制限

入	[入]を選ぶと、インターネットサービスのページを表示するさいに、暗証番号(95ページ)の入力が必要になります。
切	

通信設定

データ放送通信設定

セキュリティサイト自動接続	**入**:確認ダイアログを表示しないで、セキュリティサイト接続や、セキュリティサイトから移動します。 **切**:セキュリティサイト接続の確認ダイアログを表示します。
証明書のダウンロード確認	**入**:放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 **切**:確認ダイアログを表示しません。
証明書の自動ダウンロード	**入**:[証明書のダウンロード確認]が[切]の場合に、放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。 **切**:自動ダウンロードしません。

ネットワーク設定

☞次のページも参考にしてください。
- 無線LANのセキュリティについて(126ページ)。

画面の指示に従って操作してください。

有線LAN*1 無線LAN*1	ネットワークにつなぐ方法を選びます(37ページ)。
アクセスポイント*1	**WPS(プッシュボタン方式)**:アクセスポイントがWPSに対応しているときに選びます。アクセスポイントのボタンを押すだけで自動的にアクセスポイントを登録できます。AOSSボタンでWPSに対応しているものもあります。 **検索して登録**:検索結果一覧から、使いたいアクセスポイントを選び、暗号キーを入力するとアクセスポイントが登録できます。 **登録内容を直接入力**:アクセスポイントのSSID／セキュリティ方式／暗号キーを入力するとアクセスポイントが登録できます。 **WPS(PINコード方式)**:本機に表示されるPINコードをアクセスポイントへ入力することで登録できます。
IPアドレス／プロキシサーバー設定	**自動設定**:ルーターやプロバイダーのDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。通常はこの設定にしてください。 **詳細設定**:IPアドレス設定／DNS設定を自動や手動で設定するときに選びます。 • IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ。 • プライマリDNS／セカンダリDNS*2 *3。 • プロキシサーバー／アドレス／ポート。

ちょっと一言

- SSID、WEP/WPAキーは、アクセスポイント(無線LANルーター)に接続するときに必要なセキュリティ情報の一種です。一般的には、パソコンを使ってアクセスポイントに設定します。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください*1。
- WEPキーを使って無線LANに接続する場合、アクセスポイントへの接続が成功しても、通信ができないことがあります。WEPキーが、アクセスポイントの設定と合っているか、確認してください*1。

ご注意

- ネットワーク設定を[無線LAN]と[有線LAN]で切り換えた場合、ネットワークにつながらなくなることがありますので、[ネットワークの設定確認と接続診断]を行ってください*1。
- 無線LANのセキュリティ設定を[セキュリティなし]にすると、本機のホームサーバー機能は使えません*1。

*1 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100。

*2 自動取得は、DHCP利用時のみ有効となります。IPアドレスの値を手動で入力したときはDNSの値も手動で入力する必要があります。

*3 [DNS設定]を[手動]にすると、プライマリDNSとセカンダリDNSのアドレスを手動で設定できます。この場合、必ずプライマリDNSは入力してください。入力しない場合ネットワークが正しく設定されません。

ネットワークの設定確認と接続診断

詳細確認	現在の設定を表示します。
接続診断	ネットワークが正しく接続されているか診断します。

リモート機器設定

リモート機器登録	リモート録画予約の登録パスワードを本機に設定します。登録パスワードの入力方法は、本機の画面を見ながらリモコンのボタン操作により入力します。 登録パスワードはパソコンやスマートフォンからアクセスしたサービスの画面に表示されます。
登録リモート機器一覧	本機に登録されている機器などを一覧で確認できます。登録した機器の情報確認や削除も行えます。

ホームサーバー設定

サーバー機能	**入**:本機のホームサーバー機能を有効にします。 **切**:本機のホームサーバー機能を無効にします。
外出先視聴	[サーバー機能]が[入]のときに[許可する]を選ぶと、外出先視聴機器からの接続を許可します。
サーバー名	本機の機器名称を設定します。ホームサーバー機能対応機器から本機にアクセスしたときに、ホームサーバー機能対応機器側でこの名前が表示されます。
クライアント機器登録方法	**自動**:本機にアクセスしてきたクライアント機器を自動的に登録します。 **手動**:本機にアクセスできるクライアント機器を手動で登録します。 詳しくは、「クライアント機器について」(97ページ)をご覧ください。
登録機器一覧	ホームサーバー機能の利用を許可したクライアント機器の確認や削除ができます。外出先視聴にも対応したクライアント機器は機器情報にアプリ名が表示されます。
未登録機器一覧	ホームサーバー機能の利用を許可していないクライアント機器の[機器登録](利用許可)や確認、削除ができます。

クライアント機器について

ホームサーバー設定のクライアント機器とは、本機に接続してLAN経由でタイトルを再生したり、本機に録画予約したりする機器のことです。
クライアント機器は10台まで登録できます。そのうち、外出先視聴は6台のみ登録可能です。

クライアント機器を確認／削除するには
登録済みのクライアント機器は[登録機器一覧]で確認／削除できます。

1 《ホーム》ボタンを押し、ホームメニューの左端にある[設定]＞[通信設定]＞[ホームサーバー設定]を選び、《決定》ボタンを押す。
2 [登録機器一覧]を選び、《決定》ボタンを押す。
3 機器を選び、《決定》ボタンを押す。
機器名、MACアドレス、アプリ名(外出先視聴に対応した機器のみ)を確認できます。
登録を削除するには、[機器削除]を選び《決定》ボタンを押します。
[すべて削除]を選ぶと、表示されているすべての機器を削除できます。
削除した機器は、[未登録機器一覧]に表示されます。

クライアント機器を手動で登録するには
かんたんネットワーク設定(39ページ)を行うと、接続してきたクライアント機器を自動で登録しますが、接続してきた機器を選んで許可を与えることもできます。

1 《ホーム》ボタンを押し、ホームメニューの左端にある[設定]＞[通信設定]＞[ホームサーバー設定]を選び、《決定》ボタンを押す。
2 [クライアント機器登録方法]＞[手動]に設定する。
3 [サーバー機能]＞[入]に設定する。
4 クライアント機器の登録準備として、接続したい機器を操作して本機に接続を試み、[未登録機器一覧]に表示する。
5 クライアント機器を登録する。
[未登録機器一覧]から接続する機器を選び、[機器登録]を選びます。
接続候補機器が多すぎて接続したい機器が表示されないときは、[未登録機器一覧]から不要な機器を削除し、手順4から試してください。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

コーナー情報取得設定

操作履歴送信	[入]を選ぶと、再生や録画に関する操作履歴情報の一部をサーバーに自動で送信します。
コーナー情報自動取得	[操作履歴送信]が[入]のとき、設定できます。[入]を選ぶと、コーナー情報を自動でダウンロードします。

かんたん設定

かんたん初期設定

本機を使ううえで必要な設定です。引越しやテレビの買い替え時などに再設定します。

- **地上デジタル放送受信設定**
郵便番号を入力してチャンネル設定します。<ブラビア>から連動できる場合もあります。
- **BS/CSデジタル放送受信設定**
- **瞬間起動設定**
電源を入れてから操作できるまでの時間を短くできます。
- **リモコン設定**
テレビの操作も本機のリモコンで行う場合に設定します。
- **番組表取得**
2日分の番組表を取得できます。
- **時刻設定**
地デジ／BSが受信できていれば表示されません。

かんたんネットワーク設定

ネットワーク機能(37ページ)を使うための設定です。

- **ホームサーバー設定**
  ホームサーバー機能を使用するための設定画面で[はい]を選ぶと、次のとおり自動で設定されます。
  サーバー機能:[入]に設定されます。
  クライアント機器登録方法:[自動]に設定されます。
  外出先視聴:[許可する]に設定されます。
- **ネットワーク設定**
  IPアドレス/DNS:DHCPサーバー機能を使って、自動で割り当てられます。
  プロキシサーバー:[使用しない]に設定されます。
  無線LAN使用時は、アクセスポイントを[WPS(プッシュボタン方式)]、[検索して登録]、[登録内容を直接入力]のいずれかで登録します。
  IPアドレスの手動設定やWPS(PINコード方式)入力など、詳細な設定をする場合は、[設定]>[通信設定]>[ネットワーク設定]で行えます(96ページ)。

かんたん機能設定

My！番組表、おでかけ転送する機器*、おでかけ転送 高速転送録画*、モニター別画質設定を行います。

* 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。

設定初期化

お買い上げ時の状態に設定

設定ごとに、お買い上げ時の設定に戻せます。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

ご注意

- [リモコンモード]や[外付けUSB HDD設定]は、お買い上げ時の設定には戻りません。[本体設定](93ページ)で、それぞれ設定してください。

学習情報の初期化

おまかせ･まる録や二度録り回避、瞬間起動などで本機が学習した情報を初期化します。

個人情報の初期化

本機を廃棄したり譲渡したりするときは、次の個人情報などのデータを本機から削除することを強くおすすめします。

- データ放送で登録した個人情報やポイントなど。
- 視聴年齢制限レベルと暗証番号。
- 語句登録した単語。
- キーワード履歴。
- よく録る人名/よく録る番組、録れたて人名/録れたて番組のキーワード。
- 検索履歴。
- お知らせ。
- すべてのルートCA証明書。
- インターネットサービスに機器を登録したときに発行される機器登録(識別)情報など。

暗証番号を設定しているときは、暗証番号の入力画面が表示されます。

ご注意

- 個人情報などの登録･設定データは項目ごとに削除できません。一度初期化すると、すべての登録･設定データが削除されます。
- [通信設定](96ページ)で入力したIPアドレスを始めとする通信接続情報や、[放送受信設定](90ページ)で入力した県域、郵便番号などの情報は、削除されません。[お買い上げ時の状態に設定](98ページ)でそれぞれの設定を選んで削除してください。

HDD初期化

本機のハードディスクを初期化します。初期化すると以下が削除され、元に戻すことができません。

- 録画したタイトル。
- 写真。
- x-Pict Story HDで作成したビデオ作品。
- x-ScrapBook作品。
- BONUSVIEWやBD-LIVEで使うBDデータ(ローカルストレージ)(48ページ)。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。

ブラビアリンクを設定したい

＜ブラビア＞とブラビアリンクに対応した機器をHDMIケーブルでつないで、＜ブラビア＞のリモコンひとつで簡単操作ができます。

本機を操作できる＜ブラビア＞について

＜ブラビア＞の機種によって使える機能が異なります。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bravialink/

ブラビアリンクに対応している機器

リンクメニュー対応

左のロゴが表記されている機器で、ブラビアリンクを使えます。
詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bravialink/

このロゴが表記されていても、一部の＜ブラビア＞のマルチリモコンでは、ご利用いただけない機能があります。

- X7000 / X5050 / X5000 / W5000 / V5000シリーズ。
  これらの機種は、テレビのリモコンでの操作はできません。本機付属のリモコンで操作してください。
- ZX5 / W5 / F5シリーズ、KDL-32JE1 / KDL-32J1、V5 / XR1 / X1 / W1 / ZX1 / F1 / V1シリーズ。
  これらの機種は、リンクメニューのみ利用できます。「見る」、「見て録」、「予約する」は、利用できません。

ブラビアリンクの接続・設定をする

HDMIケーブルで接続すれば、特に設定することなく利用できます。利用できない場合、下記を確認してください。

- [HDMI機器制御]が[入]になっているか？（94ページ）
- テレビ側のHDMI機器制御の設定を確認してください。
  詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

＜ブラビア＞のリモコンに本機の登録が必要な場合

お使いの＜ブラビア＞の機種がKDL-32J5 / 26J5 / 22J5 / 19J5 / 26J1 / 20J1 / 46V3000 / 40V3000の場合、本機のリモコンモードがお買い上げ時の設定（BD3）以外のときは、＜ブラビア＞のリモコンに本機のリモコンモードの登録が必要です。 登録方法は、＜ブラビア＞の取扱説明書または下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bravialink/

＜ブラビア＞のリモコンで操作する

＜ブラビア＞のリモコンの見る／予約する／見て録／リンクメニューボタンで操作します。
使えるボタンは機種によって異なります。下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bravialink/

ご注意

- 次の条件や放送では、「見て録」はできません。
  - 本機のハードディスクの残量が不足している。
  - デジタル放送のラジオ放送、データ放送。
  - コピー制御信号により録画できない番組。
  - 本機で受信できない番組。
  - 未購入の番組。
  - 視聴年齢制限を超えた番組。
- 「見て録」中の放送時間の変更には対応できません。
- 本機の次の機能を利用しているときに「見て録」を行うと、利用中の機能は停止します。
  - まるごとDVDコピーの読み込み。
  - タイトル再生／タイトル編集。
  - 録画モード自動変換中*1。
- 次の機能を利用しているときは、「見て録」はできません。
  - 複数番組同時録画（BDZ-E510では録画）。
  - ダビング。
  - おでかけ／おかえり転送*2。
  - x-Pict Story HD作成。
  - 思い出ディスクダビング。
  - まるごとDVDコピーの書き込み。
  - 手動で録画モード変換中*1。

*1 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100。
*2 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。

本機とテレビの電源「入」、「切」連動について

本機やテレビのHDMI機器制御の設定によって、電源操作を連動します。

- ＜ブラビア＞のリモコンで電源を切ると、本機の電源も切れます。
- 本機で次の操作をすると、自動的にテレビの電源が入り、本機の映像に切り換わります。
  - 次のリモコンのボタンを押す。
    《電源》／《ホーム》／《再生》／《番組表》／《らくらくスタート》／《録画リスト》
  - ディスクの挿入。

本機のリモコンの設定を変更したい

本機のリモコンの《TV操作》ボタンを使うと、本機のリモコンに登録したデジタルテレビを操作できるようになります。

テレビ操作に利用できる主なボタン

登録したテレビのリモコンにないボタンは利用できません。機種によっては同じボタンがあっても操作できないことがあります。

ボタン	<ブラビア>	他社製デジタルテレビ
• TV電源 • カラーボタン • 入力切換 • 番組表 • ↑↓←→、決定 • 戻る • ホーム • 音量＋／－ • チャンネル＋／－ • 消音 • *d*連動データ • 音声切換 • 字幕切換 • 放送切換(地デジ／BS／CS) • 数字ボタン	○	○
• オプション • 前／次 • 10秒戻し／15秒送り • 早戻し／早送り • 再生 • 録画 • 一時停止 • 停止 • 画面表示 • 番組説明	○	×

本機のリモコンでテレビを操作したい

1 《TV操作》ボタンを押す。

《TV操作》ボタンのランプが点灯している間は、テレビの操作ができます。

最後の操作から、約30秒でボタンのランプは消えます。

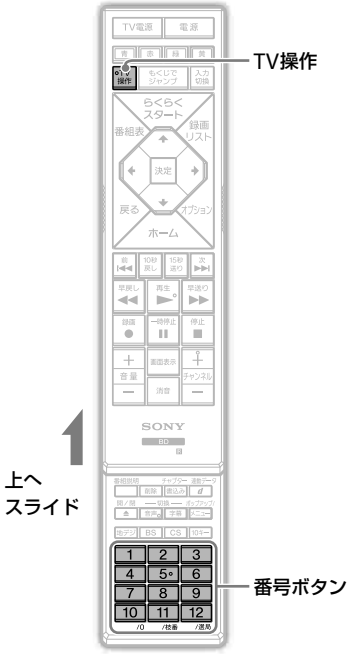
本機のリモコンにテレビを登録したい

お使いのテレビのメーカーを設定すると、《TV操作》ボタンでテレビを操作することができます。
お買い上げ時は、ソニーに設定されています。

1 登録したいテレビのメーカー番号を下の表で確認する。

2 《TV操作》ボタンを押しながら、メーカー番号の番号ボタンを1秒以上押す。

指を離して《TV操作》ボタンのランプが2回点滅すると、設定が完了します。



メーカー	メーカー番号
ソニー	1*
パナソニック	2
シャープ	3
東芝	4　5
日立	6
三菱	7
パイオニア	8　9
LG	10

* 《TV操作》ボタンのお買い上げ時の設定です。テレビに R マークが付いています。

メーカー番号が複数あるときは、順に試して操作できる番号をお選びください。メーカーの記載がない場合は使えません。

本機のリモコンで他のソニー製機器が動作してしまうときは

他のソニー製機器のリモコンモードが、本機と同じに設定されているためです(お買い上げ時の設定:BD3)。
以下、どちらかの方法でリモコンモードを変更してください。

- 他機器のリモコンモードを変更する
  他機器側の取扱説明書を参照してください。
- 本機側のリモコンモードを変更する
  下記の「リモコンモードを変更する」を行ってください。

リモコンモードを変更する(本体、リモコン)

他機器と重複しないように、本機のリモコンモードをBD1～BD6に設定します。
BD1はBDプレーヤー、BD4はBDポータブルプレーヤーでも使用しています。

1 本体側のリモコンモードを変更する。

《ホーム》ボタンを押します。
ホームメニューの左端にある[設定]>[本体設定]>[リモコンモード]を選び、《決定》ボタンを押します。
設定したいリモコンモードを選びます。

2 リモコン側のリモコンモードを変更する。

画面に従って、本機のリモコンで、手順1で選んだリモコンモード番号と同じ《1》～《6》の数字ボタンを押しながら、《決定》ボタンを1秒以上押します。

3 《決定》ボタンを押す。

《決定》ボタンを押さないまま3分経過すると、本体側のリモコンモードは元に戻ります。

変更できない場合は、もう一度手順2を行ってください。

ご注意

- リモコンと本体のリモコンモードが一致せず操作できない場合は、手順2でBD1～BD6のリモコンモードを順に設定し、操作をお試しください。

本機のリモコンで本機の操作ができなくなったときは

本機側とリモコン側のリモコンモードが一致していないと、リモコンで本機を操作できなくなります。
本機の電源を入れた状態でリモコンのボタンを押すと、本機の表示窓に、本機側のリモコンモード(BD1～BD6)のいずれかが表示されます。

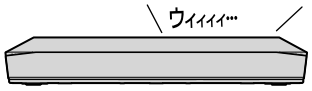
本機の表示例

本機のリモコンで、表示窓に表示された本機側のリモコンモード番号の数字ボタンを押しながら、《決定》ボタンを1秒以上押します。リモコン側のリモコンモードが変わります。

1. まず、確認してください

こんな場合は故障ではありません

**電源を切っているのに
ファンなどの動作音がする**



電源が「切」でも、次のような場合、本機が動作をすることがあります。

- 番組表データの取得時。
- 録画中（予約、x-おまかせ・まる録など）。
- ダビング中、ワイヤレスおでかけ転送中*1。
- ルームリンク、LAN録画／LANムーブなどLAN機能利用時。
- 瞬間起動設定時（瞬間起動の待機時）。
- ソフトウェアのアップデート時（113ページ）。
- コーナー情報の自動取得時。
- [HDMI機器制御設定]の[高速連動]を[入]に設定時。
- リモート録画予約機能の利用時。
- スカパー！ の無料視聴期間サービスの利用時。
- 録画モード変換中（自動／手動）*2。

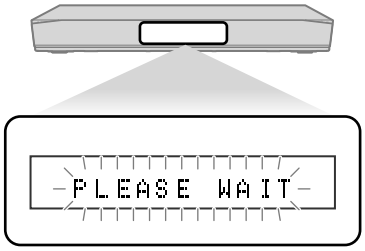
など

このような場合、内部で動作しているので音がすることがあります。

*1 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。

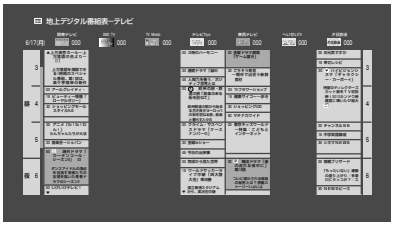
*2 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100。

**「PLEASE WAIT」と点滅表示され、
なかなか起動しない**



本機の起動中は、本体表示窓に「PLEASE WAIT」が点滅表示されます。
本機の起動には数十秒かかりますので、そのままお待ちください。
起動時間を短くするには、[瞬間起動]に設定してください（94ページ）。[瞬間起動]に設定すると、[標準]よりも消費電力は増えます。

番組表の全部または一部が表示されない



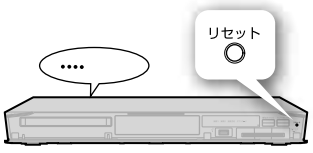
番組表は少しずつ取得します。視聴中の放送局や、電源を切っているときに各放送局から取得します。放送局ロゴも取得されるまでお待ちください。
下記のように番組表データがない場合は表示されません。

- 初めてのご使用時。
- 電源コードをコンセントから抜いていた。
- 放送を受信できていない。
- 地デジやBS/CSのアンテナが正しく接続されていない。

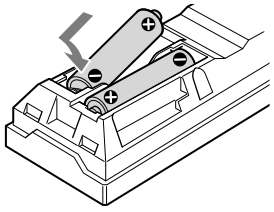
番組表を取得するには

- 電源を切っておく（一晩ほどお待ちください）。
- 表示させたい放送局をしばらく視聴する。
- 番組表表示中に、《オプション》ボタンを押して[番組表取得]を選ぶ。

操作を受け付けなくなった場合は



電源「切」にできない、本体表示窓が「Exxxx」や「SYSTEM ERROR」となっている場合、本機前面の扉を開き、《リセット》ボタンを押してください。
本体表示窓に「PLEASE WAIT」が点滅し、しばらくして表示が消えたら電源を入れ直してください。



リモコンの電池残量がなくなると、効きが悪くなったり、操作できなくなったりします。新しい電池に交換してください。

2. 本機のメッセージを確かめる

「表示窓の表示文字」(117ページ)もご覧ください。

表示窓	状態	対処方法
BD1～BD6	本機に設定されているリモコンモードです。リモコンと本機でリモコンモードが違う場合に表示します。	本機を操作するには、本機とリモコンのリモコンモードを合わせる必要があります(101ページ)。
CAN'T USE	ディスクが読み込めません。 ディスクが汚れているか、本機が対応していない種類のディスクや記録方式の可能性があります。	ディスクの汚れを清掃してください(9ページ)。 本機が対応しているディスクと記録方式を確認してください(122ページ)。
DISC FULL	ディスクがいっぱいです。	別の新しいディスクを入れてください。
E5001	本機の内部温度が上昇しています。	内部温度を下げるため電源を切りコンセントを抜いてください。切れない場合は、そのままコンセントを抜いてください。 本機を熱のこもりやすい所に設置しないでください。
Exxxx (xは任意の数)	異常を未然に防ぐため自己診断が働いています。	本機前面扉内の《リセット》ボタンを押してください。それでも改善されない場合、表示メッセージ「Exxxx」をソニーの修理相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。
FINALIZE	ディスクのファイナライズ実行中です(60、66ページ)。	しばらくお待ちください。完了するまで数分から数十分かかります。
NO DISC	ディスクが入っていません。	使うディスクを入れてください。
NO CARD	B-CASカードが入っていません／読み取れません。	付属のB-CASカードを入れてください、または差し直してください。
LINE	外部入力端子からの映像を表示しています。 入力映像がない場合は白画面が表示されます。	本機リモコンの《入力切換》ボタンを押すと、放送が表示されるようになります。
PLEASE WAIT	点滅中は起動の準備をしています。	そのままお待ちください。起動まで数十秒かかることがあります(102ページ)。
POWER OFF	点滅中は電源が切れる準備をしています。	そのままお待ちください。電源「切」まで数十秒かかることがあります(6ページ)。
SYSTEM ERROR	一時的な不具合の可能性があります。	本機前面扉内の《リセット》ボタンを押してください。それでも改善されない場合は修理相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。
UPDATE　xx%	ソフトウェア更新中です。操作できません。	表示中は絶対に電源コードを抜かないでください。
✉(お知らせ)	録画されていない場合など、本機からの状況をお知らせします(87ページ)。	確認するには、《ホーム》ボタンを押して、ホームメニューの左端にある[設定]＞[お知らせ]＞[本機からのお知らせ]でお知らせを選び、《決定》ボタンを押してください。
DATA	番組表を受信しています。	そのままお待ちください。
時計表示	省エネのため、操作時のみ表示されます。	[本体表示の明るさ]を[消灯]以外に設定している場合(93ページ)、↑↓←→や《決定》ボタンを押すと、5秒間時計が表示されます。
録画予約(点滅)	• 本機／外付けのハードディスクやBDの容量が不足しています。 • 録画可能なBDが入っていません。 • 録画可能な外付けハードディスクが接続されていません。	録画先の不要なタイトル(視聴済み／ダビング済など)を削除してください(49ページ)。 録画可能なBDや外付けハードディスクに交換してください。
ダウンロード (点滅)	インターネットサービスからのダウンロードがエラーになっています。	しばらくたってからもう一度ダウンロードを実施してください(46ページ)。 改善しない場合はルーター機器を再起動してください。

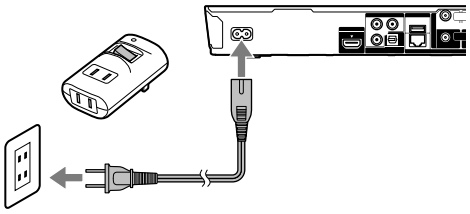
3. よくあるトラブルと解決方法

このページにはお問い合わせの多い内容を記載しています。詳細な事例については、106〜112ページをご覧ください。

電源を入れても動作しない

1 電源コードが接続されていることを確認する。

→ 本機後面側、コンセント側の両方を確認してください。



ご注意

- スイッチ付き電源タップをお使いのときは、電源タップの電源が「入」になっていることを確認してください。

2 リモコンの電池が入っていることを確認する。

→ リモコンの《TV操作》ボタンを押して、点灯することを確認してください。
点灯しない場合は、新しい電池で試してください。

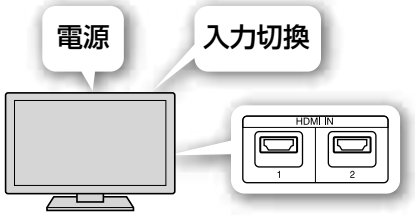
動作または動作音はするが、テレビに映像が表示されない

1 HDMIケーブルが、本機とテレビにしっかり接続されていることを確認する。

2 テレビの電源、本機の電源が入っていることを確認する。

3 本機をつないだテレビのHDMI端子(番号)を確認する(HDMI1など)。

→ テレビのリモコンで入力切換をして、本機をつないだHDMI端子に切り換えてください。



ご注意

- 入力を切り換えてから表示されるまで数秒かかることがあります。
- HDMIケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。つなぎ直してみてください。
- HDMIケーブルが断線している可能性があります。他のHDMIケーブルでつないでみてください。
- AVアンプなどを経由して接続している場合は、AVアンプについても上記の手順1〜3を確認してください。

それでも解決しないときは

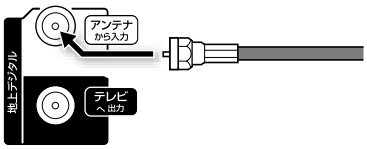
1 リモコンの■《停止》ボタン(118ページ)を10秒以上押してください。
一番低い解像度に設定されるため、ホームメニュー＞[設定]＞[映像設定]＞[HDMI出力解像度設定]＞[変更する]から、通常は[自動]を選んでください。
映像が乱れる場合は、最適な解像度に設定してください。

2 本機前面の扉を開き、《リセット》ボタンを押してください。
本体表示窓に「PLEASE WAIT」が点滅し、しばらくして表示が消えたら電源を入れ直してください。

放送が受信できない

1 本機にアンテナケーブルが正しく接続されていますか？

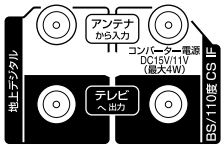
→ 別冊の「らくらくスタートガイド」をご覧になり、接続してください。



2 アンテナケーブルが、壁から「アンテナから入力」へ、「テレビへ出力」からテレビへ接続されていますか？

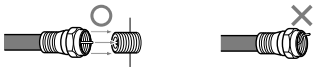
→「地上デジタル」と「BS/110度CS」を間違えていませんか？

→「アンテナから入力」と「テレビへ出力」を間違えていませんか？



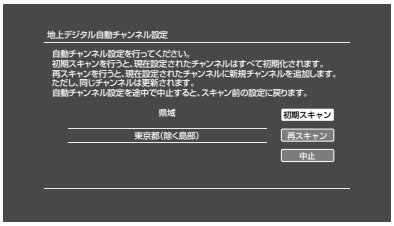
ご注意

- アンテナケーブルの芯線が曲がると、外周部の金属部分に触れてショートの原因となります。
- 本機で番組の視聴や録画をするには、本機へのアンテナ接続が必要です。テレビでも番組を視聴する場合は、テレビにもアンテナを接続してください。



3 地上デジタル放送のチャンネルスキャンを行う。

→ 本機の電源を入れ、ホームメニュー＞[設定]＞[放送受信設定]＞[地上デジタル自動チャンネル設定]で、お住まいの県域に合わせて初期スキャンを行ってください。



ご注意

- 地上デジタル放送は接続し直しただけでは受信できません。必ず初期スキャンを行ってください。

本機で受信した放送が乱れたり、録画した番組が途切れたりする

1 受信状態（アンテナレベル）を確認する。

確認したいチャンネルを選局し、ホームメニュー＞[設定]＞[放送受信設定]＞ [地上デジタルアンテナレベル]または[BS/CSデジタルアンテナレベル]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

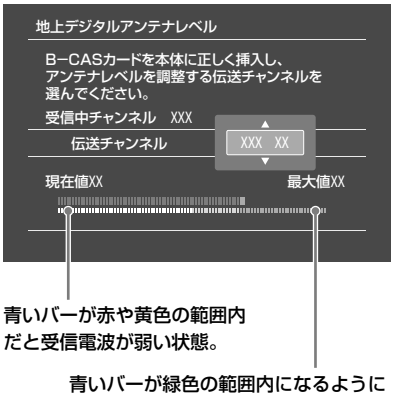
- [地上デジタルアンテナレベル]の画面で[伝送チャンネル]を変更すると、各チャンネルのアンテナレベルを確認できます。
- [BS/CSデジタルアンテナレベル]の画面で《BS》/《CS》ボタンを押すと、BS/CSそれぞれのアンテナレベルが確認できます。
- アンテナレベルが弱い場合、アンテナケーブルの入力と出力を間違えていることがあります。

2 アンテナレベルの値が緑色の範囲になるように、アンテナの向きを調整したり、アンテナケーブルに断線がないか確認する。

断線している場合はアンテナケーブルを交換してください。

106 ～107ページの事例もご確認ください。

地上デジタルアンテナレベルの表示例



それでもアンテナレベルが上がらないときは

お住まいの環境によっては、放送波にノイズが入るなどの影響を受け、放送波が一時的に弱くなっていると考えられます。お近くの電気店、またはマンションなどの共同受信システムではマンション管理会社（または管理人や管理組合など）へのご相談をおすすめします。

本書では次の項目のよくあるトラブルと解決方法を記載しています。
解決方法がない場合は、「4. それでも困ったときは」(112ページ)をご覧ください。

映像

映像が出ない、乱れる。

- 初めに「動作または動作音はするが、テレビに映像が表示されない」(104ページ)を確認してください。
- テレビが本機の入力に切り換わっているか確認してください。
- 本体表示窓のHDMI表示が点灯しないときは(117ページ)、HDMIケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。本機とテレビのHDMIケーブルを差し直してください。
- テレビとの間にAVアンプや変換機など他の機器をつないでいる場合は、直接つないでみてください。
- 次の場合には映像／音声が一瞬途切れたり、映像が乱れたりすることがあります。
  - 2層以上のBD/DVDを再生する場合、レイヤー(層)が切り換わるとき。
  - DVD再生時などでプログレッシブ映像に切り換わるとき。
  - 24p True Cinemaに対応したBD-ROMや、x-Pict Story HDやx-ScrapBookの再生をするとき。
- ホームサーバー機能を無線LAN(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100)でお使いのときは、有線LANに切り換えてみてください。
- 放送受信状態やハードディスクの特性上、ごくまれに発生することがあります。複数回発生する場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。

本機の入力端子につないだ機器の映像が映らない。

- 《入力切換》ボタンを押して、本体表示窓に「LINE」(音声／映像入力端子)を表示させてください。
- 他機器で再生や受信している映像に、著作権保護のための信号が含まれています。この場合は、プレーヤーやチューナーなどの機器をテレビに直接つないでください。

本機の入力端子につないだ機器の画面の横縦比がおかしい。

- 録画する映像に合った映像サイズを設定してから録画してください(92ページ)。
- テレビ側の設定や、本機の[設定]＞[映像設定]で[テレビタイプ]や[画面モード]の設定を確認してください(88ページ)。放送や映像によっては、設定にかかわらず画面の左右や画面の上下に黒帯が入ることがあります。

テレビの受信

本機で受信しているテレビ放送が映らない。

- 初めに「放送が受信できない」(105ページ)、「本機で受信した放送が乱れたり、録画した番組が途切れたりする」(105ページ)を確認してください。
- 地上デジタル放送が受信できなくなった場合は、[設定]＞[放送受信設定]＞[地上デジタル自動チャンネル設定]で[初期スキャン](90ページ)を選んで受信設定してください。
- CATVの場合、BS/110度CSデジタル放送や地上デジタル放送は、本機で直接受信できる方式(パススルー)と、CATVチューナーで受信し、本機に音声／映像ケーブルで入力する方式(トランスモジュレーション等)があります。
  ご利用のCATV局に、それぞれの放送が「直接受信できるかどうか」をお問い合わせください(82ページ)。

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の番組が映らない。

- BS/CSデジタルアンテナレベルの表示を見ながら、BS/110度CS対応アンテナの向きを調整してください(105ページ)。
- 降雨など天候が悪い場合や雪やゴミがアンテナに付着していると、電波妨害により放送が映らなくなったり、映像や音声が乱れたりします。
- [設定]＞[放送受信設定]＞[BS/CSデジタルアンテナ電源](91ページ)を[自動]に設定していても番組が映らない場合は、BS/110度CS対応アンテナがショートしている可能性があります。本機とテレビの電源を入れ直してください。
- 分波器や分配器には電流通過型をお使いください。それ以外の場合は、BS/CSアンテナに電源が供給されず、放送が映りません。
- アンテナレベルを確認してください(105ページ)。マンションなどの共同受信システムでアンテナレベルが低いときは、共同受信システムに問題がないかを、マンション管理会社(または管理人や管理組合など)に確認してください。

本機で受信しているテレビ放送の映像が乱れる。

- アンテナレベルを確認してください(105ページ)。アンテナレベルが低い場合、電波の送信元に近い地域では地上デジタル放送の電波が強く、他のチャンネルが干渉を受けて放送がうまく映らないことがあります。[設定]＞[放送受信設定]＞[地上デジタルアッテネーター](90ページ)を[入]に設定して確認してください。また、お近くの電気店やマンション管理会社などへご相談ください。
- アンテナレベルを確認してください(105ページ)。アンテナレベルが低く電波が弱い場合は、別売のアンテナブースターで電波信号の増幅を試すなど、お近くの電気店やマンション管理会社などへご相談ください。

テレビチャンネルを切り換えることができない。

- 録画中*は、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見たい場合は、テレビ側で見たいチャンネルに切り換えてください。テレビ側でチャンネルが切り換えられない場合には、テレビの取扱説明書をご覧ください。
  * BDZ-EW1100 / EW510は2番組録画中。
    BDZ-ET2100 / ET1100は3番組録画中。
- 本機のリモコンの《入力切換》ボタンを押して、映像が映るように入力を地上デジタル放送またはBS/110度CSデジタル放送に合わせてください。《チャンネル+ ／−》ボタンを押してテレビのチャンネルを切り換えてください。

放送局のロゴが表示されない。

- 本機では各放送局のロゴデータを放送局から順次取得していきますが、お急ぎの場合は表示させたい放送局をしばらく視聴していると自動的にロゴデータが受信され、表示されるようになります。

＜ブラビア＞とチャンネル設定の連動を行ったのに、本機とチャンネル設定が違う。

- テレビ側で次の設定を確認してください。
  - 郵便番号設定
  - 地上デジタル放送のスキャン
- チャンネル設定連動を行った後に、＜ブラビア＞で設定を変更した場合、本機に反映されません。かんたん初期設定をやり直してください。

番組表

番組表が表示されない。

- 番組表データを取得してください(102ページ)。
- 放送が受信できていれば、視聴している放送局から順次取得します。
  - 放送が受信できているか確認してください(105ページ)。
  - CATVの場合、BS/110度CSデジタル放送や地上デジタル放送は、本機で直接受信できる方式(パススルー)と、CATVチューナーで受信し、本機に音声／映像ケーブルで入力する方式(トランスモジュレーション等)があります。ご利用のCATV局に、それぞれの放送が「直接受信できるかどうか」をお問い合わせください(82ページ)。

番組表に表示されない放送局がある。

- [設定]＞[放送受信設定]＞[地上デジタルチャンネル登録]や[BSデジタルチャンネル登録]、[CSデジタルチャンネル登録]の[＋／－選局](90ページ)を[選局する]に設定してください。

番組表に表示されない番組がある。

- 初めに「1. まず、確認してください」の「番組表の全部または一部が表示されない」(102ページ)を確認してください。
- 本機にアンテナをつないで初期設定を終えた直後や、数日以上本機の電源コードを抜いていた場合は、地上デジタル放送の番組表の一部が表示されません。電源コードを抜かないで1日程度お待ちください。
- 1時間に複数の番組があると、番組名が表示されず、番組の開始時刻のみ表示されます。開始時刻のみ表示されている欄を選び、↑↓を押すと、番組名を見ることができます。また、《黄》ボタンを押して番組表を拡大表示すると番組名が表示されることがあります。

間違った放送局名が表示される。

- [設定]＞[設定初期化]＞[お買い上げ時の状態に設定](98ページ)の[放送受信設定]を選び、実行すると削除できます。削除後は[地上デジタル自動チャンネル設定](90ページ)をしてください。

録画・予約・ダビング

録画中、テレビのチャンネルを変えられない。

- 「テレビの受信」の「テレビチャンネルを切り換えることができない。」(106ページ)をご覧ください。

録画中に■《停止》ボタンを押してもすぐに録画が止まらない。

- 録画が止まる前に本機／外付けのハードディスクやBDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によって、かかる時間は異なります。

「見て録」開始時に「カードエラー」と表示される。

- B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください(らくらくスタートガイド「接続と準備をする STEP2」)。
- 番組表データを取得してください(102ページ)。

ダビングの途中で画面にメッセージが表示され、止まる。

- 本機はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画、そのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
  次の映像やディスクは、ダビングできないことがあります。
  - ビデオカメラで撮影中に、市販のBD-ROMや一部のDVD再生中の音声が入った場合。
  - 無許諾のBD/DVD(海賊版など)。

  詳細は、画面の指示に従って下記をご覧ください。
  Cinaviaオンラインお客様情報センター
  http://www.cinavia.com
- [本機からのお知らせ]で詳細を確認してください。
  [設定]＞[お知らせ]＞[本機からのお知らせ]でお知らせを選びます。

予約したのに録画されていない。

- 本機からのお知らせを確認してください。録画ができなかった状況などをお知らせしています(87ページ)。
- お使いのテレビの番組表から録画予約した可能性があります。本機の番組表から録画予約してください(16ページ)。
- ＜ブラビア＞の番組表からネットワーク録画予約した録画予約は日時指定のため、時間変更に追従できません。番組の中止や変更となった可能性があります。本機の番組表からの録画予約をしてください(16、44ページ)。
- LAN録画や外部入力録画の場合、録画開始時刻が本機の時計とずれた可能性があります。地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送のアンテナケーブルが接続されていれば、自動で時刻が設定されます。アンテナケーブルの接続を確認してください(らくらくスタートガイド「接続と準備をする STEP1」)。
  アンテナを接続できない／受信できないときは、[設定]＞[本体設定]＞[時刻設定]で設定してください(93ページ)。
- 番組が中止になったり、変更になったりした可能性があります。
- チャンネル設定を変更した場合、録画に失敗することがあります。録画予約をやり直してください。
- 番組名で毎回録画予約しても、番組名が大幅に変更された場合は、録画されないことがあります。《録画リスト》ボタンで表示されるタイトル一覧から[予約確認]＞[予約リスト]で録画予約する番組を確認しても予約リストにない場合は、番組表からの録画予約をおすすめします(16ページ)。

- x-おまかせ·まる録は、他の録画やダビング、おでかけ転送(対象機種:BDZ- ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510)、学習情報の変化などで録画されないことがあります。確実に録画したい場合は、おまかせ予約リストから録画予約に変更してください(24ページ)。
- おでかけ転送用動画ファイルの作成中は、録画予約があっても録画は開始されません。作成終了後に録画が開始されます(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510)。
- LAN経由でのCATV録画/「スカパー!プレミアムサービスLink」(録画)の予約が正しく設定されたか確認したいときは、チューナーを操作して確認します。詳しくはお使いのチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- B-CASカードは正しく挿入されていますか?(らくらくスタートガイド「接続と準備をする STEP2」)
- 契約の必要な有料放送の場合、受信契約されたB-CASカードが挿入されていますか?

予約した内容の先頭が切れている。
- LAN経由で録画する場合、[設定]>[本体設定]>[スタンバイモード](94ページ)を[瞬間起動]や[標準]に設定してください。

本機前面の録画予約ランプが点滅している。
- 本機/外付けのハードディスクやBDの残量が足りない場合や、最大録画番組数(120ページ)に達した場合など、録画できない場合に点滅します(103ページ)。不要なタイトルを削除してください(49ページ)。

以前録画した内容がなくなっている。
- 上書き録画されているときは、録画予約設定画面の[上書き]を[しない]にしてください(17ページ)。
- 本機/外付けのハードディスクの容量がなくなると、x-おまかせ·まる録で録画されたタイトルが自動的に削除されます(24ページ)。

動画や写真の取り込みができない。
- USB接続で取り込む場合、AVCHD方式以外の映像は、本機のハードディスクに取り込めません(71、73ページ)。SD(スタンダード)画質で記録された映像を取り込むには「音声/映像ケーブルを使って取り込みたい」(72ページ)に記載されている方法で取り込んでください。
- 市販のBDやDVDに入っているコピー制御信号が付いた場面は取り込めません。

勝手に録画されている。
- タイトル名の先頭に★が付いている場合は、x-おまかせ·まる録のおすすめで自動録画されたタイトルです。自動録画をやめるには、[自動録画]を[切]にしてください(24ページ)。
- タイトル名の先頭に が付いている場合は、あらかじめ設定したジャンルやキーワードから自動録画されたタイトルです。自動録画をやめるには、おまかせ条件を変更または取り消してください(24ページ)。
- 二度録り回避で、本機が録画を回避するのは録画から約半年の間です(18ページ)。

外から予約できない。
- ネットワークに接続されているか確認してください(37ページ)。
- x-Pict Story HD作成中は、リモート録画予約できません。

「スカパー!プレミアムサービス」の番組を録画できない。
- 地上デジタルやBS/110度CSデジタル放送からの時刻合わせができなかった可能性があります。アンテナケーブルの接続を確認してください。自動で時刻が設定されます。
  受信できないときは、[設定]>[本体設定]>[時刻設定]で設定してください(93ページ)。

USB機器を認識しない。
- USBケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。USBケーブルを差し直してください(69、71ページ)。
- 利用する機能に対応したUSB端子に、USB機器をつないでいるか確認してください。
- 本機とのUSB接続に対応している機器かどうか、下記ホームページで最新情報を確認してください。
  http://www.sony.jp/support/bd/
- ソニー製デジタルスチルカメラをつなぐ場合、USB接続設定が標準(Mass Storageモード)になっているか確認してください。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。
- 他機器やPSP®、携帯電話をUSB接続モードなどに設定してください(ワンタッチディスクダビングの場合を除く)(71ページ)。
- 外付けハードディスクの録画、コピー、再生については、「外付けハードディスク」(112ページ)をご覧ください。

ダビングできない。
- 映画などの市販ソフトはコピーできません(56、78ページ)。
- 同一シーンを複数回参照するプレイリストはダビングできません。
- BDやDVDに汚れや傷が付いていないか確認してください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルをダビングする場合は、本機をネットワークにつないでください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルによっては、書き出す機器やメディア、回数に制限があることがあります。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルは、DVDにダビングできません。BDにダビングできます。
- DVD-R DL(2層)やDVD+R、DVD+RW、DVD+R DL(2層)、DVD-RAMにはダビングできません(56ページ)。

ダビングしたディスクを他機器で再生できない。
- DVD-R/DVD-RWにダビングした場合、他機器で再生するためにはファイナライズが必要です(66ページ)。DVD-RWにダビングした場合には、自動でファイナライズされます。
- DVD-R/DVD-RWにVRでダビングした場合、VRモードに対応した機器でのみ再生できます。ご利用の再生機器の取扱説明書などを確認してください。
- CPRM対応のDVDにダビングした場合、CPRMに対応した機器でのみ再生できます(56ページ)。

SR などのアイコンがついたタイトルが、なかなか変換されない／変換できない。

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100

- 自動変換は電源「切」の間の空き時間に行います。変換が終わるまでには時間がかかることがあります(14ページ)。
- 自動変換に必要な空き時間がなかったり、操作などにより変換が中止された可能性があります。
- プレイリストから参照されているタイトルは変換されません。プレイリストを削除すると変換されます。
- プロテクトされているタイトルは変換されません。プロテクトを解除すると変換されます。
- おでかけ転送ファイルを生成したタイトルは変換対象ではなくなります。録画モード変換とおでかけ転送ファイル作成を一緒に行いたい場合は、自動変換を待つか、手動で変換してください(14ページ)。
- 本機／外付けのハードディスクの残量が足りない可能性があります。足りない場合は不要なタイトルを削除してください。

「管理情報がいっぱいです」と画面に表示された。

- 保存しているタイトル数が多い場合や、タイトルの編集回数が多い場合などにメッセージが表示されます。管理情報とは、タイトルの容量とは別に記録される情報で、この管理情報が極端に多くなると本機／外付けのハードディスクやディスクの残量が充分に残っていても、録画、ダビング、編集、ダウンロードができないことがあります。 次のことを行ってください。
  - 不要なタイトルを削除してください(49ページ)。
  - ダビング先のタイトルを削除してください。
  - ダビングするタイトルを減らしてください(58ページ)。
  - 編集回数が多いタイトルの場合、タイトルを分割してください(54ページ)。

再生

再生が始まらない。

- ディスクに指紋や汚れが付いている場合、柔らかい布やクロスなどで傷が付かないように拭き取ってください(9ページ)。
- BDやDVD、CDが裏返しや斜めにずれて入っていないか確認してください。
- CD-ROMなどの再生できないディスクが入っていないか確認してください(123ページ)。
- BDやDVDの地域番号(リージョンコード)が本機で再生できる番号になっているか確認してください(123ページ)。
- 他機器で記録したDVDやCDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDやCDは再生できません(123ページ)。

本機／外付けのハードディスクやBD、DVDの再生が最初から始まらない。

- 《オプション》ボタンを押して[はじめから再生]を選んでください(136ページ)。
- 自動的にタイトルメニュー、BDやDVDメニューの画面が表示されるBDやDVDの場合、画面に表示されるメニューに従って再生してください。

前回のつづきから再生できない。

- 市販のソフトによっては、つづきから再生できないことがあります。
- 次の場合は最初から再生されます。
  - ディスクトレイを開けたとき。
  - 他のタイトルを再生したとき(DVDやCD)。
  - 再生の途中で停止し、停止した場面を編集で削除したとき。
  - タイトル結合したとき。
  - [設定]＞[映像設定]や[BD/DVD視聴設定]、[年齢制限設定]を変更したり、[設定初期化]をしたりしたとき(本機／外付けのハードディスクを除く)。

再生が自動的に始まる／止まる。

- BDやDVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。再生を続ける場合は操作をしてください。

再生の途中で画面にメッセージが表示され、止まる。

- 本機はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画、そのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
  次の映像やディスクは、再生できないことがあります。
  - ビデオカメラで撮影中に、市販のBD-ROMや一部のDVD再生中の音声が入った場合。
  - 無許諾のBD/DVD(海賊版など)。
  詳細は、画面の指示に従って下記をご覧ください。
  Cinaviaオンラインお客様情報センター
  http://www.cinavia.com

音声言語を変更できない。

- 再生しているBDやDVDに複数の言語が記録されているかディスクのメニューから確認して操作してください。

字幕を変更できない。

- 再生しているBDやDVDに複数の字幕が記録されているかディスクのメニューから確認して操作してください。
- DRモードで録画した字幕付きの番組のみ字幕の入／切ができます(32ページ)。

タイトルが表示されない。

- LAN録画／LANムーブしたり、インターネットサービスからダウンロードしたりしたタイトルのうち、18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限されていると、録画リストなどに表示されません。視聴年齢制限を一時的に解除してください(95ページ)。

タイトルのサムネイルが表示されない。

- 一度再生して停止してください。

追いかけ再生できない。

- アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けたりしていると、記録状態が不安定となり追いかけ再生できないことがあります。

市販の3Dソフト(BD-ROM)の3D再生ができない。

- 本機と3D対応テレビは、必ずハイスピードHDMIケーブルでつないでください(29ページ)。
- 本機と3D対応テレビの間に、ホームシアターシステムやAVアンプなどをつないでいる場合、それらの機器も3D対応している必要があります。
  対応していない機器とつないでいる場合は、本機と3D対応テレビをHDMIケーブルでつなぎ、テレビの光デジタル出力からホームシアターシステムやAVアンプなどにつないでください。

本機／外付けのハードディスクの「残量が足りません」と画面に表示された。

- [ビデオ]>[BDデータ]>[共通キャッシュデータ]を選び、《決定》ボタンを押してダウンロードしたBD-LIVEなどのデータを削除してください。

音声

音が出ない。

- 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください(83ページ)。
- 接続ケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。
- AVアンプの入力切換で本機の音声が出るようになっているか確認してください。
- お使いのAVアンプの取扱説明書などを参照し、[設定]>[音声設定]の[ドルビーデジタル]や[AAC]、[DTS]を[ダウンミックスPCM]に変更し、音が出るか試してみてください(89ページ)。

HDMI接続したとき、音声が出ない。

- HDMI出力端子につないだ機器が対応している音声信号のフォーマットに変更してください。
  例:[設定]>[音声設定]>[HDMI音声出力]を[2チャンネルPCM]に設定。

音が小さい。

- テレビの音量に比べ、本機に入力を切り換えたときの音量が小さい場合、お使いのテレビで、本機をつないだ外部入力端子の音量を調節してください。詳しくは、テレビの取扱説明書などを確認してください。
- BD/DVDによっては、再生時の音量が小さいことがあります。[設定]>[音声設定]>[オーディオDRC]を[テレビ]に設定すると、改善されることがあります(89ページ)。

二か国語放送の音声が切り換えられない。

- DRモード以外でダビングする場合は、ダビングの前に[設定]>[ビデオ設定]>[二重音声記録]>記録したい音声を選んでください(65ページ)。
- HDMI出力端子に他機器をつないでいる場合、本機／外付けのハードディスクやBD、DVD-RW/-R(VR)、DVD-RAMの主音声や副音声を本機のリモコンを使って切り換えるには、[設定]>[音声設定]>[HDMI音声出力]を[マルチチャンネルPCM]または[2チャンネルPCM]に設定してください(89ページ)。
- 外部チューナーやビデオデッキを使って二重音声放送を記録する場合、外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声や副音声に切り換えてください。
  外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声＋副音声に設定したい場合、本機で視聴中に《オプション》ボタンを押して[音声設定]>[外部入力音声]>[二重音声](35ページ)を選びます。視聴中の主音声や副音声は本機のリモコンの《音声切換》ボタンを押して切り換えることができます(32ページ)。

ネットワーク

本機がネットワークにつながらない、とぎれる。

- ルーターなどの電源が入っているか確認してください。
- ネットワークの接続を確認したり、かんたんネットワーク設定を再設定してみてください(37ページ)。
- 有線接続の場合、LANケーブルが接続されているか確認してください。
- 無線接続の場合、本機と無線LANルーターの設置場所を確認してください。
  次のような環境では、電波干渉を受けている可能性があります。
  – 本機が他の無線機器や電子レンジ、蛍光灯の近くに設置されている。
  – 本機と無線LANルーターの間に床や壁がある。
- 無線接続の場合、WPSやAOSSで登録すると通常よりも電波出力が下がることがあります。
  – 接続時のみ、ルーターを近くに持っていき試してください。
  – [設定]>[通信設定]>[ネットワーク設定]で、WPSやAOSSを使わずに[検索して登録]や[手動登録]を試してください。
- 無線接続時に検索で見つけられない場合、以下も確認してください。
  – 電波が弱いかもしれません。アンテナの向きや位置を変えてみてください。
  – SSIDや暗号キーの入力を間違えているかもしれません、再度入力してみてください。
  – SSIDにひらがなや漢字などの全角文字が含まれていないか、ルーターの設定を確認してください。全角文字が含まれている場合は、SSIDをすべて半角文字に変更してから設定をやり直してください。SSIDの確認や変更方法についてはルーターの取扱説明書をご覧ください。
- IPアドレスを確認してください。《ホーム》ボタンを押し、ホームメニューの左端にある[設定]>[通信設定]>[ネットワークの設定確認と接続診断]の[詳細確認]で確認できます。
  – IPアドレス「169.254.xxx.xxx」(xは任意の数字)は、DHCPサーバーに接続できなかったとき設定されるIPアドレスです。ケーブル接続を確認し、ネットワークを設定し直してみてください。
  – IPアドレスが「---.---.---.---」で表示されている場合は、IPアドレスが設定されていません。かんたんネットワーク設定をし直してみてください(39ページ)。

ホームサーバー機能対応の他機器から本機のタイトルを再生できない。または、他機器から本機が見つからない。

- 本機がホームネットワークに接続、設定されているか確認してください(37ページ)。
- スマートフォンやタブレットPCなどの他機器が、本機とは別のネットワークに接続されていないか確認してください。
- ルーターのプライバシーセパレーター機能またはネットワーク分離機能をお使いの場合は、本機にアクセスできないことがあります。これらの機能を無効に設定してください。設定状態の確認や設定方法については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の番組をDRモード以外で録画した場合や、LAN録画/LANムーブした場合は、他機器で再生できないことがあります。対応機器についてはソニー製品情報のホームページ(http://www.sony.jp/support/dlna/)または、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

[通信設定]の接続診断で、「DNSが応答しません」と表示された。

- インターネットへの接続を確認できなかったときに表示されます。
  - 画面に表示されたメッセージを確認してください。
  - ネットワーク機器の電源や接続を確認してください。
  - 他機器から、インターネットに接続できるか確認してください。
  - プロバイダーへ問い合わせてみてください。

インターネットサービス

インターネットサービスの映像が乱れる、映らない。

- 利用するネットワークの回線速度を確認してください。「アクトビラ ビデオ·フル」のご利用には、実効速度12Mbps程度の回線速度を想定しています。
- 他機器でインターネットを利用している場合は、他機器のインターネットの利用を停止してください。

画面上に、ダウンロードに失敗したというエラーが表示される。

- ダウンロード予定のタイトル数が50個を超えている場合は、いくつかダウンロードが完了してから再度行ってください(46ページ)。

ダウンロードが遅い。

- 他機器でインターネットを利用している場合や、次の機能は利用を停止してください。
  - BD-LIVEの再生(48ページ)。
  - ホームサーバー機能(42ページ)。
  - インターネットサービスでページを表示、またはインターネットサービスで映像を再生(46ページ)。
  - x-Pict Story HDの作成(77ページ)。
  - ダビング(56ページ)。
  - おでかけ転送(68ページ)(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510)。
  - 録画など(12ページ)。

ダウンロードしたタイトルが見つからない。

- 視聴年齢制限の設定を確認してください(95ページ)。
- 視聴期限が過ぎているため、自動削除された可能性があります。本機からのお知らせを確認してください(87ページ)。

表示

本機前面の録画予約ランプが点滅している。

- 次のことを確認してください(20、49、50、122ページ)。
  - 本機/外付けのハードディスクやBDの残量を確認してください。残量が足りない場合、不要なタイトルを削除してください。
  - 録画できるBDが本機に入っているか確認してください。
  - BDがプロテクト(保護)されていないか確認してください。

録画モードが正しく表示されない。

- 10分未満の録画/ダビングをしたときや、10分以上でも静止画などの動きの少ない映像では、設定した録画モードとは異なるモードが表示されることがあります。録画やダビング時の録画モードと異なるモードが表示されても、実際は設定したモードで録画やダビングされています。
  これは、本機が可変ビットレート方式(VBR)を採用しているためです。

本体表示窓に時計が表示されない。

- 省エネのため、電源を切っているときは時計は表示されません。[設定]>[本体設定]>[本体表示の明るさ](93ページ)を[消灯]以外に設定している場合は、電源を切っているときに↑↓←→や《決定》ボタンを押すと、5秒間時計が表示されます。

本体表示窓にエラーメッセージ『E5001』などが表示されている。

- 「2. 本機のメッセージを確かめる」(103ページ)をご覧ください。

リモコン

リモコンが働かない。

- 乾電池を交換してください。乾電池を交換すると、リモコンモードやメーカー番号がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。リモコン側のリモコンモードや登録したテレビのメーカー番号を合わせ直してください(らくらくスタートガイド「接続と準備をする STEP3」、100ページ)。
- 本体側とリモコン側のリモコンモードの設定が異なると操作できません。本体とリモコンのリモコンモードを合わせてください(101ページ)。
- リモコンを本体のリモコン受光部 R マークに向けたり、本体に近づけたりして操作してください。
- テレビを操作するときは、《TV操作》ボタンを押してから操作してください(100ページ)。

本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製のBD対応機器が同時に動いてしまった。

- 本機のリモコンモードを変更してください。お買い上げ時は「BD3」になっています(101ページ)。

外付けハードディスク

録画、コピー、再生ができない。

- お使いの外付けハードディスクによっては、本機後面のUSB HDD専用端子から電源供給ができないことがあります。お使いの外付けハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 「外付けハードディスクとの接続／登録」(84ページ)も確認してください。

その他

電源が「切」のときに本機の動作音がする。

- 番組表データの取得などの内部動作により、音がすることがあります(102ページ)。

HDMI機器制御機能が働かない。

- [設定]＞[HDMI機器制御設定]＞[HDMI機器制御]が[入]になっているか確認してください(94ページ)。
- つないだ機器がHDMI機器制御機能に対応しているか、つないだ機器のHDMI機器制御機能の設定を確認してください(つないだ機器の取扱説明書をご覧ください)。
- AVアンプを通してテレビにつないだ場合、HDMI接続を変更したり、電源コードの抜き差しをしたり、停電などがあると、AVアンプからの映像出力が出なくなることがあります。
  AVアンプの入力を本機からの入力に切り換えて、本機の[設定]＞[HDMI機器制御設定]＞[HDMI機器制御]を[切]にし、その後[入]に再設定してください。お使いのAVアンプの取扱説明書もご覧ください。
- 1台のテレビでHDMI機器制御できる録画機器は3台までです。

操作を受け付けない。

- 本機前面の《リセット》ボタンを押してください(102ページ)。
- 電源を切って本体表示窓が消灯してから電源コードを抜いてください。しばらく経ってから再び電源コードをつなぎ、電源を入れてください。

アルファベットと数字で5桁の番号が本体表示窓に出ている。

- 自己診断機能が働いています。「2. 本機のメッセージを確かめる」(103ページ)をご覧ください。

《開／閉》ボタンを押してもディスクトレイが開かない。

- BDやDVDに録画やダビング、編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに時間がかかることがあります。これは、本機がBDやDVDにディスク情報を追加しているためです。
- どうしてもディスクトレイが開かないときは、電源を切って電源コードを抜きます。本機前面の《開／閉》ボタンを押しながら電源コードをつなぎ直し、ディスクトレイが出たら《開／閉》ボタンをはなしてください。ディスクを取り出した後、本機前面の《リセット》ボタンを押してください(102ページ)。

サポートホームページで調べる

ブルーレイディスク／DVDレコーダーサポート・お問い合わせ

パソコンなどでインターネットに接続できるときは、「ブルーレイディスク／DVDレコーダー」サポート・お問い合わせ

http://www.sony.jp/support/bd/

をご覧ください。

「「ブルーレイディスク／DVDレコーダー」サポート・お問い合わせ」では、ブルーレイディスクレコーダーに関するトラブル解決方法や活用方法、ブルーレイディスクレコーダーを安心してお使いいただくための最新情報などをご提供しています。定期的にご覧ください。

電話で問い合わせる

放送・サービスに関するお問い合わせ

有料BS/110度CSデジタル放送局

	問い合わせ先
WOWOW	電話番号:0120-580-807 受付時間:9:00～20:00(年中無休) ホームページ: http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル	電話番号:0570-013-111または 045-650-4724 受付時間:10:00～18:00(年中無休) ホームページ:http://www.star-ch.jp/

「スカパー！」について

	問い合わせ先
スカパー！カスタマーセンター	電話番号:0570-039-888 03-4334-7777(PHS、IP電話) 受付時間:10:00～20:00(年中無休) ホームページ: http://www.skyperfectv.co.jp/

受信地域(エリア)や受信方法などのデジタル放送全般について

	問い合わせ先
(社)デジタル放送推進協会(Dpa)	ホームページ:http://www.dpa.or.jp/

地上デジタル放送の受信相談について

	問い合わせ先
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター	電話番号：0570-07-0101 受付時間：平日9:00～21:00 土·日·祝日9:00～18:00

B-CASカードについて

	問い合わせ先
B-CASカスタマーセンター	電話番号：0570-000-250 受付時間：10:00～20:00（年中無休）

アクトビラについて

	問い合わせ先
アクトビラ·カスタマーセンター	電話番号：0570-09-1017 受付時間：10:00～19:00年中無休（元旦除く） メールアドレス：info@desk.actvila.jp ホームページ：http://actvila.jp/（パソコン、携帯電話）

TSUTAYA TVについて

	問い合わせ先
TSUTAYA TVカスタマーサービス	電話番号：0570-002822 044-862-1902（PHS、IP電話） 受付時間：10:00～19:00 ホームページ：http://tsutaya-tv.jp/

T's TVについて

	問い合わせ先
T's TVカスタマーセンター	電話番号：0120-657-711 受付時間：月～金10：00～18：00（祝日除く） メールアドレス：support@cs.t-s.tv ホームページ：http://t-s.tv/

ソフトウェアアップデートについて

本機には、内部ソフトウェアを自動的にアップデート（更新）する機能が搭載されています。
お買い上げ時は、本機がアップデートを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。

自動アップデートの条件について

次の条件を満たしていれば、自動でアップデートが行われます。

条件1：地上デジタル放送またはBSデジタル放送を安定して受信できている（更新用ソフトウェアは放送波に含まれます）。
条件2：[ソフトウェアアップデート]が[自動]（お買い上げ時の設定）になっている（94ページ）。
条件3：本機の電源が「切」になっている。

ちょっと一言

- アップデートの完了は、本機からのお知らせで確認できます（87ページ）。
- アップデート中は表示窓に進行状況が表示されます。完了して表示窓が消灯するまで、電源コードを抜かないでください。
- 録画中、または直近に録画予約がある場合、アップデートはその後で開始します。

ソフトウェアのバージョン確認について

ホームメニュー＞[設定]＞[本体設定]＞[本体情報]で 本機ソフトウェアのバージョンを確認できます。下記ホームページから、最新のバージョンかどうか確認してください。
http://www.sony.jp/support/bd/

自動アップデートできないときは

USBメモリーを使ってアップデートすることができます。
詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容(コンテンツ)については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容(コンテンツ)の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではBDレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

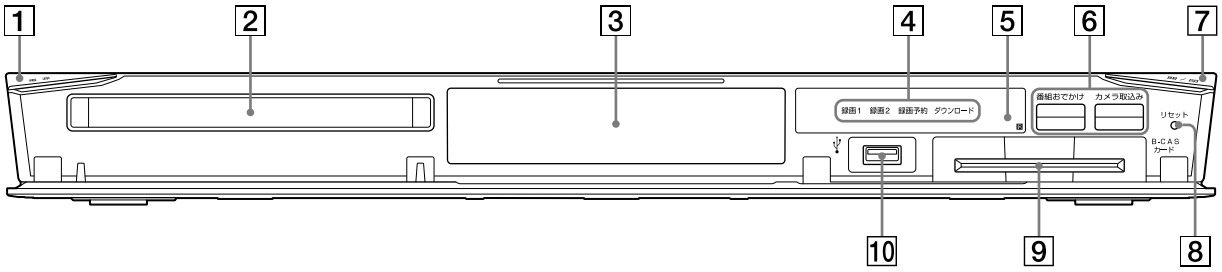
部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。各部の説明は（　）内のページをご覧ください。

本体前面



イラストはBDZ-EW510です。

1 電源ボタン

2 ディスクトレイ

3 表示窓（117）

4 録画ランプ（26）
録画しているときに点灯します。
複数の番組を録画できる機種*1は、1番組録画中に録画1が、2番組同時録画中に録画2が、3番組同時録画中に録画3*2がそれぞれ点灯します。

録画予約ランプ（103）
録画予約が設定されているときに点灯します。

ダウンロードランプ（103）
インターネットサービスから映像（タイトル）をダウンロードしているときに点灯します。

ちょっと一言

- 録画予約ランプやダウンロードランプが点滅しているときは、103ページをご覧ください。

5 リモコン受光部

6 番組おでかけボタン／ランプ*1（69）
カメラ取込みボタン／ランプ（73）

7 開／閉ボタン
ディスクトレイを開閉します。

8 リセットボタン（102）

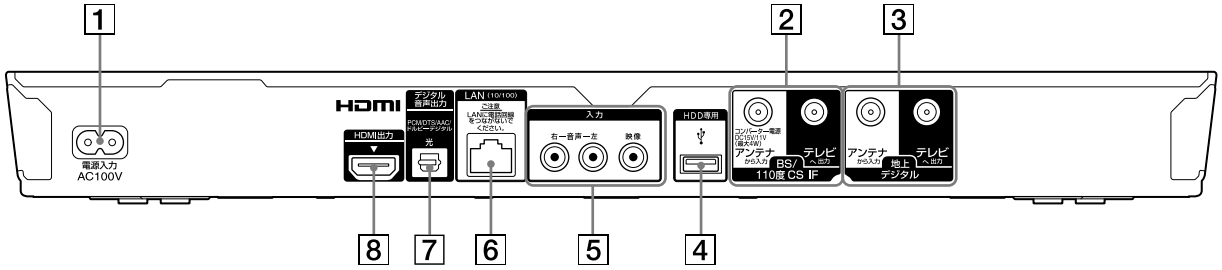
9 B-CASカード挿入口

10 （USB）端子（69、71）

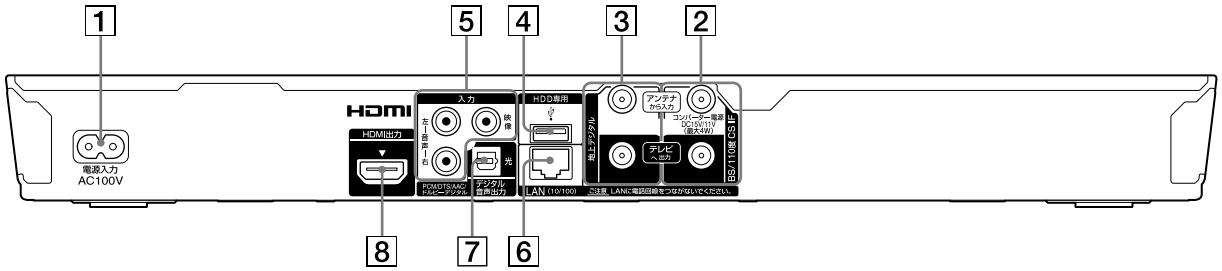
*1 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。
*2 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100。

本体後面

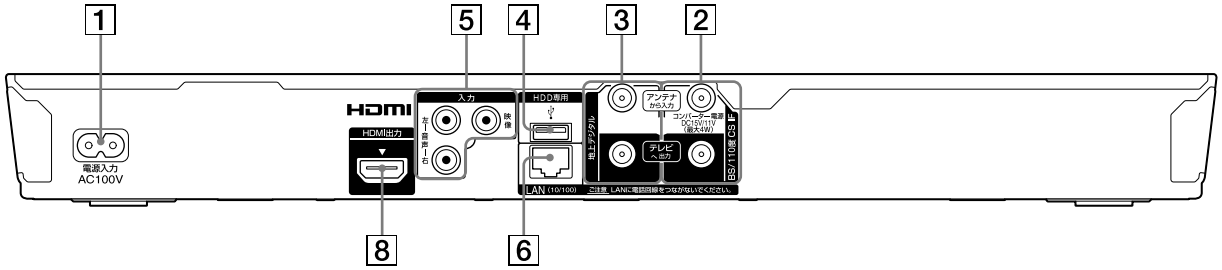
BDZ-ET2100 / ET1100



BDZ-EW1100 / EW510



BDZ-E510



1 電源入力端子

2 BS/110度CS-IF入力／出力端子（らくらくスタートガイド）

3 地上デジタル入力／出力端子（らくらくスタートガイド）

4 ⇳（USB）HDD専用端子（84）

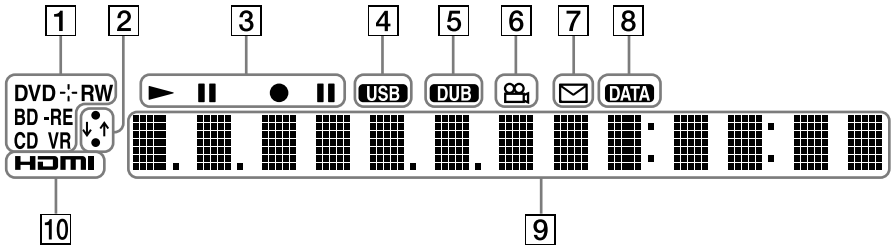
5 音声／映像入力端子（72、74、83）

6 LAN（10/100）端子（38）

7 デジタル音声出力 光端子（84）

8 HDMI出力端子（らくらくスタートガイド）

表示窓



1 BD/DVD/CD表示(種類、記録フォーマット)
BDとDVD(またはCD)のハイブリッドディスクの場合は、BDを表示します。

2 通信表示
ネットワークで通信中であることを表示します。

3 HDD/BD/DVD再生記録表示
それぞれのディスクの再生／記録動作を表示します。

4 USB表示
本機前面のUSB端子へのUSB機器接続時に点灯、ダビング時やおでかけ／おかえり転送時*1に点滅します。

5 ダビング表示
ダビング中、手動で録画モード変換中*2に点灯します。

6 アングル表示
複数アングルの映像が記録されているときに点灯します。

7 お知らせ表示
未読のお知らせがあるときに点灯します。

8 番組表受信表示

9 再生経過時間／メッセージなどを表示

10 HDMI表示
HDMIケーブルで本機につないだ機器が、本機によって認識されているときに点灯します。

*1 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。
*2 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100。

ちょっと一言

- [本体表示の明るさ]で表示窓の明るさを設定できます(93ページ)。
- 電源が「切」のとき、表示窓は消灯します。

表示窓の表示文字

使用状況によって表示される内容は異なります。下記は表示窓に表示される文字の一例です。「2. 本機のメッセージを確かめる」(103ページ)もご覧ください。

起動などの処理中のとき

PLEASE WAIT

本機の設定を行っているとき

SETUP

ビデオカテゴリーを選んだとき

HOME VIDEO

ディスクフォーマット中のとき

FORMAT

ソフトウェアアップデート実行中のとき*

UPDATE XX%

ファイナライズ中のとき

FINALIZE

クイックタイマー動作中のとき*

HDD X:XX

録画終了処理中のとき

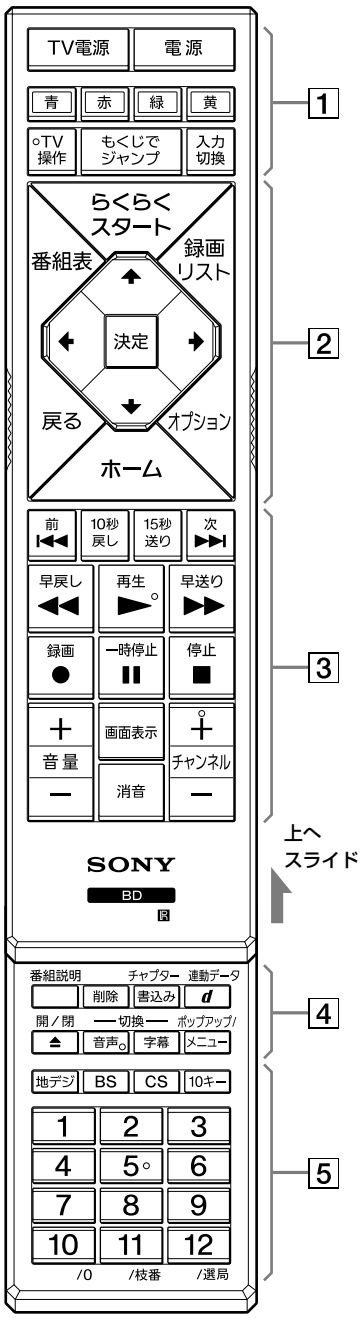
INFO WRITE

ディスク読み込み中のとき

LOAD

* XXには数字が表示されます。

リモコン



* 凸(突起)が付いています(数字ボタンは「5」のみ、《チャンネル＋／－》ボタンは「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。

ちょっと一言

- 次のボタンを押すと、本機の電源が入ります。
  《録画リスト》ボタン／《らくらくスタート》ボタン／⏏《開／閉》ボタン／《ホーム》ボタン／《番組表》ボタン／▶《再生》ボタン。

1

TV電源
テレビの電源を入／切します。

電源
本機の電源を入／切します。

カラーボタン(10、29、31、32、34、119)

TV操作(100)
テレビを操作するときに押します。操作時には光ります。

もくじでジャンプ(44)

入力切換
本機の入力を切り換えます。

2

らくらくスタート
「らくらくスタートガイド」をご覧ください。

番組表(10、16)

録画リスト(11、28)

↑↓←→／決定

戻る(11)

オプション(11、134)

ホーム

3

前(32)

10秒戻し／15秒送り(32)

次(32)

早戻し(32)

再生*(30)

早送り(32)

録画(26)

一時停止(32)

停止
録画、再生などを停止します。

音量＋／－
音量を調節します。

画面表示
その時の画面に合わせて情報を表示します。

消音
音量を消します。

チャンネル＋*／－
チャンネルを切り換えます。

4

番組説明(129)

削除(49)

チャプター書込み(33)

***d*連動データ**
視聴中の番組とその番組に連動するデータ放送を切り換えます。

開／閉
ディスクトレイの開け閉めをします。

音声切換*／字幕切換(32)

ポップアップ／メニュー(32)

5

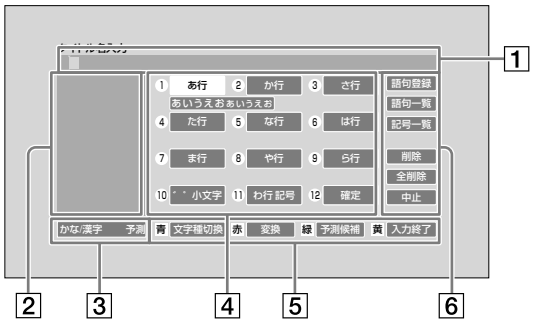
地デジ／BS／CS
(地上デジタル／BSデジタル／CSデジタル)放送を切り換えます。
同じボタンをくり返し押すと、テレビ→ラジオ→データの順で放送に合わせて切り換えます。

10キー
番組視聴中に、チャンネル番号を入力して選局するときに使います。

数字ボタン1～12*
数字ボタンに登録されたチャンネルを選局したり、数字や文字を入力したりします(67、119ページ)。

文字入力のしかた

文字入力画面は、文字を入力する項目を選ぶと表示されます。文字入力はキーワードで番組を検索したり、録画したタイトルの名前を変えたりするときに使います。



1 入力文字表示エリア

主な入力項目と最大文字数は次のとおりです。

	全角文字数	半角文字数
本機／外付けのハードディスク、BDに録画したタイトル名	40文字	80文字
BDディスク名	69文字	138文字
DVDディスク名	32文字	64文字
キーワード入力	13文字	26文字
タイトルグループ名	20文字	40文字
写真のアルバム名	16文字	32文字
外付けハードディスク名	16文字	32文字

2 候補パネルエリア

予測変換候補などを表示します。

3 入力文字／変換モードエリア

選んでいる入力文字の種類と、候補パネルの表示が予測候補文字か変換文字かを表示します。

4 文字選択／変換／確定ボタンエリア

リモコンの数字ボタン(《1》～《12》)を押して入力する方法と、↑↓←→で入力する方法があります(119ページ)。

5 機能ボタンエリア

項目	できること
文字種切換	《青》ボタンを押して文字の種類を切り換えます。
変換	《赤》ボタンを押して漢字／カタカナに変換したり、英字や数字入力中は全角／半角を切り換えたりします。
予測候補	《緑》ボタンを押して予測変換候補を表示します。英字入力中は大文字／小文字を切り換えます。
入力終了	《黄》ボタンを押して入力した文字を確定し、文字入力画面を終了します。

6 操作ボタンエリア

項目	できること
語句登録	入力文字表示エリアの語句を20件まで登録できます。
語句一覧	登録した語句の一覧を表示できます。登録解除もできます。
記号一覧	記号の一覧を表示できます。
削除	カーソルの後の1文字を削除できます。後に文字がないときは、前の1文字を削除できます。
全削除	入力した文字をすべて削除できます。
中止	文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアの文字は記録されません。

ちょっと一言

- 文字入力画面の[記号一覧]から選べる 🄹(二か国語放送)や 🄲(字幕放送)は、キーワード検索で使えます。

ご注意

- 電源コードを抜き差ししたり、再起動(リセット)したりすると、変換に関する学習データが削除されます。

文字を入力するには

1 文字を入力する。

数字ボタンで入力するには

対応する数字ボタンをくり返し押します。

↑↓←→で入力するには

[あ行]などを選び、《決定》ボタンを押します。

→で[お]など入力したい文字を選び、《決定》ボタンを押します。

2 変換する。

《赤》ボタンを押します。

3 候補パネルエリアから変換候補を選ぶ。

変換候補を選び、《決定》ボタンを押します。

4 入力を終了する。

《黄》ボタンを押します。

文字を挿入するには

入力文字表示エリアにカーソルを動かした後、挿入したい箇所の右側の文字にカーソルを動かします。数字ボタンや↑↓←→を使って文字を入力します。入力時に文字が挿入されます。

主な仕様

システム

形式:BD／DVD／ハードディスクレコーダー
受信チャンネル:地上デジタルチューナー:UHF、CATV
BS/110度CSデジタルチューナー:1032～2071MHz
アンテナ入出力:地上デジタル:75ΩF型コネクター
BS/110度CS IF:75ΩF型コネクター
(コンバーター用電源出力DC15V/11V最大4W、芯線側+、メニューにて自動／切を切り換え)
タイマー:
時計方式:クォーツクロック、12時間デジタル表示
映像記録方式:
MPEG-2(録画モードDR)／(DVDダビング)
MPEG-4 AVC(録画モードDR以外)／(おでかけ転送)*
LAN録画／LANムーブは送信元の方式のまま。
音声記録方式／ビットレート:
Dolby Digital (2ch 256kbps/5.1ch 448kbps)(モードを変更してのダビング／外部入力録画)
MPEG-4 AAC(おでかけ転送)*
MPEG-2 AAC
LAN録画／LANムーブは送信元のまま。

* 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。

入力／出力端子

映像入力:入力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
音声入力:入力1系統、ピンジャック入力レベル:2 Vrms
(入力インピーダンス:22 kΩ以上)
デジタル音声出力:
BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510:
光:角型光ジャック1系統／-18 dBm
(発光波長660 nm)
HDMI出力:
19ピン標準コネクター(TypeA)1系統
USB端子:
BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510:Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)1系統
(デジタルカメラ、デジタルハイビジョンビデオカメラ、"メモリースティック"USBリーダー／ライター、"ウォークマン"、PSP®、PS Vita、携帯電話、"nav-u"接続用)
BDZ-E510:Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)1系統
(デジタルカメラ、デジタルハイビジョンビデオカメラ、"メモリースティック"USBリーダー／ライター、"ウォークマン"、PSP®接続用)
USB HDD専用端子:
Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)1系統
(外付けハードディスク接続用)
内蔵無線LAN:
BDZ-ET2100 / ET1100:
通信方式 IEEE 802.11a/b/g/n
LAN端子:10BASE-T/100BASE-TX
(ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)

電源・その他

電源:AC100 V、50/60 Hz
消費電力(動作時／待機時*):
BDZ-ET2100:31W / 0.04W
BDZ-ET1100:30W / 0.04W
BDZ-EW1100:25W / 0.04W
BDZ-EW510:25W / 0.04W
BDZ-E510:23W / 0.04W

* スタンバイモード[低消費待機]、HDMI機器制御[切]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時。

最長録画時間:12時間
最大チャプターマーク数:98個
最大録画番組数:
内蔵ハードディスク:999
外付けUSBハードディスク:999(1台につき)
BD-R/BD-RE:200
最大予約数:130件
写真の最大取り込み枚数:10,000枚
アルバムの最大数:200個
アルバム内の最大写真数:500枚
1フォルダから取り込める最大写真数:500枚
一度に取り込める最大写真数:4,000枚
最大外形寸法(幅×高さ×奥行き)(最大突起含む):
BDZ-ET2100 / ET1100:430×46.5×294 mm
BDZ-EW1100 / EW510 / E510:
430×46.5×244 mm
ハードディスク容量:
BDZ-ET2100:2テラバイト
BDZ-ET1100 / EW1100:1テラバイト
BDZ-EW510 / E510:500ギガバイト
本体質量:
BDZ-ET2100:約3.5kg
BDZ-ET1100:約3.3kg
BDZ-EW1100 / EW510 / E510:約2.7kg
許容動作温度／許容動作湿度:
5 ℃～35 ℃／25 %～80 %

付属品

- B-CASカード使用許諾契約約款(1部)。
- B-CASカード(1)(B-CASカードは台紙に貼り付けてあります)。
- リモコン(1個)。
- 単4形乾電池(2本)。
- アンテナケーブル(1本)。
- 電源コード(1本)*。
- らくらくスタートガイド(1部)。
- 取扱説明書(本書)(1部)。
- 保証書(1部)。

* 付属の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

本機の省エネ対応について

本機動作時は、本体表示の明るさ設定(93ページ)によって消費電力を軽減できます。
待機時の消費電力と起動時間の関係については、次の表をご覧ください。表の数値は目安です。

対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100

スタンバイモード	消費電力			起動時間*5
低消費待機	0.04W*1			約50秒(約60秒)
標準	0.1W*1	0.4W*2 *3	約13W*4	約6秒(約12秒)
瞬間起動*2	約20W			約0.5秒(約3秒)

対象機種:BDZ-EW1100 / EW510 / E510

スタンバイモード	消費電力			起動時間*5
低消費待機	0.04W*1			約50秒(約60秒)
標準	0.1W*1	0.4W*2 *3	約11W*4	約5秒(約12秒)
瞬間起動*2	BDZ-EW1100:約15W BDZ-EW510:約15W BDZ-E510:約14W			約0.5秒(約3秒)

*1 [HDMI機器制御](94ページ)[切]、[BS/CSデジタルアンテナ出力](91ページ)[切]時。
*2 [HDMI機器制御](94ページ)[入]、[BS/CSデジタルアンテナ出力](91ページ)[入]時。
*3 お買い上げ時の設定状態です。
*4 [リモート機器登録](96ページ)ありのとき。
[外出先視聴]>[許可する]に設定し、外出先視聴に対応したクライアント機器の登録があるとき(97ページ)。
*5 本機の画面が表示されるまでの時間です。( )内は記録/再生などの操作可能になるまでの時間です。

ご注意

- [スタンバイモード]を[瞬間起動]にすると、1日最大6時間が表中の消費電力となり、それ以外の時間は[標準]の消費電力となります。
- 起動時間は本機内に録画されたコンテンツの数や、本機の動作状態などにより、遅くなることがあります。

利用できるディスク一覧

本機で録画／ダビングできるディスク（12cmのみ）

	BD-RE	BD-R	DVD-RW（VR）	DVD-RW（ビデオ）	DVD-R（VR）	DVD-R（ビデオ）
対応バージョン／倍速	Ver.2.1（1層／2層）、Ver.3.0（3層）に対応した2倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2/1.3（1層／2層）に対応した6倍速メディア、Ver.2.0（3層／4層）に対応した4倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2　CPRMに対応した6倍速メディアまで		Ver.2.0/2.1　CPRMに対応した16倍速メディアまで	
本機で行いたいこと						
デジタル放送番組の録画[*1]	○	○	×	×	×	×
デジタル放送、ビデオカメラ映像をハイビジョン画質のままダビング	○	○	×	×	×	×
デジタル放送番組などの録画映像を標準画質でダビング	○	○	○（CPRM）	×	○（CPRM）	×
他機器から取り込んだ映像を標準画質でダビング	○	○	○	○	○	○
二か国語放送の両音声を記録	○	○	×	×	×	×
文字放送の字幕を記録	○[*2]	○[*2]	×	×	×	×
文字放送の字幕をダビング[*3]	○	○	○	○	○	○
1つのタイトルに16:9/4:3の映像を混在して記録	○[*2]	○[*2]	×	×	×	×
ディスク上のタイトルを編集	○	○	×	×	×	×
写真などのHDD→ディスク書き出し	○	○	×	○[*4]	×	○[*5]
ディスクの互換性	多くのBD機器で再生可能[*6]	多くのBD機器で再生可能[*6]	VRモード対応の機器で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	VRモード対応の機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）

[*1] 次の映像・番組は直接録画できません。
- インターネットサービス。
- LAN経由のCATV／「スカパー！プレミアムサービス」チューナーの番組。

[*2] 録画モードがDRモードのときのみ。

[*3] DRモードで録画した字幕付きデジタル放送の番組を、録画モードがDRモード以外で字幕をダビングするときは、［字幕焼きこみ］の設定が必要です（92ページ）。

[*4] 書き出しの操作手順にてディスクを初期化する確認画面が表示され、初期化が必要となります。

[*5] 新品ディスクにのみ書き出せます。

[*6] DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG-4 AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。BD-RE XL（3層）／BD-R XL（3層／4層）は、BD-RE XL（3層）／BD-R XL（3層／4層）に対応したBD機器で再生できます。

本機への取り込み／再生できる他機器録画ディスク

本機は12cmと8cmの両方のディスクに対応しています。

BD	BD-RE(1層／2層／3層)／BD-R(1層／2層／3層／4層)
DVD	DVD-RW(VR／ビデオ)*1 *2
	DVD-R/DVD-R DL(2層)(VR／ビデオ)*1 *2
	DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL(2層)*1 *2
	DVD-RAM*3
CD	CD-R/CD-RW(CD-DA)*2 *4

*1 AVCHD方式で録画したディスクも可能。

*2 他機器で記録したディスクは、記録した機器でファイナライズ処理が必要です。

*3 DVD-RAMは、Ver.2.0、Ver.2.1、Ver.2.2に対応。カートリッジ方式(Type1を除く)のDVD-RAMディスクはカートリッジから取り出してお使いください。

*4 CD-R/CD-RWは、静止画と音楽が取り込めます。

再生のみできるディスク

BD	BD-ROM
DVD	DVDビデオ
CD	CD(CD-DA)
	Super Audio CD*

* CDレイヤーのみ。

ご注意

- 表に記載のないディスクは、本機で対応していません。
- 大切な録画やダビングを行う場合には、BD-REなどのくり返し録画できるディスクや本機／外付けのハードディスクで必ず事前にためし録りをして、正常に録画·録音されるか確認してください。
- 本機でダビングしたDVD-RW(VR)やDVD-R(VR)は、DVD-RW(VR)やDVD-R(VR)対応プレーヤーでのみ再生できます。通常のDVDプレーヤーでは再生できませんのでご注意ください。
- 2層など複数レイヤー(層)のBD/DVDを再生する場合、レイヤー(層)が切り換わるときに映像·音声が一瞬途切れることがあります。
- 他機器で録画したBD-REやBD-Rは、録画や再生、編集ができないことがあります。
- 記録済みのBD-RE/BD-R、DVD+RW/DVD+R、DVD-RW/DVD-R、DVD-RAM、またはCD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、BD/DVD/CD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、BD-RE/BD-R、DVD-RAM以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないDVD、CDは再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 他機器で録画したディスクは、ディスク情報画面で正しく表示されないことがあります。
- 本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。DualDisc及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはCD規格に準拠していないことから、本製品ではご使用いただけない場合があります。
- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG-4 AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。
- パソコンで記録したデータのうち、本機で読み込めないデータは、削除されることがあります。

以下のことはできません

- 地域番号(リージョンコード)が「A」を含まないBD-ROMを再生すること。
- 地域番号(リージョンコード)が「2」や「ALL」以外のDVDを再生すること。
- NTSC以外のカラーテレビ方式で記録されたディスクを再生すること。
- 1枚のDVD-RWやDVD-RにVRとビデオモードを同時に設定すること。
  記録フォーマットを変更するときは、もう一度ダビング時に初期化してください(59ページ)。ただし、それまでにダビングした内容は削除されます。また、DVD-R(VR／ビデオモード)は再度初期化できません。
- DVD-RW/DVD-Rを単独で初期化すること。
  ダビング時にのみ初期化できます。BD-REは、《オプション》ボタンから単独で初期化できます(67ページ)。
- デジタルカメラで作成したフォトムービーなどを本機に取り込むこと。

録画モードと録画／ダビング可能時間について

表の数値は目安です。記録する内容によって変化することがあります。

本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります(長時間録画のモードでは、特にその差が著しくなります)。残量に余裕がある状態で記録してください。

- DRモードでの録画は、放送により転送レートが異なるため、本機の表示が実際と異なることがあります。本機では、残量表示は24Mbps、録画時の使用容量は、地上デジタル放送は17Mbps、BS/110度CSデジタル(HD)放送は24Mbpsをもとに計算しています。

本機のハードディスク／BDの録画モードと録画可能時間

録画モード		HDDへの録画可能時間*1(目安)			BDへの録画可能時間*1(目安)			
		BDZ-ET2100	BDZ-ET1100/EW1100	BDZ-EW510/E510	25GB(1層)	50GB(2層)	100GB(3層)	128GB(4層)
DR(デジタル放送画質*2)	地上デジタル(HD)放送録画時	約250時間	約122時間	約58時間	約3時間	約6時間5分	約12時間20分	約15時間45分
	BS/110度CSデジタル(HD)放送録画時	約177時間	約87時間	約41時間	約2時間10分	約4時間20分	約8時間45分	約11時間10分
	地上・BS/110度CSデジタル(SD)放送録画時	約387時間	約190時間	約91時間	約4時間40分	約9時間30分	約19時間5分	約24時間25分
XR(AVC16M)	高画質大容量	約261時間	約128時間	約61時間	約3時間10分	約6時間25分	約12時間50分	約16時間25分
XSR(AVC11M)		約375時間	約184時間	約88時間	約4時間35分	約9時間10分	約18時間25分	約23時間35分
SR(AVC8M)	標準	約500時間	約245時間	約117時間	約6時間5分	約12時間15分	約24時間35分	約31時間30分
LSR(AVC4M)		約1,001時間	約490時間	約235時間	約12時間10分	約24時間35分	約49時間15分	約63時間
LR(AVC3M)		約1,422時間	約696時間	約334時間	約17時間20分	約34時間55分	約70時間	約89時間30分
ER(AVC2M)	低画質小容量	約2,003時間	約981時間	約470時間	約24時間25分	約49時間10分	約98時間35分	約126時間5分

*1 次のようなときに録画時間が異なることがあります。

- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合。
- 編集されたBDに追加して録画する場合。
- 静止画像や音声のみを録画し続けた場合。
- 動きの激しい動画を録画した場合。
- [高速転送録画]を[入]に設定した場合(92ページ)、HDDの録画時間が短くなります(対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510)。
- タイトル数の制限(ハードディスク:999、BD:200)に達した場合や、管理情報がいっぱいになった場合。

*2 デジタル放送をそのままの画質で録画できます(標準テレビ放送(SD)の番組は、そのままのSD画質で録画されます)。LAN経由のCATV録画でも、放送によって画質は異なります。

- 録画モードによって音声ビットレートは変わりません。
- 録画可能時間は JEITA「CPR-3104準拠 録画基準画像」でも確認しております。

本機のハードディスクからBDへの高速ダビング所要時間(60分番組の場合)

表中の所要時間は目安です。ディスク管理情報の作成時間も加わります。
ディスクの書き込み位置や特性などの条件により時間が変わります。

録画モード		2倍速メディア使用時	4倍速メディア使用時	6倍速メディア使用時
DR	地上デジタル(HD)放送	約14分35秒	約7分40秒	約5分15秒
	BS/110度CSデジタル(HD)放送	約20分35秒	約10分45秒	約7分25秒
	地上・BS/110度CSデジタル(SD)放送	約9分30秒	約5分00秒	約3分25秒
XR	(高画質)	約14分20秒	約7分30秒	約5分10秒
XSR	↑	約10分00秒	約5分15秒	約3分35秒
SR	(標準)	約7分30秒	約3分55秒	約2分45秒
LSR		約3分45秒	約2分00秒	約1分25秒
LR	↓	約2分40秒	約1分25秒	約1分00秒
ER	(長時間録画)	約1分55秒	約1分00秒	約0分40秒

本機のハードディスクからDVDへのダビングモードと記録可能時間

ダビングモード		DVDへの記録可能時間*(目安)
XP	(高画質)	約1時間
XSP	↑	約1時間30分
SP	(標準)	約2時間
LSP	↓	約2時間30分
LP	(長時間録画)	約4時間

* 次のようなときに記録時間が異なることがあります(XSP～LPのみ対象)。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組をダビングする場合。
- 編集されたDVDに追加してダビングする場合。
- 静止画像や音声のみのタイトルをダビングした場合。

「スカパー！プレミアムサービス」チューナーが受信する番組と本機の録画可能時間

録画可能時間について詳しくは、下記ホームページをご覧いただくか、スカパー！カスタマーセンター(112ページ)までお問い合わせください。
ホームページ:http://sptvhd.jp/rokuga

「スカパー！プレミアムサービスLink」の録画可能時間目安

「スカパー！プレミアムサービス」チューナーと本機では、録画時間の残量表示が異なることがあります。

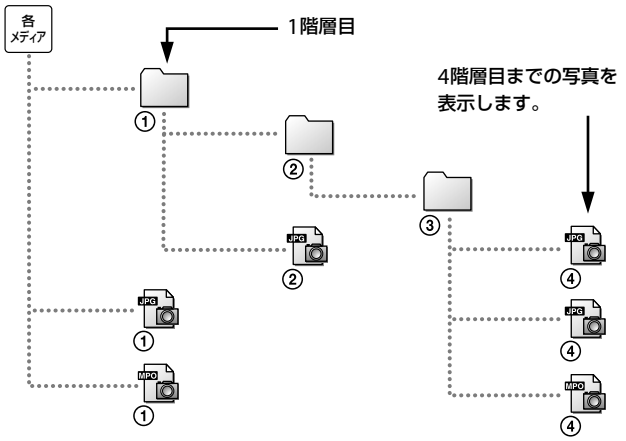
「スカパー！プレミアムサービス」チューナーが受信する番組	本機の録画可能時間		
	BDZ-ET2100	BDZ-ET1100 / EW1100	BDZ-EW510 / E510
スカパー！プレミアムサービス ハイビジョンチャンネル	約480時間 (約260～600時間)*1	約240時間 (約130～300時間)*1	約120時間 (約65～150時間)*1
スカパー！プレミアムサービス 標準画質チャンネル	約820時間 (約520～1,580時間)*1	約410時間 (約260～790時間)*1	約205時間 (約130～395時間)*1
地上デジタル*2	約252時間	約125時間	約62時間

*1 録画可能時間は録画する番組により異なります。( )の時間は変動する録画可能時間の目安です。

*2 SP-HR200H、SP-HR250H、CS-HD300利用時。

本機で取り込み／再生できるアルバムや写真について

本機で取り込み／再生できる写真は、圧縮方式がJPEG方式やMPO方式で、ファイル名形式がDCF形式*1のものです。各メディア直下(ルート)を第1階層とした場合、本機は4階層目までに保存した写真を認識します。



ご注意

- ファイル名、フォルダ名がISO9660のレベル1、レベル2、拡張フォーマット(Joliet)に準拠していない場合、正しく表示されないことがあります。
- 501個以上のファイル*2やフォルダを1つの階層で表示できません。500個を超えた場合は、一部表示されません。
- 次のファイルを再生すること、ハードディスクに取り込むことはできません。画面上の写真の一覧には表示されますが、再生すると が表示され再生できません。
  - 縦や横のいずれかが、16,384ドット以上の写真。
  - 縦や横のいずれかが、15ドット以下の写真。
  - ファイルサイズが64MBを超える写真。
  - 横縦のサイズ比が50:1より横長、または1:50より縦長の写真。
  - プログレッシブJPEG形式の写真。
  - BD-RにUDF2.6以外で記録された写真。
  - BD-REにUDF2.5以外で記録された写真。
- 3D以外のMPOファイルは、代表画像または先頭画像のみ表示されます。
- MPOファイルを表示するには、接続先機器のUSB接続設定を標準(Mass Storageモード)にしてつないでください。

*1 (社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"のことです。
*2 JPEG/MPO以外のファイルも含む。

無線LANのセキュリティについて

無線LANによる通信は、電波を使って行われるため、通信内容を傍受されるおそれがあります。無線通信を保護するために、本機はさまざまなセキュリティ機能に対応しています。接続環境に応じて正しくセキュリティ対策をしてください。

高い	WPA2-PSK(AES)	WPS対応
↕	WPA-PSK(AES)	WPS対応
	WPA2-PSK(TKIP)	WPS対応
	WPA-PSK(TKIP)	WPS対応
	WEP	WPS非対応
低い	セキュリティなし	WPS対応

◆WPA2-PSK(AES)、WPA-PSK(AES)
WEPやTKIPより高度なセキュリティです。

◆WPA2-PSK(TKIP)、WPA-PSK(TKIP)
WEPより高度なセキュリティです。

◆WEP(おすすめしません)
本機はOpen認証方式のみ対応しています。
解読法の知られている古いセキュリティ技術のため、WPA2/WPA非対応のアクセスポイントを利用する場合にお使いください。

◆セキュリティなし(おすすめしません)
セキュリティなしでは、ホームサーバー機能は利用できません。
誰でも無線電波を利用できるため、ネットワークに侵入され、不正アクセスや通信内容を傍受されるおそれがあります。

言語コード一覧

詳しくは、92ページをご覧ください。

1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Belarusian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

言語名表記はISO639：1988 (E/F)に準拠

商標などについて

- “ブラビアリンク”および“BRAVIA Link™”は、ソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™、Blu-ray™、Blu-ray 3D™、BD-LIVE™、BONUSVIEW™、BDXL™、及びロゴはBlu-ray Disc Associationの商標です。
- “DVD ロゴ”はDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。
- HDMI®、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー 及び ダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSはDTS, Inc.の登録商標です。そして、DTS-HD Master Audio | EssentialはDTS, Inc.の商標です。
  For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS-HD, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS-HD Master Audio | Essential is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- “XMB”は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- “PSP”および“PlayStation”は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- “AVCHD”はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DLNA™, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- “MagicGate”(マジックゲート)は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。“MagicGate Type-R for Secure Video Recording”(以下 MG-R(SVR))は“MG-R(SVR) for Memory Stick PRO”および“MG-R(SVR) for EMPR”は Dpa(地上波 デジタル推進協会)からデジタル放送記録時のコンテンツ保護方式として認可を得ています。
- “Embedded Memory with Playback and Recording Function System”(以下“EMPR”)は、ソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名です。
- この製品はメモリースティックセキュアビデオ規格および“EMPR”規格に準拠して製造されています。コンテンツ保護方式として“MagicGate Type-R for Secure Video Recording for Memory Stick PRO”および“MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR”を利用しています。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- “Sony Tablet”、“nav-u”はソニー株式会社の商標です。
- 「スカパー！プレミアムサービスLink」は、スカパーJSAT株式会社の商標です。
- “TRILUMINOS”および“TRILUMINOS”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- Java及びすべてのJava関連のマークは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
  文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- AndroidはGoogle Inc.の商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- マーク、および「acTVila」、「アクトビラ」は、㈱アクトビラの商標または登録商標です。
- 「TSUTAYA TV」は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。
- DCS－人名辞書データ(著作権者・提供者：日外アソシエーツ株式会社)
- DCS－ニュース・シソーラス 第四版
  – 新聞・放送ニュース検索のための主題14000語：著編者・廣木守雄、服部信司
    〔編〕／提供：日外アソシエーツ株式会社
- Wi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。
- 「Xperia」はSony Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- Ubiquitous DLNA/DTCP-IP
  Copyright© 2001-2013 Ubiquitous Corp.
  この製品には株式会社ユビキタスが開発したDLNA/DTCP-IP 対応ソフトウェアを使用しております。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各社の登録商標あるいは商標です。なお、TM、®マークは省略している場合があります。

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ

この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェア等に関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、下記のソフトウェア使用許諾契約書とソフトウェアライセンスの各お知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。ソフトウェアライセンスの各お知らせは、本製品に含まれるソフトウェア等に関するこのお知らせに記載しているものの他、本機のホームメニュー＞[設定]＞[本体設定]の「ソフトウェアライセンス情報」でご確認いただけます。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」とします)は、お客様(以下「使用者」とします)と弊社(以下「ソニー」とします)との間で、ご購入頂いたブルーレイディスクレコーダー(以下「本製品」とします)に含まれるソフトウェア(以下「許諾ソフトウェア」とします)の使用許諾に関する条件について規定するものです。なお、許諾ソフトウェアには、ソニーが許諾を受けている第三者のソフトウェアが含まれており、本契約と本機のホームメニュー＞[設定]＞[本体設定]の「ソフトウェアライセンス情報」に記載されておりますソフトウェアの使用許諾条件に矛盾又は齟齬などがある場合には、各お知らせにかかるソフトウェアの範囲において、各お知らせに記載されております使用許諾条件が優先致します。

第1条(総則)

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条(使用権)

1. ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアを営利目的を含むいかなる目的でも貸与または頒布する事はできません。

第3条(許諾条件)

1. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書に記載の使用方法に沿って使用するものとします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等の一部または全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を日本国外に輸出、移送をしてはならないものとします。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
5. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
6. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を再使用許諾、貸与またはリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
7. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
8. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類の著作権もしくは商標にかかる表示等の一部または全部を除去、変更、追加してはならないものとします。
9. 使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切(全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書および本契約書を含みます)を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェアおよび前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することが出来るものとします。なお、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ソニーまたはソニーが許諾ソフトウェアの再許諾権を許諾された原権利者(以下原権利者とします)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条(ソニーおよび原権利者の免責)

ソニーおよび原権利者は、許諾ソフトウェアについて何等の保証を行うものではなく、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第6条(第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニーおよび原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条(自動アップデート)

1. 許諾ソフトウェアにはソニーまたはソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際に許諾ソフトウェアが自動的にアップデートされる機能を有するものがあります。使用者が、この自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、または、アップデートをするか否かを問わせる設定にした場合で且つ使用者がアップデートの実行を拒否した場合、使用者による許諾ソフトウェアの使用に関してソニーは何等の責任を負わないものとします。
2. 使用者は、前項に従い自動アップデートの機能を有効にした場合、(A)許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜自動的にアップデートされること、および(B)当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更または削除されることがあることに同意するものとします。

第8条(秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報および本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ソニーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第9条(契約の解除)

ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

(1) 本契約に定める条項に違反したとき
(2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第10条(許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れするものとします。

第11条(許諾ソフトウェアの更新)

1. 使用者が、ネットワークからのダウンロード(第7条に定める自動アップデートを含む)あるいはソニーが提供または販売する更新用CDにより許諾ソフトウェアの更新を行う場合、更新後のソフトウェアについても本契約が適用されるものとします。ただし、ソニーより別の契約条件が提示される場合はこの限りではありません。なお、使用者は、更新用CDを許諾ソフトウェアの更新以外の目的で使用しないものとします。
2. 前項に定める更新を行った結果、本製品に何らかの不都合が生じた場合には、ソニーの相談窓口へお問い合わせください(裏表紙)。

第12条(その他)

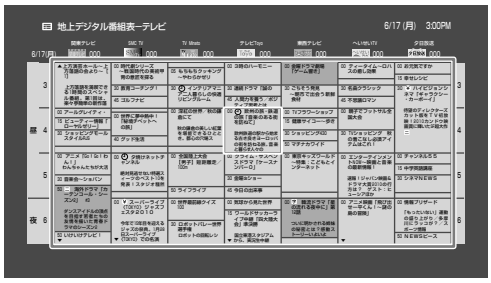
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

画面別アイコン一覧

ホームメニュー

アイコン	説明
	設定(87ページ)
	フォト(30ページ)
	ミュージック
	ビデオ(11、28ページ)
	地デジ
BS	BS
CS	CS
	外部入力
	ネットワーク(46ページ)

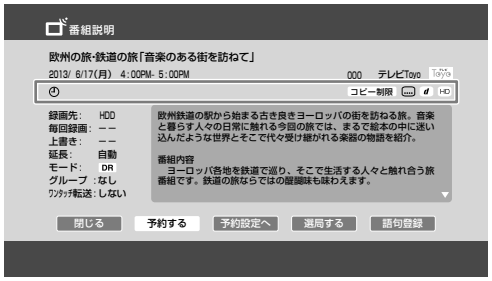
番組表(10ページ)



アイコン	説明
●(赤)	録画中の番組
(赤)	録画予約されている番組
(灰)	予約の一部が録画できない番組
(赤)	日時指定予約されている番組
(灰)	日時指定予約のうち、一部が録画できない番組
¥	有料番組

番組説明

番組説明は、番組視聴中などにリモコンの《番組説明》ボタンを押すと表示できます。

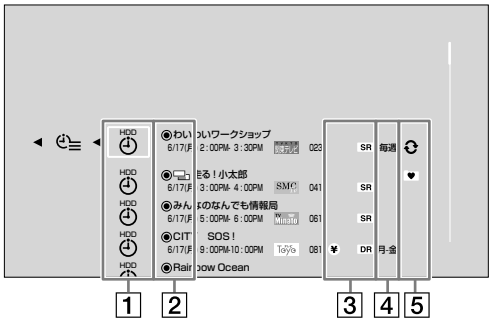


アイコン	説明
●(赤)	録画中の番組
(赤)	録画予約されている番組
(灰)	予約の一部が録画できない番組
¥	有料番組
契約済	契約済みの番組
未契約	未契約の番組
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組
録画不可	コピー制御信号により、録画できない番組
	視聴年齢制限付き番組
	字幕放送
d	テレビやラジオと連動しているデータ放送や、独立データ放送
HD	デジタルハイビジョン信号の番組
SD	標準テレビ信号の番組
ラジオ	ラジオ放送

x-おまかせ・まる録設定一覧(24ページ)

アイコン	説明
HDD★／USB★(緑)	本機／外付けのハードディスクへ自動録画する場合の、デジタル放送おすすめ設定
★(灰)	自動録画しない場合のデジタル放送おすすめ設定
HDD／USB(白)	本機／外付けのハードディスクへ自分で設定したおまかせ設定
HDD／USB(青)	本機／外付けのハードディスクへ設定した、プリセットキーワードのおまかせ設定

予約リスト(20ページ)



1

アイコン	説明
HDD	本機のハードディスクへの録画予約
BD	BDへの録画予約
USB	外付けハードディスクへの録画予約
HDD	本機のハードディスクへのリモート／ネットワーク録画予約。「見て録」を利用して番組を録画しているときも表示
BD	BDへのリモート／ネットワーク録画予約
USB	外付けハードディスクへのリモート／ネットワーク録画予約。「見て録」を利用して番組を録画しているときも表示

2

アイコン	説明
	複数の予約が重なっている場合、優先順が下位の番組
●(赤)	録画予約した番組を録画しているときに表示
●(青)	同じ時刻に他の予約と重なっている部分以外はすべて録画可能
●(灰)	録画不可 • 録画先に設定されたディスクが残量不足の場合。 • 他の予約と重なっているため、予約された時間すべてを録画できない可能性がある場合。 • 録画に対応したディスクが挿入されていない場合。 • 番組名予約で該当する番組が見つからなかった場合。
⚠	対象番組なし。 予約に該当する番組を追跡できない可能性があるときに表示

3

アイコン	説明
¥	有料番組
DRなど	録画時の録画モード
SRなど	いったんDRモードで録画され、録画後に予約時に設定した録画モードへの変換や、おでかけ転送ファイルの作成がされる場合に表示*

4

アイコン	説明
毎週など	毎回録画で予約した場合に表示

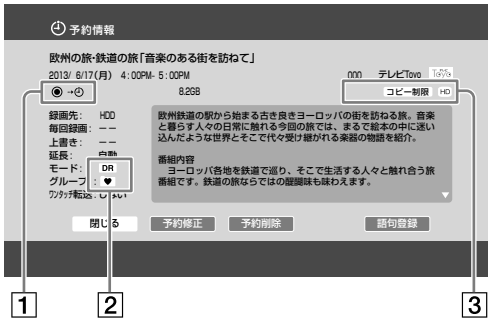
5

アイコン	説明
♥ など	録画予約時に設定したグループ
	毎回録画で前回のタイトルを上書きする場合に表示

* 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100。

予約情報

予約情報は、予約リスト(20ページ)を表示中に《オプション》ボタンを押して[情報表示]を選ぶと表示できます。



1

アイコン	説明
	リモート／ネットワーク録画予約、または「見て録」を利用して番組を録画している場合に表示
スポーツ	スポーツ延長自動対応機能によって、延長対象になった場合に表示

2

アイコン	説明
DR など	録画時の録画モード
SR など	いったんDRモードで録画され、録画後に予約時に設定した録画モードへの変換や、おでかけ転送ファイルの作成がされる場合に表示*
など	録画予約時に設定したグループ

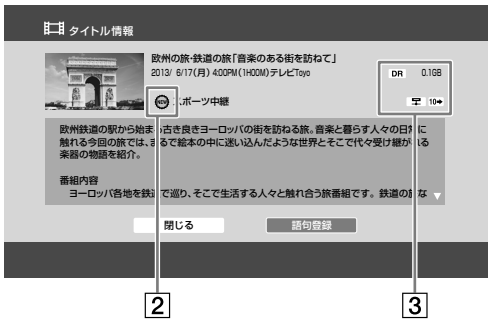
3

アイコン	説明
¥	有料番組
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組
	視聴年齢制限付きの番組で、設定されている制限レベルに該当するため年齢制限を解除して予約した場合に表示
	字幕がある番組のとき表示
d	連動データがある番組のとき表示
HD	デジタルハイビジョン信号の番組
SD	標準テレビ信号の番組

* 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100。

録画リスト、タイトル情報、タイトルダビング、おでかけ転送*1 (28、58、69ページ)

タイトル情報は、録画リストを表示中に《オプション》ボタンを押して[情報表示]を選ぶと表示できます。



1

アイコン	説明
（年月）	録画日時で分類されたタイトルフォルダ
（ジャンル）	番組データのジャンルで分類されたタイトルフォルダ
（予約）	予約の種類ごとに分類されたタイトルフォルダ
（おまかせ・まる録）	x-おまかせ･まる録の録画条件で分類されたタイトルフォルダ
（記録時間）	タイトル再生にかかる時間で分類されたタイトルフォルダ
（グループ）	グループごとに分類されたタイトルフォルダ
（プレイリスト）	プレイリストフォルダ。x-Pict Story HDや他機器のタイトルから作成したプレイリストは含まれません。
（ダウンロード）	インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのうち、視聴期限のないタイトルフォルダ
（レンタル）	インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのうち、視聴期限のあるタイトルフォルダ
（x-Pict Story）	x-Pict Story HDのビデオ作品(または、そのプレイリスト)のフォルダ
（ビデオカメラ映像）	他機器のタイトルフォルダ。8cm DVDから本機のハードディスクへダビングしたタイトル、AVCHDダビングで取り込まれたタイトル(カメラ取込みで作成したタイトルや、そのプレイリスト)を表示

2

アイコン	説明
NEW	再生されていないタイトル
	プレイリスト
★	x-おまかせ･まる録のおすすめ設定により録画されたタイトル
NEW★（金）	x-おまかせ･まる録のおすすめ設定により録画され、再生されていないタイトルの中でおすすめ度が高いもの
NEW★（青）	x-おまかせ･まる録のおすすめ設定により録画され、再生されていないタイトル
	x-おまかせ･まる録のおまかせ設定により録画されたタイトル。の付いたタイトルでが付いているタイトルは、本機のハードディスクがいっぱいになったときに自動的に削除されます。
NEW（金）	x-おまかせ･まる録のおまかせ設定により録画され、再生されていないタイトルの中でおすすめ度が高いもの
NEW（青）	x-おまかせ･まる録のおまかせ設定により録画され、再生されていないタイトル
●（赤）	録画中
	再生中
	追いかけ再生中
（ピンク）	本機のハードディスクにダビング中のタイトル
（灰）	本機のハードディスクにダビング予定のタイトル
（ピンク）	ディスクにダビング中のタイトル
（灰）	ディスクにダビング予定のタイトル
（ピンク）	外付けハードディスクにダビング中のタイトル
（灰）	外付けハードディスクにダビング予定のタイトル
（ピンク）	おでかけ転送中のタイトル*1
（灰）	おでかけ転送予定のタイトル*1
（ピンク）	ワイヤレスおでかけ転送中のタイトル*1
	インターネットサービスからダウンロードしたタイトル
（ピンク）	インターネットサービスからダウンロード中のタイトル
（灰）	インターネットサービスからのダウンロード一時停止、または中断エラーのタイトル
	インターネットサービスからダウンロード中に追いかけ再生をしているタイトル
NEW	インターネットサービスからダウンロードされ、再生されていないタイトル
3D	放送局側で3D信号が付けられたタイトルや、他機器などで撮影した3D映像

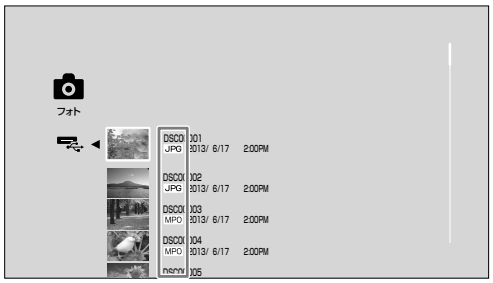
3

アイコン	説明
など	録画予約時や録画したタイトルに設定したグループ
	コピー制御信号により、1回だけ移動(ムーブ)できるタイトル(本機／外付けのハードディスクからBD/DVDのCPRM対応ディスクへのダビング、BDから本機／外付けのハードディスクへのダビング、本機／外付けのハードディスク間のダビング、おでかけ転送*1)。 ダビングや携帯電話におでかけ転送すると元のタイトルは削除されます。
各種	ダビング可能回数2～10回のタイトルや、ダビング可能回数1～9回のプレイリスト、インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。数字の回数だけ、BD/DVDのCPRM対応ディスクや、本機と外付けハードディスク間でダビングできます。ダビングすると数字が減り、ダビング可能回数に達すると、コピー制御信号によりダビング元のタイトルは削除されます。
	ダビングできないタイトル
など	録画モード(DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER)
など	いったんDRモードで録画され、録画後に予約時に設定した録画モードへの変換や、おでかけ転送ファイルの作成がされるタイトル*2
	毎回録画で前回分を上書きしたタイトル
	プロテクト(保護)されたタイトル
	x-おまかせ･まる録で録画され、自動削除対象となっているタイトル。プロテクト(保護)や編集をすると、自動削除対象からはずれます。
パック	インターネットサービスからパック購入したタイトル
x-Pict Story	x-Pict Story HDのビデオ作品
	視聴年齢制限付きタイトル
	他機器で再生できるタイトル
	“ウォークマン”などに高速でおでかけ転送できるタイトル*1
	PSP®などに高速でおでかけ転送できるタイトル*1
	携帯電話に高速でおでかけ転送できるタイトル*1
	スマートフォン／タブレットPCに高速でおでかけ転送できるタイトル*1
もくじ	コーナー情報が取得されているタイトル

*1 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100 / EW1100 / EW510。

*2 対象機種：BDZ-ET2100 / ET1100。

写真の一覧(76ページ)



アイコン	説明
3D	3Dの写真データ
JPG	JPEGの写真データ
MPO	MPOの写真データ

ダウンロード管理画面(46ページ)

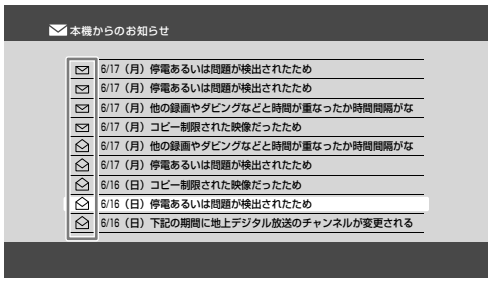
ネットワーク
7% ワイルドパーク シーズン2 ダウンロード中 有効期限：2013/ 6/17 1 パック 59PM
0% 待 ワイルドパーク シーズン2 実中 有効期限：2013/ 6/17 1 パック 59PM
0% 待 実中 有効期限：2013/ 6/17 1 59PM
0% 待 旅行 実中 有効期限：2013/ 6/17 1 59PM
ステリー

アイコン	説明
(ピンク)	インターネットサービスからダウンロード中のタイトル
	ダウンロードを一時停止しているタイトル
	ダウンロードエラーのタイトル。 本機のハードディスクの容量が不足している、または保存できるタイトル数が上限に達している場合、ダウンロードできません。また、ネットワークの中断や、ダウンロード期限が過ぎている場合にもエラーとなります。
パック	インターネットサービスからパック購入したタイトル

オプション項目一覧

《オプション》ボタンを押すと、さまざまな設定や操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

お知らせ(87ページ)



アイコン	説明
	すでに読んだお知らせ
	まだ読んでいないお知らせ。 お知らせはお客様自身で削除できません。

五十音順

あ行

オプション機能	できること
映像切換	違うアングルなど、複数の映像があるときに切り換えます。
追いかけ再生	録画中の番組を再生します(28ページ)。
おでかけ進行状況	おでかけ転送実行中に、おでかけ転送進捗画面を表示します。
おでかけ転送	
選択転送	選んだタイトルを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します(69ページ)。
すべて転送	表示中のリストのうち、上から順に30個までを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します。
フォルダ内選択	フォルダ内の選んだタイトルを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します。
フォルダ内すべて	フォルダ内のタイトルのうち、上から順に30個までを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します。
おまかせへ登録	お気に入り設定や検索の条件設定を、x-おまかせ·まる録に登録すると、自動で録画します(24ページ)。
思い出ディスクダビング	本機に取り込んだ動画や写真、x-ScrapBookなどをディスクに書き出します(79ページ)。
音声設定	35ページをご覧ください。

か行

オプション機能	できること
改行	改行します。
回転(左／右)	左や右回りに写真を90度回転させます。
画質設定	34ページをご覧ください。
気になる人名	視聴中の番組や、タイトルの情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組やタイトル／コーナーを検索します(22、31ページ)。
気になるワード	視聴中の番組や、タイトルの情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組やタイトル／コーナーを検索します(22、31ページ)。

オプション機能	できること
コーナー再生／コーナー再生解除	コーナーを再生します／通常再生に戻ります。
降雨対応切換	降雨などで通常放送が正常に受信できないときに降雨対応放送に切り換えます。
語句登録	表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録します。
コピー	アルバムや写真をコピーします。
1アルバムコピー	1つのアルバムをコピーします(75ページ)。
1ファイルコピー	1ファイルの写真をコピーします(76ページ)。
選択コピー	選択した複数のアルバムや写真をコピーします。

さ行

オプション機能	できること
サービス切換	
テレビ／ラジオ／データ	テレビ番組／ラジオ番組／データ放送のチャンネルをそれぞれ表示します。
再検索	番組やタイトルを再検索します。
再生／再生停止	再生(28ページ)／再生を停止します。
再読込み	表示中のページを更新します。
削除	タイトルや写真、ブックマークなどを削除します。
1タイトル削除	1つのタイトルを削除します(49ページ)。
1ファイル削除	1枚の写真を削除します。
1件削除	x-おまかせ·まる録の予約を1件取り消します。
選択削除	タイトルまたは写真、x-おまかせ·まる録の予約を複数選んで削除します(49ページ)。
すべて削除	表示中のリストのすべてのタイトルを削除します(49ページ)。
フォルダ削除	フォルダのタイトルを一括して削除します(49ページ)。
フォルダ内選択	フォルダ内の複数のタイトルを選んで削除します。
シーンサーチ	見たい場面をすばやく探します(34ページ)。
次回予約	録画したタイトルの次回の予約をします。
視聴制限一時解除／視聴制限再設定	視聴年齢制限を一時的に解除／再設定します。
ジャンル色設定	地上デジタルやBS、CSデジタル番組表で表示される色に好みのジャンルを割り当てます。
終了	インターネットサービスを終了します。

オプション機能	できること
条件設定へ	日時指定検索の条件を変更します。
情報表示	タイトルや予約、インターネットサービスのページ、写真などの詳細情報を表示します。表示される情報が多い場合は、▲▼で画面をスクロールしてください。
初期化	BD-REを初期化します(67ページ)。
新規作成	x-Pict Story HDのビデオ作品を作成します(77ページ)。
新規登録	お気に入り番組表やおまかせ設定を新規登録します。
進行状況	インターネットサービスからダウンロード中に、ダウンロード管理画面を表示します(133ページ)。
信号選択	● 複数の映像／音声が記録された映像をモードを変えてダビングする場合、ダビングする映像／音声信号を設定します。 ● 複数の映像／音声が記録されている映像をおでかけ転送するときは、転送する映像／音声信号を設定します。インターネットサービスからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送するときは字幕も設定できます。
進む	次のページを表示します。
すべて一時停止／すべて再開	ダウンロードを一時的に停止／再開します。
スライドショー	スライドショーで表示します(77ページ)。
スライドショーの速さ	スライドショー表示の速さ(速い／標準／遅い)を設定します。
設定／編集	
名前変更	名前を変更します(55ページ)。
NEW設定	録画リストに NEW マークを付けます(50ページ)。
グループ設定	タイトルにグループを設定します(55ページ)。
サムネイル設定	タイトルのサムネイル画像を変更します(55ページ)。
チャプター編集	チャプターを分割／削除／結合します(51ページ)。
部分削除	タイトル内の一部分を選んで削除します(52ページ)。
タイトル分割	タイトルを2つに分割します(54ページ)。
タイトル結合	複数のタイトルを結合します(54ページ)。
プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します(53ページ)。
設定削除	登録しているお気に入り番組表やおまかせ設定を削除します。
設定取消	設定した条件を取り消します。

オプション機能	できること
設定変更	お気に入り番組表やx-おまかせ･まる録の設定を変更します。
前回終了のページ	前回インターネットサービスを終了するときに表示していたページを表示します。
選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
全タイトル表示	すべてのタイトルを表示します。
選択／選択解除	タイトルを選択／選択を解除します。
選択モード	x-ScrapBookを選択モードに切り換えます。
全チャンネル表示／設定チャンネル表示	全チャンネル表示⇔設定チャンネル表示を切り換えます。

た行

オプション機能	できること
タイトル／コーナー検索	タイトルやコーナーをジャンルやキーワードで検索します(31ページ)。
タイトルサーチ	タイトルを選んで頭出しします。
ダウンロード管理	インターネットサービスを終了して、ダウンロード管理画面を表示します。
ダウンロード実行	選んだ映像のダウンロードを最優先にします。
ダビング進行状況	タイトルダビング実行中に、ダビング進捗画面を表示します(63ページ)。
ダビング停止	ダビング実行中にダビングを停止します。
ダビングモード設定	ダビングモードを設定します(66ページ)。
チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします。
チャンネル指定	週間番組表の表示チャンネルを切り換えます。
チャンネル別表示	番組表をチャンネル別に週間表示します。
中止	選んだタイトルのダウンロードを中止します。ダウンロード管理画面やタイトルの一覧(録画リスト)からは削除されます。
重複確認	時間が重なっている録画予約を確認します(21ページ)。
停止	スライドショーやx-ScrapBookの再生を停止します。

オプション機能		できること
ディスクへダビング		
	選択ダビング	選んだタイトルをディスクにダビングします(58ページ)。
	すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30個までをディスクにダビングします(58ページ)。
	フォルダ内選択	フォルダ内の選んだタイトルをディスクにダビングします(64ページ)。
	フォルダ内すべて	フォルダ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30個までをディスクにダビングします(64ページ)。
テーマ変更		x-ScrapBookの壁紙のテーマを変更します。
転送選択取消		複数のタイトルを選んでワンタッチ転送を取り消します。
転送取消		1件のタイトルのワンタッチ転送を取り消します。
トップページ		インターネットサービスのトップページを表示します。
トップメニュー		ディスクのメニュー画面を表示します。

な行

オプション機能	できること
名前変更	BDやグループ、アルバム、ブックマークなどの名前を変更します。文字入力については119ページをご覧ください。
並べ替え	タイトルを並べ替えます。
日時指定	日時を選んで番組表を表示します。
二度録り回避	録画した番組が再放送されるときに、同一話の録画を回避します。
入力	文字入力画面を表示します。
入力切換	外部入力の映像を切り換えます。

は行

オプション機能	できること
はじめから再生	タイトルをはじめから再生します。
ハーモニクスイコライザー	圧縮や量子化によって失われがちな消え際の微小な音を再現します。AAC/Dolby Digital/DTS/LPCM(CDなど)に有効です。
早見／早見解除	タイトルを早見再生／早見再生を解除します。

オプション機能	できること
番組検索	
日時指定検索	日付、時間、放送、チャンネルを指定して番組を検索します。
ジャンル検索	ジャンルを設定して番組を検索します。
キーワード検索	キーワードを設定して番組を検索します。
詳細条件検索	詳細条件を設定して番組を検索します。
番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します。
番組追跡情報	次の場合に、番組追跡情報を表示します。 ● 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で毎回録画に設定した番組。 ● 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で延長を設定した番組。
番組表	番組表を表示します。
番組表取得	番組情報を取得します。
番組表を表示	選んだお気に入り番組表を表示します。
番組名検索情報	番組名で毎回録画するときに、番組名の確認や変更ができます。
番組録画	見ている番組を録画します。
左削除	カーソルの左1文字を削除します。
日付順表示	予約を日付順に表示します。
ビデオ解除	x-ScrapBookのビデオの参照を解除します。
表示	x-ScrapBookを表示します(77ページ)。
表紙へ	x-ScrapBookの表紙ページを表示します。
表示モード	
ノーマル	写真全体を表示し、余白には黒帯を表示します。
ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は[ノーマル]と同様に表示します。
標準表示に戻す	番組表を標準表示に戻します。
開く	選んだブックマークのページを表示します。
ファイナライズ	DVDをファイナライズします(66ページ)。
ファイルサーチ	指定した写真を表示します。
フォルダ表示	フォルダごとに分類します(32ページ)。
ブックマーク	
ブックマーク一覧	ブックマーク一覧画面を表示します。
ブックマーク追加	表示中のページをブックマークに登録します。ブックマークは10個まで登録できます。
プロテクト／プロテクト解除	本機／外付けのハードディスクやディスクのタイトルが削除、編集されないよう保護／保護を解除します(50ページ)。
ページサーチ	入力した番号のページをx-ScrapBookで表示します。
ページモード	x-ScrapBookをページモードに切り換えます。
編集	
タイトル結合	複数のタイトルを結合します。
プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します。
テーマ変更	x-ScrapBookで壁紙のテーマを変更します。
ビデオ選択解除	x-ScrapBookでビデオの参照を複数選択して解除します。
ビデオ選択追加	x-ScrapBookにビデオを追加します。
放送切換	
地上デジタル／BSデジタル／CSデジタル	それぞれの番組表を表示します。
ポップアップ	DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します。

ま行

オプション機能	できること
みどころ特集設定	みどころ特集で対象とする特集テーマを設定します(25ページ)。
メニュー	DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します。
もくじでジャンプ	選んだコーナーを再生します(44ページ)。
モード	おでかけ転送する映像の録画モードを設定します。
VGA2.0M	VGA2.0Mbpsの映像を転送します。
VGA1.0M	VGA1.0Mbpsの映像を転送します。
QVGA768k	QVGA 768kbpsの映像を転送します。
QVGA384k	QVGA 384kbpsの映像を転送します。
戻る	前のページを表示します。

や行

オプション機能	できること
優先順表示	予約を優先順に表示します。
優先変更	予約の優先順位を変更します。
読込み中止	ページの読み込みを中止します。
予約切換	録画予約を入れるチューナーを切り換えます(21ページ)。
予約削除	録画予約を取り消します(20ページ)。
1件削除	1件の予約を取り消します。
選択削除	複数の予約をまとめて取り消します。
予約修正	録画予約情報を修正します(20ページ)。
予約へ変更	おまかせ･まる録で予約されている番組を、自動録画から、番組表からの予約と同じように、優先順位を上げて録画します。
予約名変更	予約名を変更します。

ら行

オプション機能	できること
録画延長	録画中の番組の録画時間を延長します。「おまかせ予約リスト」の番組を延長した場合、その番組は「予約リスト」に移動します。
録画時間設定	視聴しながら録画中(クイックタイマー)に録画時間を変更します。
録画停止	録画を停止します。
録画モード	録画先や録画する時間、画質に合わせて設定します。
録画モード設定	手動録画モード変換のとき、録画モードを変更できます。
録画モード変換	SR などのアイコンがついたタイトルを、手動で変換します。変換後の録画モードを変更できます(14ページ)。
選択変換	タイトルを選んで、変換します。
すべて変換	SR などのアイコンがついたタイトルをすべて、変換します。
録画予約	番組表で選んでいる番組の録画予約をします(16ページ)。また、確実に録画したい番組を録画予約します。
ロック／ロック解除	BDを再生できないように、ロック／ロックを解除します(67ページ)。

アルファベット順

オプション機能	できること
BDクローズ	BD-Rを録画できないようにします(66ページ)。
BD情報	BDの情報を表示します。
BD録画	BDに録画します。
Cookie削除	Cookieを削除します。
DVD情報	DVDの情報を表示します。
HDD情報	本機のハードディスクの情報を表示します(20ページ)。
HDDへダビング	本機のハードディスクにダビングします(62、73ページ)。
選択ダビング	選んだタイトルを本機のハードディスクにダビングします(62、73ページ)。
すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30個までを本機のハードディスクにダビングします。
フォルダ内選択	フォルダ内の選んだタイトルを本機のハードディスクにダビングします。
フォルダ内すべて	フォルダ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30個までを本機のハードディスクにダビングします。
HDD録画	本機のハードディスクに録画します。
My！番組表	My！番組表を表示します(25ページ)。
My！番組表へ登録	My！番組表に検索の条件を登録します(25ページ)。
USB HDD情報	外付けハードディスクの情報を表示します。
USB HDDへダビング	外付けハードディスクにダビングします(62、73ページ)。
選択ダビング	選んだタイトルを外付けハードディスクにダビングします(62、73ページ)。
すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30個までを外付けハードディスクにダビングします。
フォルダ内選択	フォルダ内の選んだタイトルを外付けハードディスクにダビングします。
フォルダ内すべて	フォルダ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30個までを外付けハードディスクにダビングします。
USB HDD録画	外付けハードディスクに録画します。
x-Pict Story作成	x-Pict Story HDのビデオ作品を作成します(77ページ)。
x-ScrapBook再生	x-ScrapBookを再生します(77ページ)。

用語集

五十音順

アクセスポイント(38ページ)
無線LAN*の中継機器です。無線LANルーターは、無線LANアクセスポイントとブロードバンドルーター機能を内蔵し、無線LANと有線LANの橋渡しをします。
* 対象機種:BDZ-ET2100 / ET1100。

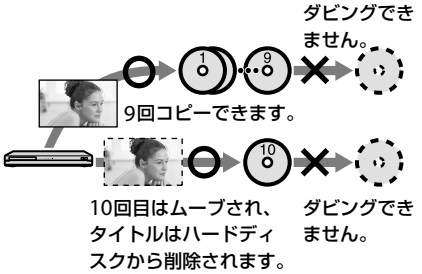
解像度(88ページ)
ディスプレイの表示能力として、出力される映像の情報量の細かさを表現する単位。この値が高いほどより自然に近い画質が得られます。

サムネイル(55ページ)
複数の動画や画像を一覧表示するために縮小された画像。本機の録画リストなどに表示されます。

字幕放送(32ページ)
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送。本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

タイトル(28ページ)
ハードディスクやBD、DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(または1曲)にあたります。本機で録画された番組などの映像のこともタイトルと呼んでいます。

ダビング10
著作権保護のため、10回までダビングすることが許可されています。ダビング可能回数の数字はアイコンで表示されます(133ページ)。



ハブ
有線LANで、家庭内にある複数のパソコンやデジタル家電を、相互に接続したりできます。

ブロードバンドルーター(38ページ)
家庭内にある複数のパソコンやデジタル家電を相互に接続できるネットワーク機器です。LAN録画/LANムーブ、ソニールームリンク、リモート録画予約などのネットワーク機能利用時に使います。

分配器
入力された信号を、同じ周波数で複数に分けるための機器です。ただし、信号を分けることにより信号のレベルが小さくなります。

分波器(らくらくスタートガイド)
地上波、BS/CSなどが合成された信号を、それぞれの信号に分けて出力する機器です。

ムーブ(移動)
録画リストで 1 が表示されているタイトルは、ハードディスクからディスクなどに、1回だけムーブ(移動)できます。BDに保存したタイトルは、本機のハードディスクに移動できます。ハードディスクから外付けハードディスクには、ダビング可能回数の1回分を含めて、タイトルを移動できます。

ルートCA証明書(87ページ)
ルートCA証明書はルートCA(認証機関)が発行するデジタル証明書で、放送局が運営するセキュリティサイトとの通信の安全性を示すものです。

アルファベット順

BD-J(79ページ)
双方向操作を可能にするため、BD-ROMフォーマットではJavaをサポートしています。"BD-J"と呼ばれるJavaアプリケーションを使って、思い出ディスクダビングからBD-Jメニュー付きのディスクを作成してカレンダー表示などのメニューから動画や写真などを再生できます。

BD-R(BD Recordable)
ハイビジョン映像の記録·再生に対応した一度だけ書き込めるBD。記録したコンテンツは上書きできないため、大切な映像の保管·配布に使えます。

BD-RE(BD Rewritable)
ハイビジョン映像の記録·再生に対応した書き換えができるBD。上書きができるため、さまざまな編集や、テレビ番組の録画などに適しています。

BD-ROM(BD Read Only Media)
映画などの映像を記録して市販される読み込み専用のBD。映画などの映像素材をハイビジョン画質で収録できることに加え、双方向性コンテンツ、ポップアップメニューによるメニュー操作、字幕のさまざまな表示方法や、スライドショーなどの拡張機能があります。

BDAV(BD Audio/Visual)
デジタル放送の番組などを記録したディスクの規格です。BD-R、BD-REにデジタル放送の番組を録画したりコピーしたりできます。

BDMV(BD Video)
映像·音声·字幕·メニュー表示に関する情報を記録できる、ディスクの規格です。「BD-ROM」で利用されているアプリケーションフォーマットの一種です。市販のBD-ROMや思い出ディスクダビングで書き出したBD-R、BD-REがBDMVになります。

CPRM(Content Protection for Recordable Media)
著作権を保護するために映像素材を暗号化·復号化する技術です。CPRM対応のDVD-RWおよびDVD-Rに録画したタイトルは、CPRMに対応した機器でのみ再生できます。

DHCP
IPアドレスなど必要な情報を自動で割り当てる機能。本機はDHCPに対応しています。

DVD-R(DVD Recordable)
映像の記録·再生に対応した一度だけ書き込めるDVD。デジタル放送はCPRM対応のみコピーできます。
映像の保管·配布に使えます。

DVD-RW(DVD ReWritable)
映像の記録·再生に対応した書き換えができるDVD。デジタル放送はCPRM対応のみコピーできます。
映像の保管にくり返し使えます。

GigaByte(GB)
ギガバイトと読みます。ハードディスクやBD、DVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface)
デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送れるインターフェースです。
ハイビジョン映像を高画質、高音質で楽しめます。

LAN(Local Area Network)
ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるコンピューターや通信機器などを接続し、データをやり取りするネットワーク。

STB(CATVチューナー)
セットトップボックス。ケーブルテレビ放送の放送信号を受信して、テレビで視聴できる信号に変換する機器です。

TeraByte(TB)
テラバイトと読みます。ハードディスクなどの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。
1テラバイトは1ギガバイトの1,024倍です。

WPS
無線LAN機器の接続やセキュリティ設定を簡単に行える機能。本機はWPSに対応しています。

索引

五十音順

あ行

空き容量 20, 57
アクセスポイント 96
アクトビラ 46
頭出し 33
アングル 134
暗証番号設定 95
アンテナ
.....らくらくスタートガイド
アンテナレベル 105
地上デジタルアンテナレベル 90
BS/CSデジタルアンテナレベル 91
家じゅうどこでも視聴 42
一発予約 16
インターネットサービス 46, 133
インターネットサービス利用制限 95
上書き 17, 26
映像設定 88
追いかけ再生 28, 29
オートグルーピング 32
お買い上げ時の状態に戻す 98
おかえり転送 70
お気に入り番組表 25
お知らせ 87, 134
おでかけ転送 68
おでかけ転送設定 92
お問い合わせ 87
オプション 134
おまかせ･まる録 24, 130
思い出ディスクダビング 79
音声切換 33
音声設定 35, 89
音声付き早見 29

か行

外出先で番組を見たい（外出先視聴） 48
解像度 88, 139
外部チューナー 22, 41, 82
外部入力録画横縦比 92
画質設定 34
カテゴリー
外部入力 22
設定 87
ビデオ 11
フォト 75, 76
ミュージック 30
カメラ取込み 73
画面モード 88
かんたん設定 97
キーワード検索 23
気になる検索 22
気になる人名 22
気になるワード 22
クイックタイマー 26
クライアント 40, 97
グループ 17, 55, 133
ケーブルテレビ 41, 82
更新転送 93
高速ダビング 63, 125
高速転送 70, 92
語句登録 119
コピー 56, 75, 78
コピー制御信号 7

さ行

サーバー 37, 42, 97
再起動 104
再生 28, 123
削除 49
サムネイル 28, 55, 139
サラウンド 35
残量 20, 57
シーンサーチ 34
字幕
切り換え 33, 92
コピー 65
用語集 139
録画 19
写真 75, 76, 133
ジャンル検索 23
瞬間起動 94
詳細条件検索 23
詳細設定 17
初期化 59, 67, 84, 98
スーパービットマッピング 88
スカパー！プレミアムサービス 37, 41, 125
スポーツ延長対応 91
スマートフォン 42, 47, 48, 68
スライドショー 77, 93
スロー再生 32
整理 32
セキュリティ 126
設定初期化 98
外からどこでも視聴 48
外付けハードディスク 12, 28, 62, 84
ソニールームリンク 37, 42, 97
ソフトウェアアップデート 113
ソフトウェアのバージョン 94

た行

タイトル
アイコン 131
コピー 56
再生 28
削除 49
転送 68
並べ替え 32
フォルダ表示 32, 55
編集 49
用語集 139
タイトル／コーナー検索 31
タイトルサーチ 136
タイトルダビング 58
ダウンミックス 90
ダウンロード 46, 133
他機器の操作
ブラビアリンク 99
ダビング 56, 71
ダビング10 139
ダビング進行状況 63
ダビングモード 66, 125
地上デジタル放送 .....90、らくらくスタートガイド
チャプターサーチ 33
チャプター編集 51
チャプターマーク 51, 91
通信設定 96
つづき再生 28
ディスク
コピー 56, 78
再生 30
削除 49
対応ディスク 12, 51, 56, 122
編集 51
録画 12
データ放送 96, 118
デジタルカメラ 75, 76
デジタル放送地域設定 91
デジタル放送用ICカード（B-CASカード） 94
転送 68
同時操作制限 13, 57
登録 94, 96, 97, 99, 100
トラック 32
取り込む 71
ドルビーTrueHD 89, 90
ドルビーデジタルプラス 89, 90

な行

内蔵無線LAN 38
並べ替え 32
二か国語放送
切り換え 33
コピー 65
録画 19
二重音声記録 92
日時指定検索 23
日時指定予約 26
二度録り回避 18
ネットワーク 37, 96
ネットワーク録画予約 41, 44
年齢制限設定 95

は行

バーチャルサラウンド 35
ハードディスク 6
パソコン 37
早見再生 29
番組 19, 28, 30
番組検索 10, 22, 23
番組説明 129
番組追跡録画 18
番組表 10, 16, 25, 129
番組表一発予約 16
番組名予約 16, 18
ビデオ 11, 28, 30
ビデオカメラ 71, 80
ビデオ設定 91
ビデオデッキ 74
ビデオモード 122
表示窓 103, 117
ファイナライズ 66
フォーマット（初期化）
BD-RE 67
DVD 59
HDD（本機のハードディスク） 98
USB HDD（外付けハードディスク） 84
フォト 75, 76
フォト設定 93
フォルダ 32, 55, 64, 132
付属品 120
部分削除 52
ブラビア 37
ブラビアリンク 99

ブルーレイディスク(BD)
コピー 56, 79, 80
再生 30
削除 49
設定 89, 90, 92
対応ディスク 12, 122
編集 49
録画 12
プレイリスト作成 53
プロテクト 50
編集 49
放送受信設定 90
ホームサーバー 37, 97
ホームメニュー
外部入力 22
設定 87
ビデオ 28, 30
フォト 75, 76
ミュージック 30
ポップアップメニュー 33
本体設定 93

ま行

毎回録画 18
まるごとDVDコピー 78
ミュージック 30
ムーブ 41, 62, 139
ムーブバック 61
無線LAN 38, 96
もくじでジャンプ 44
文字入力 119

や行

よく録る人名 31
よく録る番組 31
予約 16, 26
予約リスト 20, 24, 130

ら行

らくらくスタートメニュー
..... らくらくスタートガイド
ランプ 115
リセット 102, 103, 115
リモート録画予約 47, 96
リモコン 32, 100, 118
リモコンモード 101
ルームリンク 37, 42, 97
連ドラ一括ダビング 64
録画
CATVチューナー ... 41, 82
My！番組表 25
x-おまかせ･まる録 24
空き容量 20
延長 18
音声／字幕 19
外部入力 22, 83
確認 20
携帯電話 47
ケーブルテレビやスカパー！チューナー
..... 41, 82
検索 10, 22, 23
スカパー！プレミアムサービス 41
同時録画 19
取り消す 20
日時指定 26
ビデオ設定 91
ブラビア 44
放送中の番組 26
ランプ 115
録画先 12
録画モード 124
録画モード 15, 124
録画モード変換 14, 91
録画予約ランプ 103, 115
録画リスト 11

わ行

ワンタッチ
ディスクダビング 80
取り込み 73

数字順／アルファベット順

数字

110度CSデジタル放送
..... 91、らくらくスタートガイド
2番組同時録画 19
3D
コピー 56
再生 29, 30
写真を表示 76
取り込み 71
3番組同時録画 13, 19, 70
8cm DVD 73, 78

アルファベット

AAC 89
AOSS 39
AVCHDダビング 71
AVアンプ 83
B-CASカード
..... らくらくスタートガイド
BD
コピー 56, 79, 80
再生 30
削除 49
設定 89, 90, 92
対応ディスク 12, 122
編集 49
録画 12
BDAV 139
BD/DVD視聴設定 92
BD-J 79, 139
BD-LIVE 37, 48
BDMV 139
BD-R 12, 56, 122
BD-RE 12, 56, 122
BD-ROM 30, 48, 123
BDクローズ 66
BDデータ 48
BONUSVIEW 48
BSデジタル放送
..... 91、らくらくスタートガイド
CATVチューナー
..... 37, 41, 140
CD 123
CPRM 56, 122, 140
CS放送
..... 91、らくらくスタートガイド
DTS-HD 89, 90
DVD
コピー 56, 78
再生 30
削除 49
設定 89, 92
対応ディスク 56, 122
DVDビデオ 30
HDD→USB HDDダビング
..... 62
HDMI 83, 99, 140
HDMI Deep Color出力 88
HDMI映像出力フォーマット
..... 88
HDMI音声出力 89
HDMI機器制御設定 94
IPアドレス 96
JPEG 75, 76, 126
LAN 96
MACアドレス 94
MPO 75, 76, 126
My！番組表 25
Super Audio CD 123
T's TV 46
TSUTAYA TV 46
USB 69, 71, 73, 75
USB HDD→HDDダビング
..... 62
VHSダビング 74
VRモード 56, 122
Wake on LAN 42
WPS 96
x-Pict Story HD 77
x-ScrapBook 77
x-おまかせ･まる録 24, 130

4-470-770-**02** (1)

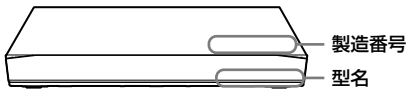
製品について困ったときは

●よくあるお問い合わせのQ＆Aを知りたい
●アンテナやテレビとの接続を確認したい
●使いかたの詳しい情報を知りたい
●接続できる機器を知りたい

インターネットで下記アドレスを入力してください。

http://www.sony.jp/support/bd/

電話でのお問い合わせの前に
ソニーの相談窓口へご相談になるときは、以下の内容をご用意ください。



•型名（本機前面右下に記載）：
•製造番号（本機天面右下に記載）：
•ディスクの種類：
•つないでいるテレビやアンプのメーカー名と型名：
•故障の状態：できるだけ詳しく
•購入年月日：

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	フリーダイヤル……**0120-333-020** 携帯電話・PHS・一部のIP電話‥**050-3754-9577**
修理相談窓口	フリーダイヤル……**0120-222-330** 携帯電話・PHS・一部のIP電話‥**050-3754-9599** ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「100」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

© 2013 Sony Corporation　Printed in Malaysia